



AQUOS wish4

SH-52E

取扱説明書

はじめに

「SH-52E」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末には視覚に障がいのある方にご利用いただけるように、画面上の情報などを読み上げるTalkBack機能があります。

- ホーム画面で[] (アプリ一覧)⇒[設定]⇒[ユーザー補助]⇒[TalkBack]⇒[TalkBackを使用]と操作すると、TalkBack機能のON/OFFを切り替えることができます。
- TalkBack機能について詳しくはP.164「TalkBack」

取扱説明書について

■ クイックスタートガイド(本体付属品)

各部の名称と機能やご利用にあたっての注意事項などについて説明しています。

■ 取扱説明書アプリ(eトリセツ)(本端末のアプリ)

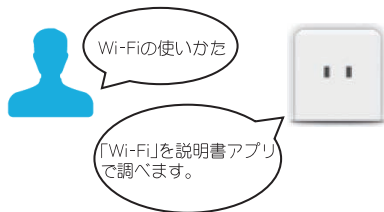
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。



ご利用方法

ホーム画面で[]⇒[ツール]⇒[取扱説明書]

- はじめてご利用になる場合は、画面の指示に従って本アプリをダウンロードしてインストールする必要があります。
- 「my daiz」から取扱説明書アプリ(eトリセツ)を呼び出すこともできます。

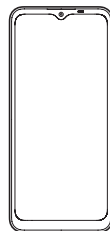


■ 取扱説明書(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

- 本書においては、「SH-52E」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム(OS)のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- 本書のホーム画面、ロック画面は視認性向上のため黒色の背景としており、実際の背景とは異なります。また、ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品



SH-52E本体

■ クイックスタートガイド

- 本端末に対応するオプション品(別売)は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

目次

取扱説明書について	H2
本体付属品	1

注意事項

本端末のご利用について	5
安全上のご注意(必ずお守りください)	7
取り扱い上のご注意	17
防水／防塵／耐衝撃性能	23

ご使用前の準備

各部の名称と機能	31
SIMについて	33
microSDカード	35
充電	37
電源を入れる／切る	39
初期設定	41
本端末で利用する暗証番号について	43

基本操作

基本操作	45
文字入力	51
画面表示／アイコン	52
アプリ使用履歴	55
マルチウィンドウ	56

ホーム画面

ホーム切替	58
docomo LIVE UX	59
AQUOS Home	64
アプリ一覧	67

電話／電話帳

電話について	72
電話をかける	72
電話を受ける	75
通話中の操作	76
通話履歴	78
通話音声・伝言メモ	79
通話設定／その他	81
電話帳	83

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール	87
+メッセージ	87
Gmail™	93
緊急速報「エリアメール」	93
Chrome	94

カメラ／フォト

カメラについて	98
---------------	----

フォト	106
-----	-----

アプリ

dメニュー	108
Play ストア	108
おサイフケータイ	109
GPS／ナビ	112
時計	114
スケジュール	116
メモ	118
エモパー	119
からだメイト	122
ドコモデータコピー	125

本体設定

設定メニュー	128
ネットワークとインターネット	129
接続設定	136
音とバイブレーション	137
通知	139
ディスプレイ	140
壁紙とスタイル	142
AQUOSTリック	143
セキュリティとプライバシー	152
位置情報	159
安全性と緊急情報	159
ドコモのサービス／クラウド	160
パスワードとアカウント	161

Digital Wellbeing と保護者による使用制限	162
Google™	162
ユーザー補助	163
バッテリー	164
ストレージ	166
アプリ	167
デバイス情報	168
システム	169
お困りのときは	175

ファイル管理

ストレージ構成	176
ファイル操作	176

データ通信

Bluetooth®機能	178
NFC通信	182

外部機器接続

パソコンなどとの接続	183
プリントサービスによる印刷／保存	185
USBホスト機能	185
キャスト	185
VPN(仮想プライベートネットワーク)	186

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要	187
海外で利用可能なサービス	187
海外でご利用になる前に	187
海外で利用するための設定	188
滞在先で電話をかける／受ける	190
国際ローミングの設定	192
帰国後の確認	194

付録

トラブルシューティング(FAQ)	195
ソフトウェアアップデート	204
保証とアフターサービス	207
主な仕様	209
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	210
Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Phones	211
CAUTION	217
Inquiries	217
輸出管理規制	219
知的財産権について	219

索引

名前から探す	223
目的から探す	235

注意事項

本端末のご利用について

- 本端末は、5G・LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しているSIMロックが設定されていない端末です。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5GサービスエリアおよびLTEサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用にならない場合があります。なお、電波が強く電波状態は[■]を表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合があります。
- 5G・LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、*ただの雑音*としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。

- nanoSIMカードとeSIMの同時利用については、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねます。
- ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

- 初期設定にて、ドコモが提供するアプリが自動的にインストールされる場合があります。その際、モバイルネットワークをご利用の場合にはパケット通信料が発生する可能性があります。アプリはお客から事前に同意をいただき当社に提供いただいたお客様の情報及びその他の当社が保有しているお客様の情報を用いてお客様のニーズを推測し自動的に選定されます。お客様の情報の取り扱いについては当社プライバシーポリシーに定める通り適正に管理します。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play™などのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られています。一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしません。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷(※2)を負う可能性が想定される場合および物的損害(※3)の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

- ※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、アダプタ、nanoSIMカードの取り扱いについて(共通)

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水／防塵性能については以下をご参照ください。

☞ P.23「防水／防塵／耐衝撃性能」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞ P.23「防水／防塵／耐衝撃性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつかけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- スボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末の外装ケース(背面部)は取り外せません。取り外そうとしないでください。また、内蔵電池の膨れなどにより本端末が膨れている場合も、外装ケース(背面部)を取り外そうとしたり、無理に押し込まないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞ P.23「防水／防塵／耐衝撃性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
☞ P.23「防水／防塵／耐衝撃性能」



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



水濡れ禁止

お手入れの際は、消毒液や水分がすき間、送話口／マイク、受話口、マイク、スピーカー、USB Type-C™ 接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き部(カメラ飾り)に入らないようにしてください。

本端末の破損により、けが、感電などの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。

ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中では使用しないでください。可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
 - 本端末の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレーション設定中は特にご注意ください。

落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については以下をご参照ください。
【P.23「防水／防塵／耐衝撃性能」】



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。

誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所、および、ペットが触れる場所に置かないでください。

nanoSIMカード／microSDカードトレイなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信や動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠ 危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のnanoSIMカード／microSDカードトレイの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、nanoSIMカード／microSDカードトレイの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

アラームを鳴らす場合は、耳元で鳴らさないでください。

難聴など耳への障害の原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。

【P.16「材質一覧」】



指示

本端末の受話口部、スピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

アダプタの取り扱いについて

警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

DCアダプタ: DC12V・24V(マイナスアース車専用)



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリースOCKETに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。

アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリースOCKETから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

コンセントやアクセサリースOCKETにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。

やけどなどの原因となります。

nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠️ 注意



指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス／AFコート
外装	PC樹脂／塗装、ハードコート、印刷
電源キー／指紋センサー	エポキシ樹脂／ハードコート
音量UPキー／音量DOWNキー	アルミニウム／アルマイト処理
カメラパネル	強化ガラス／AFコート、ハードコート
カメラ飾り	PC樹脂／塗装、ハードコート
イヤホンマイク端子の周囲(内側側面)	PC樹脂／塗装、ハードコート
USB Type-C接続端子の周囲(内側側面)	PC樹脂／塗装、ハードコート
nanoSIMカード／microSDカードトレイ(外装部)	PC樹脂／塗装、ハードコート
nanoSIMカード／microSDカードトレイ	POM樹脂＋ステンレス／なし
nanoSIMカード／microSDカードトレイのパッキン	シリコンゴム／なし

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**
アダプタ、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所での使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となりますのでご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でのご使用ください。（充電も含む）
風呂場での使用については以下をご参照ください。
※P.24「SH-52Eが有する防水／防塵性能でできること」

- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本端末についてお願い

- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ 端子や各センサーなどが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけません。
 - ・ シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **本端末はアルコール除菌シートを使用することができます。**
耐薬品機能のチェックのため、一般的なアルコール除菌シートに使用される下記の薬品を布に含ませ、拭き取り試験を実施しています。
①イソプロピルアルコール99.7%、②エタノール99.5%、③次亜塩素酸ナトリウム1.0%
アルコール除菌シートでの拭き取りを想定した試験において、著しい変色・退色・剥がれのないことを確認しています。
ただし、すべての変色や塗装の剥がれ、変形しないことを保証するものではありません。
- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

- 家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)の近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

- 通常はnanoSIMカード／microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。

- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。

指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。

- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。

また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。

- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。

センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。

センサーの位置は、以下をご参照ください。

〔P.31「各部の名称と機能」〕

- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。

- ・フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
- ・電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管

なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。

- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

- 本端末の一部にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りがくやすくなっておりますので、ご注意ください。

アダプタについてのお願い

- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
 - ・ 端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)の近く
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

nanoSIMカードについてのお願い

- nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。
- 環境保全のため、不要になったnanoSIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIMカードに以下のことをしないでください。
 - ・ 曲げたり、重いものをのせる
 - ・ ラベルやシールなどを貼った状態で本端末に取り付ける

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報や注意事項をご確認いただくことができます。
ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[デバイス情報]⇒[規制ラベル]

●周波数帯について

本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4: 2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH: 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 4: 想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ XX: 変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 8: 想定される干渉距離が80m以下であることを示します。
- ⑥ : : : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

●Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

無線LAN(WLAN)についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報や注意事項をご確認いただくことができます。
ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[デバイス情報]⇒[規制ラベル]

●無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。

- ・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

●周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を示します。
 - ② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
 - ③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
 - ④ 4:想定される干渉距離が40m以下であることを示します。
 - ⑤ ■■■ ■■■ ■■■ :2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 本端末の無線LANで設定できるチャネルは1~13です。これ以外のチャネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
- 利用可能なチャネルは国により異なります。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

●2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

●5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を利用することができます。

- ・ W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
- ・ W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
- ・ W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch)

5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外利用は法律で禁止されています(5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント/中継局と通信する場合を除く)。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。

ホーム画面で⇒[設定]⇒[デバイス情報]⇒[規制ラベル]

FeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能について

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。
また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で⇒[設定]⇒[デバイス情報]⇒[規制ラベル]

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

- 自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能

SH-52Eは、nanoSIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じた状態でIPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。また、MIL規格に準拠する試験※4をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところに携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75 μ m以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- ※4 MIL規格準拠
米国防総省が制定したMIL-STD-810Hに準拠した独自の試験を実施しています。

試験項目	試験内容
防水(浸漬)	深さ約1.5mの水中に30分間浸漬させる試験
防水(雨滴)	高さ1mから15分間雨滴を落とす試験
防塵	12時間の粉塵試験
防塵(風塵)	連続6時間(風速8.9m/sec、濃度10.6g/m ³)の粉塵試験

試験項目	試験内容
耐衝撃(落下)	高さ1.22mから鉄板に製品を26方向で落下させる試験
耐振動	上下10Hz～500Hz、加速度1.04G、左右10Hz～500Hz、加速度0.2G、前後10Hz～500Hz、加速度0.74Gでそれぞれ60分の振動試験
防湿	連続10日間(湿度95%RH)の高湿度試験
高温保管(固定)	63℃に固定した72時間の高温保管試験
高温保管(変動)	28℃～58℃までの温度変化において72時間の高温保管試験
高温動作(固定)	55℃に固定した5時間の高温動作試験
高温動作(変動)	28℃～39℃／湿度43%～78%までの変化において72時間の高温動作試験
低温動作	-20℃に固定した5時間の低温動作試験
低温保管	-33℃～-25℃の温度変化において連続72時間の低温保管試験
温度耐久(温度衝撃)	-21℃～50℃の急激な温度変化において連続3時間の温度耐久試験
低圧保管	連続2時間(57.2kPa/高度約4,572m相当)の低圧保管試験
低圧動作	連続2時間(57.2kPa/高度約4,572m相当)の低圧動作試験

試験項目	試験内容
氷結(結露)	-10℃で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RHで動作試験
氷結(氷結)	-10℃環境下で着氷した氷の厚さが6mmになるまで氷結させる試験

- 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての状況での全機能の動作を保証するものではありません。また、すべての衝撃に対して、無破損、無故障を保証するものではありません。

SH-52Eが有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱めの水流(6L/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。nanoSIMカード／microSDカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(※P.28「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 風呂場で使用できます。
 - ・ 常温の水道水以外の液体(温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水など)を付着させたり、湯船に浸けたりしないでください。
故障の原因となります。万が一、水道水以外の液体が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流してください。
 - ・ 風呂場では、室温は5℃～40℃、湿度は99%以下、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
 - ・ 水に濡れたあとは、必ず所定の方法(※P.28「水に濡れたときの水抜きについて」)で水抜き・自然乾燥を行ってください。
風呂場での使用後やカメラのレンズ内側などに結露が発生した場合も自然乾燥を行ってください。
 - ・ 急激な温度変化は、結露の原因となります。
寒い場所から暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
また、風呂場で暖まった本端末に冷たい水をかけないでください。
故障の原因となります。

- 風呂場では絶対に充電を行わないでください。
- 風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、通話、データ通信ができない場合があります。
- 濡れた手で操作をする場合、反応しなかったり、誤動作したりする可能性があります。
- 風呂場で、イヤホンや外部接続機器を接続して使用しないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- nanoSIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
 - nanoSIMカード／microSDカードトレイが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
 - 防水／防塵性能を維持するため、nanoSIMカード／microSDカードトレイはしっかり閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点で有料にて承ります。

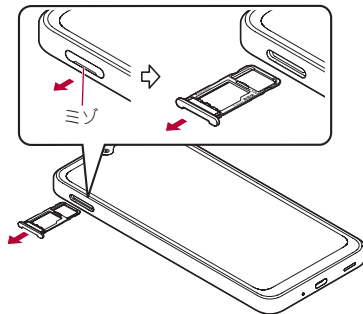
■ nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた

- 端末は手でしっかり持ってください。

取り外すとき

1 ディスプレイ面を上向きにして、左側面上部にあるミゾに指の先をかけ、nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体から引き出す

- nanoSIMカード／microSDカードトレイは、ゆっくりと水平に引き出してください。強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。

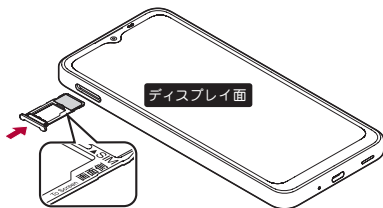


- nanoSIMカード／microSDカードトレイを引き出す際は、nanoSIMカードやmicroSDカードを落とさないようにご注意ください。
- ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でnanoSIMカード／microSDカードトレイを引き出すと、取り付けられているnanoSIMカードやmicroSDカードが外れ、紛失する可能性があります。

取り付けるとき

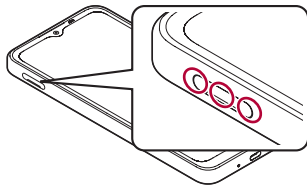
1 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体の左側面上部に差し込む

- nanoSIMカード／microSDカードトレイは「画面側」の刻印を上向きにして、ゆっくりと水平に奥まで差し込んでください。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、nanoSIMカード／microSDカードトレイが破損する恐れがあります。



2 ○部分をしっかりと押し、本体とnanoSIMカード／microSDカードトレイにすき間がないことを確認する

- nanoSIMカード／microSDカードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。



注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、nanoSIMカード／microSDカードトレイの開閉はしないでください。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。対処については、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱拠点にて部品をお取り替えください。端末の状態によっては有料での修理となる場合がございますので、ご注意ください。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用（キー操作を含む）しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（6L/分を超える）を直接当てないでください。SH-52EはIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。

- 常温（5℃～35℃）の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉の湯やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 海水やプールの水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 本端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口、マイク、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口／マイク、受話口、マイク、スピーカー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子などを先の尖ったものでつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態で外部接続機器を挿さないでください。故障の原因となります。

- オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

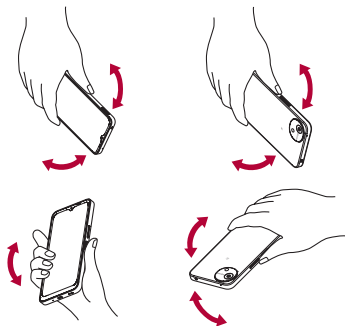
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

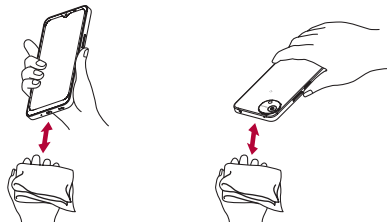


送話口／マイク、スピーカーの水抜きのために送話口／マイク、スピーカーを下にして振る

受話口、マイクの水抜きのために受話口、マイクを下にして振る

3 送話口／マイク、受話口、マイク、スピーカー、キー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子、空気抜き部(カメラ飾り)などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいたることがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、自然乾燥させてから充電してください。

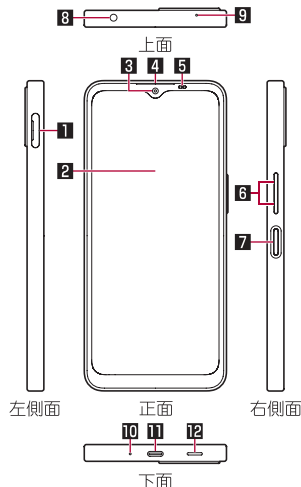
警告

端末に水滴や異物が付着している状態では、Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水／防塵性能を有しておりますが、ACアダプタ（別売）は防水／防塵性能を有していません。濡れたり汚れたりしている状態でType-Cプラグを挿入すると、端末やType-Cプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の準備

各部の名称と機能



1 nanoSIMカード／microSDカードトレイ

- nanoSIMカードについてはP.33「SIMについて」
- microSDカードについてはP.35「microSDカード」

2 ディスプレイ／タッチパネル

- タッチパネルの操作についてはP.45「タッチパネルの操作」

3 インカメラ

- カメラの利用についてはP.98「カメラについて」

4 受話口

5 近接センサー／明るさセンサー※1

- 通話中に顔の接近を検知して誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。

6 (＋)／(－)：音量UPキー／音量DOWNキー

- 各種音量の調節やカメラ撮影、マナーモードの設定などに使用します。

7 (○)：電源キー／指紋センサー※1

- 電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するとき、指紋認証に使用します。
 - ・ 電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときの操作についてはP.39「電源を入れる／切る」
 - ・ 指紋認証についてはP.154「指紋認証」
- 長押しすると、設定したアプリが起動します。
 - ・ 起動するアプリは「長押しでアプリ起動」で設定できます (P.148「クイック操作」)。

- **[(+)]**と同時に押すとメニューが表示され、[緊急通報][電源を切る][再起動][故障かな?と思ったら]の操作ができます。
 - ・緊急通報についてはP.74「緊急通報」
 - ・再起動についてはP.39「電源を入れる／切る」
 - ・「故障かな?と思ったら」についてはP.175「セルフチェック」

8 イヤホンマイク端子

9 マイク

- ハンズフリー通話中は相手の方にこちらの声を伝えます。
- 動画撮影時の録音にも使用します。

10 送話口／マイク

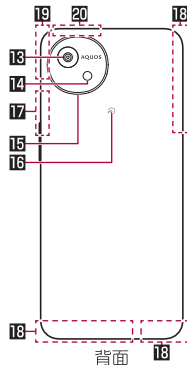
- 通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。
- 動画撮影時の録音やエモパー利用時の音声認識にも使用します。

11 USB Type-C接続端子

- 充電時などに使用します。
- USB Power Deliveryに対応しています。
- 外部機器との接続についてはP.37「充電」、P.183「パソコンなどとの接続」、P.185「USBホスト機能」

12 スピーカー

- 着信音や音楽などがここから聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。



13 標準カメラ

- 標準レンズで静止画／動画撮影ができるアウトカメラです。
- カメラの利用についてはP.98「カメラについて」

14 モバイルライト

15 空気抜き部(カメラ飾り)

- 性能を保つための空気抜き部となっています。

16 〇マーク

- ICカードが搭載されています(取り外しはできません)。
- 〇マーク(モバイル非接触IC通信マーク)の利用についてはP.109「おサイフケータイ」

17 5Gアンテナ※2

18 5G／LTEアンテナ※2

19 5G／GPSアンテナ※2

- ※1 センサー部分にはシールなどを貼らないでください。
- ※2 本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

- 本端末の外装ケース(背面部)は取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

モバイルライトについて

- 端末の温度が高くなった場合、モバイルライトが自動的に消灯することがあります。また、端末の温度が高い状態では、モバイルライトが利用できないことがあります。

マイクについて

- マイクを利用する機能を使用する場合は、マイクの穴をふさがないようにしてください。

イヤホンマイクについて

- イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

本端末の強制終了について

-  (電源キー/指紋センサー) +  (+) を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。画面が消灯したあとに指を離すと、電源が切れます。強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

SIMについて

本端末はnanoSIMカードとeSIM(ダウンロード型SIM)に対応しています。nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、モバイルデータ通信や通話の発信、SMSの送信などの操作にどちらのSIMを使うか選択できます。ただし、nanoSIMカードとeSIMの同時利用については、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- nanoSIMカードを取り付けていない、かつeSIMを設定していない場合は、電話、パケット通信などの機能を利用できません。
- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けていない、かつeSIMを設定していない場合は、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- SIMには、PINコードという暗証番号があります(設定P.43「PINコード」)。

nanoSIMカード

nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- 本端末では、nanoSIMカードのみご利用になれます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

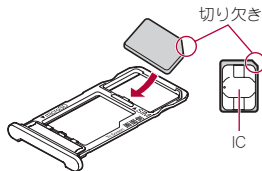
■ 取り付けかた

- nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.25)をご参照ください。
- nanoSIMカードは必ずnanoSIMカード／microSDカードトレイに取り付けてから本体に差し込んでください。

1 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体から取り外す

2 nanoSIMカードのIC面を下向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- nanoSIMカードは、nanoSIMカード／microSDカードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



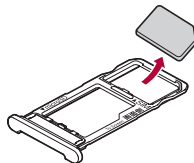
3 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.25)をご参照ください。

1 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体から取り外す

2 nanoSIMカードをnanoSIMカード／microSDカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に取り付ける

- nanoSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、nanoSIMカード／microSDカードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

eSIM

本端末は、お客様の電話番号などの情報を登録するeSIMに対応しています。

- eSIMのご利用には設定が必要です(※P.133「eSIMのSIM情報を設定する」)。
- お客様自身で、eSIMに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- eSIMについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-52Eでは市販の2G/バイトまでのmicroSDカード、32G/バイトまでのmicroSDHCカード、1T/バイトまでのmicroSDXCカードに対応しています。また、スピードクラス※は最大クラス10、UHSスピードクラス※はクラス3(SDR104)まで使用できます(2024年6月現在)。
※ スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
<https://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh52e/peripherals/microsd.html>
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(※P.166「microSDカード/USBメモリのフォーマット」)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります(データはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先/コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してください。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

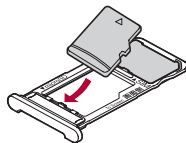
■ 取り付けかた

- nanoSIMカード/ microSDカードトレイの取り外し/取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカード/ microSDカードトレイの取り外し/取り付けかた」(P.25)をご参照ください。
- microSDカードは必ずnanoSIMカード/ microSDカードトレイに取り付けてから本体に差し込んでください。

1 nanoSIMカード/ microSDカードトレイを本体から取り外す

2 microSDカードの金属端子面を下向きにして、nanoSIMカード/ microSDカードトレイに取り付ける

- microSDカードの向きにご注意ください。
- microSDカードは、nanoSIMカード/ microSDカードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



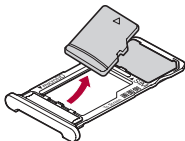
3 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカード/ microSDカードトレイを本体に取り付ける

■ 取り外しかた

- nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付け方法について詳しくは、「nanoSIMカード／microSDカードトレイの取り外し／取り付けかた」(P.25)をご参照ください。

1 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体から取り外す

2 microSDカードをnanoSIMカード／microSDカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を上向きにして、nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に取り付ける

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。

<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安についてはP.209「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できます(通電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます)。
- 充電中にロック画面や設定画面に表示される充電完了までの時間は、目安です。
- 充電完了後、ACアダプタ(別売)やDCアダプタ(別売)を長時間挿したままにすると、充電量が減少します。この場合、ACアダプタやDCアダプタから再び充電を行います。ACアダプタやDCアダプタを端末から取り外すタイミングによっては、内蔵電池が本来の充電量より少ない場合があります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少していることがあります。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめします。

- 本端末の温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

■ 内蔵電池の寿命

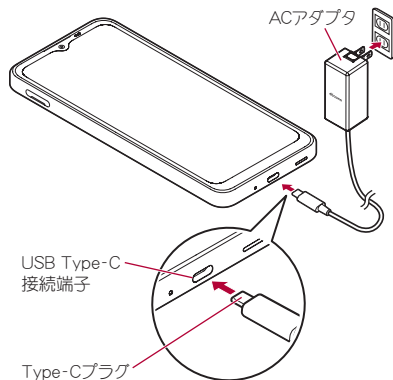
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」(P.207)をご確認ください。
- 充電しながら動画の視聴などを長時間行うと内蔵電池の寿命が短くなることがあります。



ACアダプタで充電

ACアダプタ 08(別売)を使って充電する場合は、次の操作を行います。

- 1 ACアダプタのType-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む



3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、Type-CプラグをUSB Type-C接続端子から水平に抜く

- 詳しくはACアダプタ 08の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 08は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 無理に差し込んだり抜いたりすると、USB Type-C接続端子やType-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

DCアダプタで充電

DCアダプタ(別売)は、自動車のアクセサリソケット(12V/24V)から充電するための電源を供給するアダプタです。詳細については、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズは消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

USBケーブルで充電

端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02(別売)などで接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンなどとの接続方法についてはP.183「パソコンなどとの接続」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 □(電源キー／指紋センサー)(3秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときは初期設定を行ってください(P.41「初期設定」)。

■ 電源を切る

1 □(電源キー／指紋センサー)+□(+)

- 電源メニューが表示されます。

2 [電源を切る]

- [再起動]をタッチすると、本端末の電源が切れたあと、自動的に起動します。

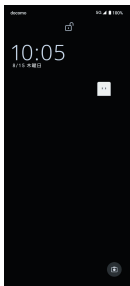
■ 画面を点灯／消灯する

□(電源キー／指紋センサー)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、画面が消灯します。画面が消灯しているときに□(電源キー／指紋センサー)を押すと、画面が点灯します。

■ 画面ロックを解除する

画面を点灯すると、ロック画面が表示されます。

- [🔒]が表示されている場合:画面を上にはスワイプすると、画面ロックが解除されます。
- [🔒]が表示されている場合:画面を上にはスワイプして[画面ロック]で設定したパスワードなどを入力すると、画面ロックが解除されます。
- [画面ロック]についてはP.152「セキュリティとプライバシー」



ロック画面

ロック画面の操作

- [🔒]など画面下部のショートカットをロングタッチすると、対応する機能が起動します。
- 通知などが表示されていない部分をロングタッチすると、画面下部に[タップして変更する]が表示されます。タッチすると、壁紙やショートカットなどの変更などができます(P.142「壁紙とスタイル」)。
- 画面を下にドラッグすると、ステータスパネルが表示されます。さらに画面を下にドラッグすると、ステータスパネルが展開されます。ステータスパネルからは、各種機能をON/OFFできるボタンの利用や通知などの確認ができます(P.54「ステータスパネルの利用」)。

- [画面ロック]を[なし]に設定している場合、ロック画面は表示されません。[画面ロック]についてはP.152「セキュリティとプライバシー」
- ロック画面には通知が表示されます。通知の表示についてはP.139「通知」
- [ロックフォトシャッフル]をONに設定すると、ロック画面の壁紙がランダムに切り替わるよう設定できます。[ロックフォトシャッフル]についてはP.144「ロック・ホームフォトシャッフル」
- エモパーをONにしている場合、画面の下部にエモパーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。情報によっては2回タッチすると、関連情報や詳細を確認できます。また、[エモパーメモ]がONのときは、ロック画面でエモパーメモが利用できます。
 - エモパーについてはP.119「エモパー」

初期設定

本端末の電源を入れたあとに[ようこそ]と表示されたときは、画面の指示に従って初期設定をしてください。

- はじめてのご利用時にeSIMを設定する場合は、初期設定の完了後に行ってください。eSIMの設定についてはP.133「eSIMのSIM情報を設定する」
- 設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。
 - 言語の設定
 - ・ [視覚補助]をタッチすると、視覚に関するユーザー補助機能を利用できます(P.163「ユーザー補助」)。
 - モバイルデータ通信に使用するSIMの選択※1
 - 通話の発信に使用するSIMの選択※1
 - SMSの送信に使用するSIMの選択※1
 - ネットワークの選択
 - アプリとデータのコピー※2
 - Googleアカウントの設定(P.42「Googleなどのアカウントの設定を行う」)
 - Google サービス
 - 端末のロック
 - Google アシスタント™

※1 nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合に表示されます。

※2 以前のスマートフォンから簡単にデータを引き継ぐことができます。[次へ]をタッチして画面の指示に従って操作してください。

■ その他の初期設定

1 ドコモ初期設定画面が表示されたら内容を確認⇒[次へ]

- ドコモの初期設定項目は次のとおりです。画面の指示に従って操作してください。
 - サービス向上のための情報利用に関するお願い
 - 機能の利用確認
 - dアカウント
 - あんしん設定
 - かんたん一括設定

2 My AQUOSの利用設定を行う

3 壁紙やフォント、本端末の操作方法などの設定を行う

4 ホーム画面の設定を行う

- ホーム画面が表示されます。

Googleなどのアカウントの設定を行う

- Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[パスワードとアカウント]⇒[アカウントを追加]

2 アカウントの種類を選ぶ

3 アカウントを設定する

- ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[パスワードとアカウント]で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。

- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント 設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ アカウントの削除

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[パスワードとアカウント]

2 アカウントを選ぶ⇒[アカウントを削除]⇒[アカウントを削除]

- アカウントにより操作方法が異なります。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

1 ホーム画面で[]

2 URL入力欄に「https://www.google.co.jp」を入力⇒[]⇒[ログイン]

3 メールアドレスを入力⇒[次へ]⇒[パスワードをお忘れの場合]⇒画面の指示に従って操作

- 利用状況により操作方法が異なります。

dアカウントの設定を行う

- dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケットなどのドコモが提供するサービスを利用するときに必要なID／パスワードです。
- 端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ドコモのサービス／クラウド]⇒[dアカウント設定]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

本端末で利用する暗証番号について

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作の暗証番号のほかに、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[・]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでのご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でのご契約されたお客様は、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。

■ 画面ロック用PIN／パスワード

本端末の[画面ロック]を使用するための暗証番号です。

■ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

- ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ PINコード

nanoSIMカード／eSIMには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（※P.44「PINコードを変更する」）。PINコードは、第三者によるnanoSIMカード／eSIMの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカード／eSIMをお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカード／eSIMが完全にロックされます。その場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[セキュリティとプライバシー]⇒[その他のセキュリティとプライバシー]⇒[SIM ロック]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、SIMの名前が表示されたタブをタッチして、設定するSIMを選択してください。

2 [SIM をロックする]

3 PINコードを入力⇒[OK]

- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けていない、かつeSIMを設定していない場合や、PINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。

- 設定はnanoSIMカード／eSIMに保存されます。

PINコードを変更する

[SIM をロックする]を設定しているときのみ変更できます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[セキュリティとプライバシー]⇒[その他のセキュリティとプライバシー]⇒[SIM ロック]

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、SIMの名前が表示されたタブをタッチして、設定するSIMを選択してください。

2 [SIM PINの変更]

3 現在のPINコードを入力⇒[OK]

4 新しいPINコードを入力⇒[OK]

5 もう一度新しいPINコードを入力⇒[OK]

PINロックの解除

1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力

2 新しいPINコードを入力

3 もう一度、新しいPINコードを入力

基本操作

基本操作

タッチパネルやナビゲーションバーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

● 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作
- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるアイコンや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするともメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)/ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違っ触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト／ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)／狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大／縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションバー

画面下部のナビゲーションバーに表示されるボタンなどを使って基本的な操作を行うことができます。



1 ◀ / ▼: 戻るボタン／閉じるボタン

- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 ○: ホームボタン

- ホーム画面を表示します。
- ロングタッチすると、アシスト機能を利用できます (P.47「アシスト機能の利用」)。

3 □: アプリ使用履歴ボタン

- アプリ使用履歴を表示します (P.55「アプリ使用履歴」)。

- ホーム画面で [三平方] ⇒ [設定] ⇒ [システム] ⇒ [ジェスチャー] ⇒ [ナビゲーション モード] ⇒ [3 ボタン ナビゲーション] の [歯車] と操作すると、「ボタンの並び順」欄でナビゲーションバーに表示されるボタンの並び順を選択できます。

■ アシスト機能の利用

アシスト機能に対応したアプリをすばやく起動することができます。

1 [●]をロングタッチ

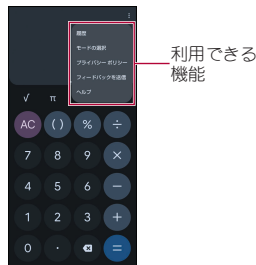
- お買い上げ時はGoogle アシスタントが起動します。
- 起動するアプリの設定: ホーム画面で[●]⇒[設定]⇒[アプリ]⇒[デフォルトのアプリ]⇒[デジタル アシスタント アプリ]⇒[デフォルトのデジタル アシスタント アプリ]⇒アプリを選ぶ

- ホーム画面で[●]⇒[設定]⇒[システム]⇒[ジェスチャー]⇒[ナビゲーション モード]⇒[3 ボタン ナビゲーション]の[●]⇒[ホームボタンを長押ししてアシスタントを起動]をOFFに設定すると、[●]をロングタッチしてもアシスト機能は利用できません。

■ メニューを呼び出す

[⋮]／[≡]などのメニューボタンのタッチや画面の左端を右にスワイプ、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例: 電卓画面

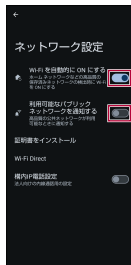


■ 設定の切替

設定項目の横にトグルスイッチなどが表示されているときは、タッチすることで設定のON/OFFを切り替えることができます。

例:ネットワーク設定

- []はON、[]はOFFの状態です。



■ 縦／横表示

端末を回転させた場合、利用中のアプリによってはナビゲーションバーに[]/[]が表示されます。[]/[]をタッチして、画面の縦／横表示を切り替えることができます。

- [画面の自動回転]をONにすると、本端末の傾きに合わせて、縦／横表示が自動的に切り替わります(※P.140「ディスプレイ」)。
 - ・ステータスパネルからも設定できます(※P.54「ステータスパネルの利用」)。

[画面の自動回転]について

- アプリや表示画面によっては、端末の向きを変えても、縦／横表示が切り替わらない場合や、特定の向きに表示が固定される場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 音やバイプレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦／横が正しく表示されない場合があります。

スクリーンショットの撮影

表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、「フォト」アプリなどで確認することができます。
- Clip Nowを利用してもスクリーンショットを撮影することができます(※P.146「Clip Now」)。
- アプリ使用履歴を利用してもスクリーンショットを撮影することができます(※P.55「アプリ使用履歴」)。

1 (電源キー／指紋センサー) + (—)

- []をタッチすると、撮影した画像を共有できます。
- []をタッチすると、撮影した画像を編集できます。
- スクロール可能な画面でスクリーンショットを撮影すると、[キャプチャ範囲を拡大]が表示される場合があります。タッチすると、スクロールして表示される画面の全体が表示され、保存する範囲を調整できます。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

スクリーン レコード

表示中の画面を動画として録画できます。

- 撮影した動画は本体メモリに保存され、「フォト」アプリなどで確認することができます。

1 ステータスパネルで機能ボタンの[スクリーン レコード 開始]をタッチ

2 項目を選ぶ

- **録音**: 録音する音声について設定します。
- **画面上のタップも記録する**: 録画中のタッチ操作を白い丸で記録するか設定します。

3 [開始]

- ステータスバーにカウントダウンが表示され、録画を開始します。

4 ステータスパネルで[停止]

- ステータスパネルで機能ボタンの[スクリーン レコード 停止]をタッチしても、録画を停止できます。

- アプリによっては録画できない場合があります。

アプリの権限を設定する

本端末の機能や情報にアクセスするアプリ／機能をはじめて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

- アプリ／機能によって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。
- アプリによっては、特定の機能をはじめて利用するときに確認画面が表示される場合があります。また、バックグラウンドで起動しているアプリについての確認画面が表示される場合もあります。

例: スケジュールを起動したとき

1 アクセス権限の許可をリクエストする確認画面で[許可]／[許可しない]



- 通常は機能の利用を許可してください。機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。
- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能の設定

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

アプリごとに利用する機能を設定

- 1 ホーム画面で[<]⇒[設定]⇒[アプリ]
- 2 [XX 個のアプリをすべて表示]⇒アプリを選ぶ
 - [使用していないアプリを一時停止する]をONにすると、アプリが数か月使用されていない場合に権限と一時ファイルを削除し、アプリの通知を停止します。数か月使用されていないアプリの確認についてはP.167「アプリ」

3 [権限]

4 機能を選ぶ

5 設定を選ぶ

機能ごとに利用を許可するアプリを設定

- 1 ホーム画面で[<]⇒[設定]⇒[セキュリティとプライバシー]⇒[プライバシー]⇒[権限マネージャー]
- 2 機能を選ぶ
- 3 アプリを選ぶ
- 4 設定を選ぶ

■ 他のアプリの上に重ねて表示

アプリ／機能によっては、他のアプリの上に重ねて表示する許可が必要な場合があります。

- 1 ホーム画面で[<]⇒[設定]⇒[アプリ]
- 2 [XX 個のアプリをすべて表示]⇒アプリを選ぶ
- 3 [他のアプリの上に重ねて表示]
- 4 [他のアプリの上に重ねて表示できるようにする]をONにする

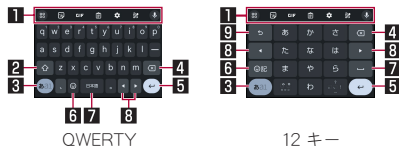
文字入力

文字入力には、連絡先の登録時やメールの作成時などの文字入力画面で入力欄をタッチすると画面に表示されるキーボードを使用します。

- お買い上げ時の入力ソフトは、「Gboard」が設定されています。

Gboard

- ここでは、QWERTYと12キーの基本的な操作について説明します。操作方法などは、Gboardのアップデートにより、本書の内容から変更されることがあります。



※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 ツールバー

- クリップボードを利用したり、文字入力に関する設定などができます。

2 シフトキー

- 大文字／小文字を切り替えます。

3 入力モード切替キー

- 入力モードを変更します。

4 削除キー

- 文字を削除します。

5 確定／改行キー

- 入力中の文字の確定や、カーソル位置での改行を行います。

6 絵文字キー

- 絵文字や記号などを表示します。

7 スペースキー

- スペースを入力します。

8 カーソルキー

- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

9 逆トグル／戻すキー

- 入力した文字から逆回しで文字を入力したり、直前に確定した文字を未確定状態に戻したりできます。

■ 音声入力

音声入力に切り替えて、音声で文字を入力できます。

1 キーボードを表示中にツールバーの[マイクアイコン]

- ツールバーに「お話しください」と表示され、音声入力に切り替わります。

2 入力する内容を話す

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。

アイコンの見かた

- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン: 不在着信や新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン: 電池残量や電波状態など端末の状態を表します。



- お知らせや端末の状態を表すアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は、[・]が表示されます。ステータスパネルを表示して確認してください。

■主なお知らせアイコン一覧

- [!]: 電池残量が約20%以下
- [人]: 不在着信あり (P.78「通話履歴」)
- [+]: 新着+メッセージあり (P.87「+メッセージ」)
- [M]: 新着Gmailあり (P.93「Gmail™」)
- [A]: エラー表示
 - 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

- [?]: dアカウントの認証失敗 (P.160「ドコモのサービス／クラウド」)
- [データ]: データ通信が無効 (P.133「データ使用量の警告と制限」)
 - データ使用量が上限に達した場合に表示されます。
- [アラーム]: アラーム情報あり (P.114「アラーム」)
- [31]: カレンダーのスケジュール通知あり
- 電話表示 (P.72「電話について」)
 - [電話]: 発信中／着信中
 - [通話]: 通話中
 - [留守]: 保留中
- [伝言]: 伝言メモあり (P.79「通話音声・伝言メモ」)
- [留守]: 留守番電話の伝言メッセージあり (P.82「ネットワークサービス」)
- [microSD]: microSDカード表示 (P.166「ストレージ」)
- [メモリ]: 本体メモリの空き容量低下 (P.166「ストレージ」)
- [2]: おまかせロック設定中
- Bluetooth表示 (P.178「Bluetooth®機能」)
 - [Bluetooth]: Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり
 - [データ]: データ受信要求あり
- データ送受信表示
 - [↑]: 送信表示
 - [↓]: 受信表示
- [更新]: アプリのアップデートあり

:パブリック ネットワークあり(☞P.131「Wi-Fiの設定」)

:ソフトウェアアップデート情報あり(☞P.204「ソフトウェアアップデート」)

■ 主なステータスアイコン一覧

~:電池残量表示(☞P.164「バッテリー」)

- 通電中は電池マークにが重なって表示されます。
- 電池マークの右に電池残量がパーセントで表示されます。パーセントの表示／非表示はバッテリーの[バッテリー残量]で切り替えられます。

電波状態表示

~:レベル表示(5段階)

:圏外

- データ受信中は、データ送信中はが電波マークに重なって表示されます。
- 5G/4G(LTE)使用可能時は、電波マークの左側に[5G]／[4G+]が表示されます。
- LTE接続時は常に[4G+]が表示されます。
- 音声サービスが利用できない場合は、電波マークの左上にが小さく表示されます。
- 国際ローミング中は、電波マークの左上に[R]が小さく表示されます。
- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、電波状態表示がそれぞれのSIMに対して表示されます。左側がnanoSIMカード、右側がeSIMに関する表示です。

Wi-Fi電波状態表示(☞P.130「Wi-Fi」)

~:レベル表示(5段階)

- :インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中
- データ受信中は、データ送信中はがWi-Fi電波マークに重なって表示されます。

:機内モード中(☞P.129「ネットワークとインターネット」)

:[Wi-Fiテザリング]が有効(☞P.135「テザリング」)

マナーモードのモード表示(☞P.138「マナーモード」)

:マナーモード(パイプ)

:マナーモード(ミュート)

- は[パイプレーション モードのときにアイコンを常に表示]をONにすると表示されます(☞P.137「音とパイプレーション」)。

:サイレント モード設定中(☞P.138「サイレント モード」)

通話中表示(☞P.76「通話中の操作」)

:ハンズフリー通話中

:ミュートに設定中

:Bluetooth通信中(☞P.178「Bluetooth®機能」)

:位置情報をGPSで測位中(☞P.159「位置情報」)

/ :カメラ／マイク利用表示

- カメラ／マイクの利用開始時に表示されます。カメラ／マイクを利用中は緑色の点で表示されます。

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを下にドラッグ

- ステータスパネルが表示されます。
- ステータスパネルをさらに下にドラッグすると、ステータスパネルが展開され、隠れていた機能ボタンなどが表示されます。
- ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグすると、ステータスパネルが展開された状態で表示されます。

2 ステータスパネルを利用する

■ ステータスパネルの見かた



1 機能ボタン

- マナーモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用などについて設定できます。
- ロングタッチすると詳細を設定できる場合があります。
- ステータスパネルを展開しているときは、表示エリアを左右にフリックするとページを切り替えられます。

2 通知詳細情報

- 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
- 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
 - ・ 対応するアプリの起動や操作: 詳細情報や機能をタッチ
 - ・ 詳細表示／簡易表示の切替: 詳細情報を2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト／ピンチイン
 - ・ 詳細情報の消去: 詳細情報を左右にフリック
 - ・ 通知について設定: 詳細情報をロングタッチ⇒画面の指示に従って操作

3 管理

- アプリの通知について設定します。

4 すべて消去

- 通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。通知詳細情報の内容によっては消去されない場合があります。

5 明るさ調整バー

- ドラッグすると画面の明るさを調整できます。

6 インジケータ

- 機能ボタン表示エリアのページ枚数と現在の表示位置を表します。

7 通信事業者名

- 接続している通信事業者名が表示されます。

8 編集

- 機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。

9 設定

- 「設定」アプリを起動します。

10 電源メニュー

- [緊急通報][電源を切る][再起動][故障かな?と思ったら]の操作ができます。

- アプリによっては、通知を受信した際に、ステータスパネルで発信や返信操作などを行えるものがあります。通知詳細情報を詳細表示にし、画面の指示に従って操作してください。
- バックグラウンドで実行中のアプリがある場合は、展開したステータスパネルの下部に「XX 個のアプリがアクティブです」と表示されます。タッチすると、バックグラウンドで実行中のアプリを確認できます。

アプリ使用履歴

最近使用したアプリの使用履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 [□]

2 使用履歴を利用する

- [□]をタッチすると、1つ前に使用していたアプリが起動します。



1 アプリの使用履歴

- タッチすると、アプリを起動できます。
- 上にフリックすると、使用履歴を削除できます。
- 使用履歴を右にフリックし、[すべてクリア]をタッチすると、使用履歴をすべて削除できます。

2 スクリーンショット

- 表示しているアプリの使用履歴を画像として撮影できます。

3 アプリアイコン

- タッチすると、アプリ情報の確認やマルチウィンドウ (P.56「マルチウィンドウ」) が利用できます。また、アプリ固定機能を利用して、選択したアプリの画面以外が表示できないようにすることもできます。
 - ・ アプリ固定機能を利用する場合は、あらかじめ[アプリ固定]で機能を設定しておいてください (P.158「その他のセキュリティとプライバシー」)。
 - ・ アプリ固定: アプリアイコンをタッチ⇒[固定]
 - ・ アプリ固定の解除: [◀] + [□] をロングタッチ

4 分割画面

- マルチウィンドウが利用できます (P.56「マルチウィンドウ」)。

- アプリによっては使用履歴が表示されない場合があります。
- 起動中のアプリの使用履歴を削除すると、アプリを終了することができます。

マルチウィンドウ

画面を分割し、2つのアプリを同時に利用することができます。

- あらかじめ利用するアプリを起動して、アプリの使用履歴が表示されるようにしておいてください。

1 [□]

2 上側に配置するアプリの使用履歴を表示⇒[分割画面]

- 使用履歴のアプリアイコンをタッチ⇒[分割画面]と操作しても、マルチウィンドウを利用することができます。

3 下側に配置するアプリの使用履歴を選ぶ

- 画面が上下に分割されます。



11 セパレータ

- 画面上端／下端までドラッグすると、下側／上側のアプリが全画面になります。マルチウィンドウは終了します。
- 上／下にドラッグすると、上下の画面サイズを変更することができます。

- 画面が横表示の場合は、左右に分割されます。
- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。

ホーム画面

ホーム切替

利用するホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
 - docomo LIVE UX
ドコモのスマートフォン向けに使いやすく最適化されたホームアプリです。
 - AQUOS Home
ホーム画面(デスクトップシート／お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。
 - AQUOSかんたんホーム
アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。
 - ・ ウィジェット／ショートカットを配置するホーム画面、ホーム画面右下の[アプリ]をタッチして表示されるアプリ一覧画面で構成されます。
 - ・ ホーム画面でアプリアイコンなどが無い部分、または右下の[アプリ]をロングタッチすると、壁紙変更／ウィジェット追加／ホームの設定を行うメニューを利用できます。
 - ・ よく連絡する相手をホーム画面下部の楽ともリンクに登録することができます。

- AQUOSジュニアホーム
お子さまのご使用に適したシンプルなホームアプリです。
 - ・ ウィジェット／ショートカットを配置するホーム画面、ホーム画面上にスワイプして表示されるアプリ一覧画面で構成されます。
 - ・ ホーム画面でアプリアイコンなどが無い部分をロングタッチすると、壁紙とスタイルの変更／ウィジェット追加／ホームの設定を行うメニューを利用できます。
 - ・ よく連絡する相手をホーム画面下部の楽ともリンクに登録することができます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ホーム切替]⇒ホームアプリを選ぶ

- AQUOS Homeを使用する場合は、ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[AQUOS Home]⇒[AQUOS Homeを使ってみる]と操作しても、設定することができます。

docomo LIVE UX

ドコモが提供するホームアプリです。ホーム画面を直感的にカスタマイズすることができます。

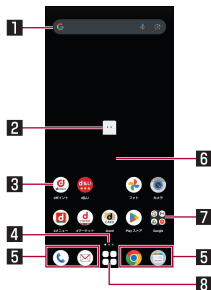
docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で[]⇒[]⇒[ヘルプ]を参照するか、以下のホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/live_ux/index.html

ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。

すべてのアプリはアプリ一覧に格納されており、アプリアイコン(ショートカット)がホーム画面に配置されます。

- ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アプリアイコンやフォルダの右上にドット(点)または数字が表示される場合があります。



1 ウィジェット

- ウィジェット (Google™ 検索) を起動できます。
- ウィジェットによってはロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行できます。

2 マチキャラ

- タッチすると知りたいことに対話で応えてくれます。

3 アプリアイコン(ショートカット)

- タッチすると、アプリを起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。特定の操作のショートカットが表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、ホーム画面に追加できます。

4 インジケータ

- ホーム画面のページ枚数と現在の表示位置を示します。
※ 画面をフリックするときのみ表示されます。

5 ドック

- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

6 カスタマイズエリア

- アプリアイコン、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

7 フォルダ

- 複数のアプリアイコンなどが格納されています。

8 アプリ一覧ボタン

- すべてのアプリを表示します。アプリを検索することもできます。

ホーム画面の管理

■ アプリアイコンなどの移動

- 1 ホーム画面で移動するアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ
- 2 移動したい位置までドラッグ
 - ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
 - 他のアプリアイコンと重なる位置にドラッグ⇒[作成する]と操作すると、フォルダを作成できます。

■ アプリアイコンの追加

- 1 ホーム画面で[]
- 2 ホーム画面にアプリアイコンを追加したいアプリをロングタッチ
- 3 [ホーム画面に追加]
 - 同じアプリアイコンを複数貼り付けることも可能です。

■ ウィジェットの追加

- 1 ホーム画面でアプリアイコンなどがない部分をロングタッチ⇒[ウィジェット]
 - 2 アプリをタッチ⇒ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ
 - 3 貼り付けたい位置までドラッグ
- ### ■ アプリアイコンなどをホーム画面から削除
- 1 ホーム画面で削除するアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ
 - 2 画面上部の[削除]までドラッグ
 - アプリアイコンやウィジェットなどをドラッグすると、画面上部に[削除]が表示されます。
 - アプリアイコンの場合は、ショートカットメニューの[✕] (ホーム画面から消す) をタッチしてもホーム画面から削除できます。
 - ホーム画面からアプリアイコンを削除しても、アプリ自体はアンインストールされません。

■ アプリのアンインストール

1 ホーム画面でアンインストールするアプリのアプリアイコンをロングタッチ

- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタッチしてからアンインストールするアプリのアプリアイコンをロングタッチします。

2 画面上部の[アンインストール]までドラッグ⇒[OK]

- アプリアイコンをドラッグすると、画面上部に[アンインストール]が表示されます。
- ショートカットメニューの[ (アンインストール)]をタッチしてもアプリをアンインストールできます。
- アプリをアンインストールできない場合、[アンインストール]／[ (アンインストール)]は表示されません。
- アンインストールすると、アプリ一覧画面からもアプリが削除されます。

■ フォルダ名の変更

1 ホーム画面でフォルダを選ぶ

2 フォルダ名をタッチ

3 フォルダ名を入力

- キーボードに表示される[>]をタッチします。

■ ホーム画面の設定

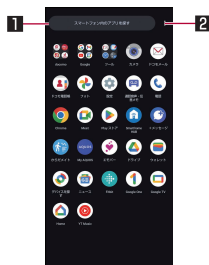
1 ホーム画面でアプリアイコンなどがない部分をロングタッチ⇒[ホーム設定]

2 項目を選ぶ

- **通知ドット**: アプリの通知があるときに、アプリアイコンの右上に通知ドット(点)を表示するかなど、通知について設定します(※P.139「通知」)。
 - ・ 通知ドット(点)は、[アプリアイコン上の通知ドット]でON/OFFを設定できます。
- **ホーム画面にアプリのアイコンを追加**: 新しいアプリをインストールした際に、ホーム画面に自動でアプリアイコンを貼り付けるか、アプリ一覧画面のみに表示するか選択できます。
 - ・ デフォルトではインストールしたアプリはアプリ一覧画面の最後に表示されます。
- **ホーム設定アイコン**: ホーム画面に[ホーム設定]のアプリアイコンを表示するか設定できます。
- **壁紙設定**: ホーム画面とロック画面の壁紙を変更できます。
 - ・ ホーム画面でアプリアイコンなどがない部分をロングタッチ⇒[壁紙]と操作しても、壁紙を変更できます。
- **マチキャラ設定**: マチキャラのON/OFFや、キャラ変更などマチキャラに関する設定ができます。
- **my daiz NOW表示設定**: ホーム画面の一番左にあるmy daiz NOWを表示するか設定できます。
- **上スワイプ操作設定**: 上フリック起動アプリのON/OFFやアプリの設定ができます。
- **ホームの使い方**: ホーム画面のチュートリアルを確認できます。
- **ヘルプ**: ホーム画面の詳しい使いかたを確認できます。

アプリ一覧画面

ホーム画面で[]をタッチすると表示されます。アプリ一覧画面ではアプリの並び替えやフォルダの作成、アプリ名でアプリを検索することができます。



1 アプリ検索バー

- タッチすると文字入力ですべてのアプリを検索することができます。

2 アプリ一覧設定

- アプリ一覧画面のすべてのアプリの並び替え方法を変更できます。手動またはソート（つけた順、アプリ名順、インストール順）を選択できます。

アプリ一覧画面の管理

■ アプリアイコンなどの移動

1 アプリ一覧画面で移動するアプリアイコンなどをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグ

- [アプリ一覧設定]で[ソートメニューで並び替え]を選択している場合は、つけた順、アプリ名順、インストール順に自動で並び替えられます。
- 他のアプリアイコンと重なる位置にドラッグ⇒[作成する]と操作すると、フォルダを作成できます。

■ アプリのアンインストール

1 アプリ一覧画面でアンインストールするアプリのアプリアイコンをロングタッチ

- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタッチしてからアンインストールするアプリのアプリアイコンをロングタッチします。

2 [](アンインストール)⇒[OK]

- アプリをアンインストールできない場合、[](アンインストール)は表示されません。

■ フォルダ名の変更

1 アプリ一覧画面でフォルダを選ぶ

2 フォルダ名をタッチ

3 フォルダ名を入力

- キーボードに表示される[✓]をタッチします。

SmartNews for docomo

SmartNews for docomoは、世の中で「いま」起きていることや、あなたの生活に役立つ、良質で身近な情報を毎日お届けするニュースアプリです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客様の好みに近づいていきます。表示チャンネルやPush通知、星座や天気の地域など、お好みの設定にカスタマイズすることもできます。

■ 記事の見かた

1 ホーム画面で[🏠]

- 初期画面が表示された場合は、画面に従って操作し、規約に同意することで利用できます。
- チャンネル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとチャンネルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタッチ

- 記事一覧画面で記事をタッチすると、その記事の詳細を読むことができます。

my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や交通情報、グルメ情報などの生活に便利な情報がチェックできます。

■ 画面の見かた



1 ホーム画面で右にフリック

- 上下スワイプで表示するカードを切り替えることができます。
- 左にフリックするとホーム画面に戻ります。

2 読みたいカードをタッチ

- カードをタッチすると、より詳細な情報が閲覧できます。
- 画面左上に表示されるmy daiz(キャラクター)をタッチすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

■ 表示設定

- 1 ホーム画面でアプリアイコンなどが無い部分を
ロングタッチ⇒[ホーム設定]

2 [my daiz NOW表示設定]

ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

- 1 ホーム画面で[]⇒[]

2 [アプリ情報]

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に[今すぐアップデート]が表示され、タッチするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

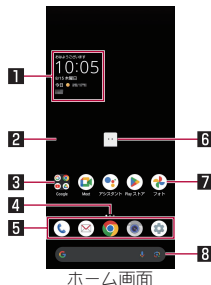
AQUOS Home

AQUOS Homeは、ホーム画面(デスクトップシート／お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。

ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ／機能のショートカット／ウィジェット、お気に入りトレイにはアプリ／機能のショートカットを登録することができます。アプリ一覧画面にはインストールされているアプリやおすすめのアプリが表示されます。

AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上にはスワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。





アプリ一覧画面

1 ウィジェット

- 時計エモパーウィジェットでは、日付や時刻、天気と合わせて、コメントが表示されます。タッチするとエモパーを起動できます。

2 デスクトップシート

- 左右にフリックするとページを切り替えることができます。

3 フォルダ

- フォルダをタッチ⇒フォルダ名を選ぶと、フォルダ名を変更できます。
フォルダをタッチしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。

4 ページインジケータ

- デスクトップシートのページ枚数と現在の表示位置を表示します。

※画面をフリックするときのみ表示されます。

5 お気に入りトレイ

- お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。

6 マチキャラ

- タッチすると知りたいことに対話で応えてくれます。
- お買い上げ時の状態だと、ホーム画面上にマチキャラが表示されません。表示するには、「my daiz」アプリを他のアプリの上に重ねて表示する許可が必要です(※P.50「他のアプリの上に重ねて表示」)。

7 アプリ

8 Google 検索バー

- Google 検索やGoogle レンズ™を起動できます。

9 アプリを検索

- インストールされているアプリの検索などができます。

10 おすすめアプリ

- 本端末の使用状況などに応じて、おすすめのアプリを表示します。

ホーム画面の管理

■ アプリ／ウィジェット／フォルダの移動

1 ホーム画面／アプリ一覧画面でアプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

2 移動する位置にドラッグして、指を離す

- 各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。

- 他のアプリアイコンと重なる位置にドラッグすると、フォルダを作成できます。
- ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダを[✕(削除)]までドラッグするとホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリを[🗑️(アンインストール)]までドラッグするとアンインストールできます。

- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- アプリ一覧画面のアプリをロングタッチしてドラッグすると、画面上部に[ホーム画面に追加]が表示されます。[ホーム画面に追加]までドラッグすると、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットの追加

- 1 ホーム画面でアプリアイコンなどが無い部分をロングタッチ⇒[ウィジェット]
- 2 アプリをタッチ⇒ホーム画面に追加したいウィジェットをロングタッチ
 - ホーム画面が表示されます。
- 3 追加する位置にドラッグして、指を離す

機能のショートカットの利用

- 1 ホーム画面／アプリ一覧画面でアプリをロングタッチして、指を離す
- 2 機能のショートカットを選ぶ
 - 利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
 - 機能のショートカットをロングタッチ⇒登録する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙の設定

- 1 ホーム画面でアプリアイコンなどが無い部分をロングタッチ⇒[壁紙とスタイル]
 - 2 [ホーム]⇒[壁紙の変更]
 - 3 表示された画像やアプリから設定する壁紙を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。
- [ホームフォトシャッフル]をONに設定すると、ホーム画面の壁紙がランダムに切り替わるよう設定できます(📖P.144「ロック・ホームフォトシャッフル」)。

ホーム画面の設定

1 ホーム画面でアプリアイコンなどが無い部分を ロングタッチ⇒[ホームの設定]

2 項目を選ぶ

- **ホーム画面グリッド**: ホーム画面・アプリ一覧画面に表示するアプリアイコンの数を設定します。
- **通知ドット**: アプリの通知があるときに、アプリアイコンの右上に通知ドット(点)を表示するかなど、通知について設定します(※P.139「通知」)。
 - ・ 通知ドット(点)は、[アプリアイコン上の通知ドット]でON/OFFを設定できます。
- **通知ドットに件数表示**: 通知ドット(点)に件数を表示するか設定します。
- **ホーム画面にアプリのアイコンを追加**: 新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリアイコンを追加するか設定します。
- **Google アプリの表示**: ホーム画面の一番左のページを右にフリックしたときに、「Google」アプリを表示するか設定します。
- **おすすめのアプリを表示**: アプリ一覧画面などにおすすめアプリを表示するか設定します。
- **Google検索の表示**: お気に入りトレイの下にGoogle 検索バーを表示するか設定します。
- **ホーム画面の回転を許可**: AQUOS Homeを横表示でも利用するか設定します。

アプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。

アプリ	概要
【新】スマホ故障診断	「電池がすぐなくなる」「おサイフケータイが使えない」など、故障かな?と思ったときに、いつでもどこでもスマホやタブレットの故障有無を診断できるアプリです。診断結果にもとづいた改善提案やお手続き方法もご案内します。
+メッセージ	携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます(※P.87「+メッセージ」)。
アシスタント	Google アシスタントを起動します。
あんしんセキュリティ	無料で使えるウイルス対策機能に加え、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策や、ダークウェブモニタリングをご利用いただけるアプリです。
ウォレット	電子マネーやポイントカード、チケットなどの情報をスマートフォンに保存しておくことができます。

アプリ	概要
エモパー	あらかじめ登録したお客様の情報やお客様の日常の行動に基づき、ロック画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします(☞P.119「エモパー」)。
おサイフケータイ	複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます(☞P.110「おサイフケータイ対応サービス」の利用)。
おすすめアプリ	ドコモがおすすめするアプリが表示されます。
カメラ	カメラで撮影します(☞P.98「カメラについて」)。
からだメイト	歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます(☞P.122「からだメイト」)。
カレンダー	スケジュールを管理します。
緊急情報	緊急事態の共有を使ってリアルタイムの位置情報を共有したり、定期的に安全確認ができます。
災害用キット	「災害用伝言板」や緊急速報「エリアメール」「どこでも災害・避難情報」「復旧エリアマップ」をご利用いただくためのアプリです(☞P.93「緊急速報「エリアメール」」)。

アプリ	概要
スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています(☞P.116「スケジュール」)。
設定	端末の各種設定をします(☞P.128「設定メニュー」)。
通話音声・伝言メモ	通話音声・伝言メモの再生や設定ができます(☞P.79「通話音声・伝言メモ」)。
データコピー	機種変更時のデータ移行や、microSDカードへのバックアップ・復元ができるアプリです(☞P.125「ドコモデータコピー」)。
データ保管BOX	データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で管理できるサービスです。
デバイスを探す	Googleアカウントによる遠隔操作で、端末の位置情報を検出したり、画面ロックやデータの消去などができます。
電卓	電卓を利用します。
電話	電話をかけたり、受けたりすることができます。海外に電話をかけるときも使用します。通話履歴を表示して発信を確認したり、履歴から相手に発信することもできます(☞P.72「電話について」)。
時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチなどを利用します(☞P.114「時計」)。

アプリ	概要
ドコモ電話帳	ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます(※P.83「電話帳」)。
ドコモメール	ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます(※P.87「ドコモメール」)。
ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
取扱説明書	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
ニュース	Google ニュース™は、あなたの関心に合わせて、世界中の出来事を整理してお届けするスマートなニュースアプリです。
フォト	静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます(※P.106「フォト」)。
マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます(※P.113「マップ」)。
メモ	メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています(※P.118「メモ」)。

アプリ	概要
レンズ	カメラや写真を使って目の前にあるものを検索したり、作業を効率化したり、周囲のものについて調べたりすることができます。
Amazon ショッピング	Amazon でよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。
Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます(※P.94「Chrome」)。
d払い	ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、お買い物することができます。
dフォト	スマホやパソコンにある写真・動画を「無料で5GBまで」ドコモのクラウドにお預かりするサービスです。撮影した写真をフォトブックにする「プリントサービス機能」のご利用には、別途お申し込みとdフォト プリントアプリのインストールが必要です。
dポイント	dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。
dマーケット	音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトなどさまざまなサービスを提供しています。dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。 https://dmarket.docomo.ne.jp/common/about/index.html

アプリ	概要
dメニュー	「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスにアクセスすることができるポータルサイトです(※P.108「dメニュー」)。
dcard	dカードのご利用明細、たまったdポイント、おトクな情報のエントリーを確認できるアプリです。また、ドコモが提供する電子マネー「iD」の設定ができます。
Disney DX	Disney DX(ディズニーDX)は、お得な特典や、ディズニープラスをもっと楽しむための豊富なコンテンツがお楽しみいただけるアプリです。 ドコモからディズニープラスに入会いただくことですべての機能のご利用が可能です。
Facebook	Facebookは、人とのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。
Files	本体メモリやmicroSDカードの画像・動画・オーディオ・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができるアプリです。
Fitbit	健康とフィットネスの取り組みを総合的に把握することができます。
Gmail	Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます(※P.93「Gmail™」)。

アプリ	概要
Google	各種情報を検索できます。
Google One	Google One™はストレージを拡張するシンプルなプランです。Googleを有効に活用していただける特典も含まれています。
Google TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
Home	Google Home™は、さまざまな対応スマートホームデバイス(照明、カメラ、サーモスタットなど)の設定や管理、操作をすることができます。
iDアプリ	ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざしてショッピングができます(※P.112「iDアプリ」)。
Kindle	Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。
Meet	ビデオ通話やオンライン会議を行うことができます。
My AQUOS	AQUOSスマートフォン/タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリです。
my daiz	出発時間に合わせて天気や電車の遅延を知らせたり、さまざまな問いかけに対話で応えてくれるサービスです。 あなたに合ったタイミングで、あなたに合った情報をお届けします。

アプリ	概要
Play ストア	Google Playを利用します (P.108「Play ストア」)。
Smart home HUB※	Smart home HUBを利用すると、スマートフォンで家の中や外出先からシャープ製のスマート家電を簡単に操作することができます。
SmartNews for docomo	世の中で「いま」起きていることや、あなたの生活に役立つ、良質で身近な情報を毎日お届けするニュースアプリです (P.63「SmartNews for docomo」)。
YouTube	YouTube™は無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。
YT Music	音楽を再生します。

※ 操作できるスマート家電について詳しくは、次のサイトをご確認ください。

<https://k-tai.sharp.co.jp/support/smarthomehub/fitlist.html>

- アプリによっては、初回起動時にダウンロードが必要な場合があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- インストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlay ストア (P.108「Play ストア」) などから再度ダウンロードできる場合があります。次のサイトをご確認ください。
<https://k-tai.sharp.co.jp/support/>
- [なめらかハイスピード表示]をONにしている場合、アプリをなめらかに表示することができます (P.140「ディスプレイ」)。
- 本製品はLDAC™に対応しています。

電話について

電話や電話帳を利用したり、通話や通話音声・伝言メモ、着信時の動作などについて設定できます。

- 本端末の「電話」アプリは、お使いいただいている中で品質改善や機能の追加などさまざまなアップデートを行うことがあります。アップデートされた場合の変更点や機能について詳しくは、ホーム画面で[☎] (電話) ⇒ [⋮] (その他のオプション) ⇒ [ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。

電話をかける

1 ホーム画面で[☎] (電話)

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、[⋮] (その他のオプション) ⇒ [設定] ⇒ [通話アカウント] ⇒ [発信先]で発信時に使用するSIMを設定できます。

2 [☎] (キーパッド) ⇒ 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」/「184」を付けると、その発信に限り番号通知/番号非通知に設定して発信できます。



1 新しい連絡先を作成

- 入力した電話番号を電話帳に新規登録します。

2 連絡先に追加

- 入力した電話番号を電話帳に追加登録します。

3 メッセージを送信

- 入力した電話番号を宛先にしてSMS(+メッセージ)を作成します。

4 メニュー

- 2秒間の停止や待機を追加できます。

5 キーパッド

6 発信

- 電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力のときにタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

7 電話番号入力欄

8 削除

- 最後に入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。電話番号入力欄をタッチしてカーソルを表示した場合は、カーソル左側の数字を1桁削除します。

3 [音声通話]

4 通話が終了したら[

- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが正常に動作しないことがあります。画面が点灯したままとなり、誤って画面に触れることによって、通話が切れる場合があります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話を高品質で利用することができます。
- VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - VoLTE利用可能エリア内であること
 - 優先ネットワークタイプが[5G/4G/3G/GSM]または[4G/3G/GSM]であること(※P.188「優先ネットワークタイプ」)

VoLTE(HD+)について

- VoLTE(HD+)は、通話の音声をVoLTEよりさらに高音質で利用することができます。
- VoLTE(HD+)のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、本端末と通話相手の端末がVoLTE(HD+)対応機種である必要があります。

ブッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(,)／待機(;)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号と追加番号を同時に発信できます。

■2秒間の停止を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に2秒間一時停止してから、追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面で[

2 電話番号を入力⇒[[2秒間の停止を追加]

3 送信する番号を入力⇒[音声通話]

■待機を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[はい]をタッチすると追加番号をダイヤルします。

1 ホーム画面で[

2 電話番号を入力⇒[[待機を追加]

3 送信する番号を入力⇒[音声通話]

4 通話中に[はい]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)のみ利用できます。
- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。
110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けていない、かつeSIMを設定していない場合や、PINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。

- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 着信拒否の設定を行っている場合に緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信すると、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否の設定は自動的に解除されます。緊急通報番号への発信後、[ブロック中の電話番号]から解除された着信拒否の設定を元に戻すことができます(※P.81「着信拒否の設定」)。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

国際電話(WORLD CALL)

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。

WORLD CALLの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

- 海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないことや正しく表示されない場合があります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。

【通話方法】

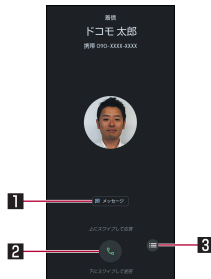
- 一般電話へかける場合：010⇒国番号⇒地域番号(市外局番)⇒相手先電話番号⇒[音声通話]
- 携帯電話へかける場合：010⇒国番号⇒相手先携帯電話番号⇒[音声通話]
- 相手先の携帯電話番号、地域番号(市外局番)が「0」から始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域を除く)。
- 「010」の代わりに「+」や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

電話を受ける

- [迷惑電話の対策]を利用すると、電話帳に登録されていない相手から着信したときに、注意喚起のメッセージを表示したり自動音声で応答したりすることができます(※P.149「迷惑電話の対策」)。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴る

2 電話を受ける



1 クイック返信

- タッチすると、着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信します。

2 応答

- 上にスワイプすると、電話を受けます。
- 下にスワイプすると、着信を拒否します。

③ メニュー

- 利用できる機能(メニュー)についてはP.76「音声通話に伝言メモで応答」、P.149「迷惑電話の対策」

3 通話が終了したら[●](通話を終了)

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、着信が経過しているSIMが表示されます。

■ 画面を表示中に電話を受ける

ロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってくると、着信通知が表示されます。通知を利用して電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると、画面上部に着信通知が表示される

2 [応答]

- 着信通知をタッチすると、着信画面を表示できます。

■ 音声通話に伝言メモで応答

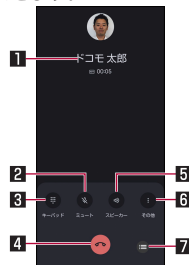
- 録音した伝言メモの再生方法についてはP.79「通話音声・伝言メモ」

1 音声通話がかかってくると、着信音が鳴る

2 音声通話着信画面で[●](メニュー)⇒[伝言メモ]

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



1 相手の名前や電話番号

2 ミュート

- 通話中の電話をミュート／ミュート解除にします。

3 キーパッド

- プッシュ信号の入力ができます。

4 終了

- 通話を終了します。

5 スピーカー

- ハンズフリーで通話ができます。
- Bluetooth機器を接続している場合は音声の出力先を設定します。

6 その他

- タッチすると、次のメニューが表示されます。
 - ・ 保留:通話中の電話を保留にします。もう一度タッチすると、保留を解除します。
 - ・ 通話を追加:通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。通話を追加後に表示される[切り替え]で、通話相手を切り替えることができます。

7 メニュー

- 利用できる機能(メニュー)についてはP.77「通話音声メモ」、P.149「迷惑電話の対策」

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、通話中の画面に利用しているSIMが表示されます。
- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
 - ・ 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声が届かないなど良好な通話ができないことがあります。
 - ・ 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ・ ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。
- [保留]、[通話を追加]のご利用には、キャッチホン契約が必要です。
- [通話を追加]をタッチして、通話を追加後に表示される[統合]はご利用になれません。

■ 通話音量調節

1 通話中に[+] / [-]

■ 通話音声メモ

音声通話中に通話音声メモを録音します。

- 録音した通話音声メモの再生方法についてはP.79「通話音声・伝言メモ」

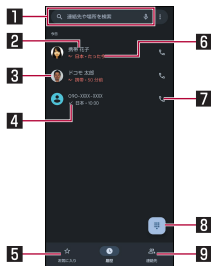
1 通話中に[●] (メニュー) ⇒ [通話音声メモ]

2 [●] (停止)

- [通話録音] (P.149「迷惑電話の対策」) をONに設定している場合、[通話音声メモ]はご利用になれません。

通話履歴

1 ホーム画面で[電話]⇒[履歴]



1 検索欄

- 連絡先を検索できます。
 - ・ [🔍] (音声検索を開始) をタッチすると、音声検索もできます。

2 相手の名前／電話番号

- タッチすると、電話帳への登録やメッセージの送信、通話履歴の詳細の確認などを行うことができます。
- ロングタッチすると、電話番号のコピーや電話番号を編集して発信などができます (P.79「通話履歴の利用」)。

3 電話帳に登録している画像

- タッチすると電話帳に登録している内容が表示されます。

4 発着信状態アイコン

- 発信: [➡]
- 着信／着信の拒否: [↩]
- 不在着信: [📞]

5 お気に入り

- タッチするとお気に入りの連絡先を表示します。

6 発着信日時

7 発信アイコン

- タッチすると発信します。

8 ダイヤルアイコン

- ダイヤル画面を表示します。

9 連絡先

- タッチすると連絡先一覧画面を表示します。

● nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、各履歴に使用したSIMが表示されます。

■ 通話履歴の詳細表示

すべての通話履歴一覧と不在着信の通話履歴一覧を切り替えて確認できます。また、通話履歴をすべて削除できます。

1 ホーム画面で[電話]⇒[📞] (その他のオプション)⇒[通話履歴]

2 [すべて]／[不在着信]

- [📞] (その他のオプション)⇒[通話履歴を削除]⇒[OK]と操作すると、通話履歴をすべて削除できます。

通話履歴の利用

- 1 ホーム画面で[☎](電話)⇒[履歴]
- 2 履歴(相手の名前／電話番号)をロングタッチ
- 3 項目を選ぶ
 - **電話番号をコピー**: 電話番号をコピーします。
 - **発信前に電話番号を編集**: ダイアル画面に電話番号が入力されます。番号を編集して発信などが行えます。
 - **ブロックして迷惑電話として報告**: 設定した電話番号からの着信とSMSを拒否します。また、迷惑電話として報告することもできます。
 - ・ 設定した電話番号は[ブロック中の電話番号]で確認できます。詳しくは、「着信拒否の設定」(P.81)をご参照ください。
 - **削除**: 履歴を削除します。

通話音声・伝言メモ

通話音声・伝言メモの再生や設定ができます。伝言メモを設定しておく、電話に出られないときに端末が応答して伝言を預かることができます。

- 通話音声・伝言メモの利用には「簡易留守録(通話音声・伝言メモ)」アプリが必要です。[通話音声・伝言メモ]が実行できない場合やアプリ一覧画面に[通話音声・伝言メモ]が表示されていない場合は、Play ストア(P.108「Play ストア」)からアプリをインストールしてください。
- 録音可能件数や1件あたりの最大録音可能時間については P.209「主な仕様」

- 1 ホーム画面で[☎](電話)⇒[⋮](その他のオプション)⇒[設定]⇒[通話アカウント]⇒[通話音声・伝言メモ]

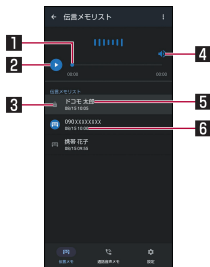
- ホーム画面で[88](アプリ一覧)⇒[通話音声・伝言メモ]と操作しても、通話音声・伝言メモを利用できます。

- 2 [伝言メモ]／[通話音声メモ]

- 伝言メモ／通話音声メモリスト画面が表示されます。
 - ・ 伝言メモ／通話音声メモをロングタッチすると、件名の編集や保護／解除、音声ファイルのエクスポート、削除ができます。

- 3 伝言メモ／通話音声メモを選ぶ

- 伝言メモ／通話音声メモが再生されます。



伝言メモリスト画面

1 シークバー

- ドラッグすると再生位置を変更できます。

2 再生／一時停止

3 伝言メモの状態を示すアイコン

- 未再生: [P]
- 再生済み: [P]
- 保護: [P] / [P]

4 スピーカーON/OFF

5 相手の名前／電話番号／非通知設定の着信

6 伝言メモが録音された日時

通話音声・伝言メモの設定

1 ホーム画面で[☎](電話)⇒[⋮](その他のオプション)⇒[設定]⇒[通話アカウント]⇒[通話音声・伝言メモ]

- ホーム画面で[⋮](アプリ一覧)⇒[通話音声・伝言メモ]と操作しても、通話音声・伝言メモを利用できます。

2 [設定]

3 項目を選ぶ

- 伝言メモ設定**: 伝言メモの動作について設定します。
- 空き容量確認**: 通話音声・伝言メモの空き容量や残り録音可能件数を確認できます。
- 応答メッセージ確認**: 伝言メモの応答メッセージを確認します。
- 応答時間設定**: 伝言メモの応答時間について設定します。
- プライバシーポリシー**: 利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

- 録音した伝言メモが録音可能件数を超えた場合は、再生済みの古い伝言メモから順に削除されます。伝言メモがすべて未再生のときは電話がかかってくるまで伝言メモで応答しません。
- 録音した通話音声メモが録音可能件数を超えた場合は、古い通話音声メモから順に削除されます。
- [電話に出る前確認] (P.149「迷惑電話の対策」)を同時に設定している場合、電話帳に登録されていない相手から着信したときは、[電話に出る前確認]の設定を優先します。

通話設定／その他

留守番電話や着信拒否など、通話について設定します。

1 ホーム画面で[☎](電話)

2 [⋮](その他のオプション)⇒[設定]

3 項目を選ぶ

- **発信情報 / 迷惑電話**: 連絡先を登録していない相手の名前や会社名を表示したり、迷惑電話をブロックしたりできます。
- **ダイヤル アシスト**: ダイヤル アシストについては P.193「ダイヤル アシスト」
- **ブロック中の電話番号**: 設定した電話番号からの着信とSMSを拒否します。ブロック中の電話番号について詳しくは P.81「着信拒否の設定」
- **通話アカウント**: 通話アカウントについては P.82「通話アカウント」
- **表示オプション**: 「電話」アプリのモードを設定します。
- **クイック返信**: クイック返信に使用する文章を編集します。
- **音とバイブレーション**: 着信時の音やバイブレーションなどについて設定します (P.137「音とバイブレーション」)。
- **留守番電話**: 留守番電話について設定します。
- **発信者番号の通知**: 着信時の発信者の名前と電話番号の読み上げについて設定します。
- **ひせるだけでサイレント モード**: 本端末の画面を下にして平らな場所に置くことで、着信通知をオフできるようにするか設定します。

着信拒否の設定

1 ホーム画面で[☎](電話)

2 [⋮](その他のオプション)⇒[設定]⇒[ブロック中の電話番号]

3 項目を選ぶ

- **登録外着信拒否**: 電話帳に登録されていない相手からの着信を受けないように設定します。
- **非通知着信拒否**: 電話番号が通知されない相手からの着信を受けないように設定します。
- **公衆電話着信拒否**: 公衆電話からの着信を受けないように設定します。
- **通知不可能着信拒否**: 電話番号の通知が不可能な相手からの着信を受けないように設定します。
- **番号を追加**: 設定した電話番号からの着信とSMSを拒否します。タッチすると、着信を拒否する番号を登録できます。
 - 登録済みの電話番号の[✕](番号指定拒否を解除)⇒[解除]と操作すると、登録済みの電話番号を解除できます。

通話アカウント

1 ホーム画面で[☎](電話)

2 [⋮](その他のオプション)⇒[設定]⇒[通話アカウント]

- 画面上部に利用中のSIMが表示されます。

3 項目を選ぶ

- 発信先**: nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、発信時に使用するSIMを設定します。
- 通話音声・伝言メモ**: 通話音声・伝言メモについてはP.79「通話音声・伝言メモ」
- 迷惑電話の対策**: 迷惑電話の対策についてはP.149「迷惑電話の対策」

[通話音声・伝言メモ]について

- [この操作を実行できるアプリケーションはありません]と表示された場合は、Play ストア(P.108「Play ストア」)から「簡易留守録(通話音声・伝言メモ)」アプリをインストールしてください。

ネットワークサービス

ネットワークサービスを利用するときの設定を行います。

1 ホーム画面で[☎](電話)

2 [⋮](その他のオプション)⇒[設定]⇒[通話アカウント]⇒SIMを選ぶ

3 [ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

4 [ネットワークサービス]

5 項目を選ぶ

- 留守番電話サービス**: 電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。
- 転送でんわサービス**: 電話を転送するサービスです。
- キャッチホン**: 通話中に別の電話がかかってきたときに、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることが出来るサービスです。
- 発信者番号通知**: 電話をかけるときに、相手の電話機に自分の電話番号を表示させることができます。
- 迷惑電話ストップサービス**: いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように登録することができます。
- 番号通知お願いサービス**: 電話番号が通知されない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
- 着信通知**: 着信の情報をお知らせします。

- **英語ガイドンス**:各種ネットワークサービス設定時のガイドンスや、圏外などの音声ガイドンスを英語に設定することができます。
- **遠隔操作設定**:留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
- **公共モード(電源OFF)設定**:電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイドンスが流れ、自動的に電話を終了します。

オフィスリンク設定

オフィスリンクの保留転送、プレフィックスに関する設定を行います。

1 ホーム画面で[☎](電話)

2 [⋮](その他のオプション)⇒[設定]⇒[通話アカウント]⇒SIMを選ぶ

3 [ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

4 [オフィスリンク設定]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

[オフィスリンク設定]について

- オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。

電話帳

ドコモが提供する電話帳アプリです。docomoアカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。

電話帳の登録

1 ホーム画面で[☰](アプリ一覧)⇒[ドコモ電話帳]

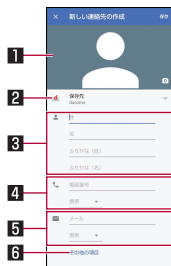
- クラウドの利用についての確認画面が表示された場合は内容を確認し、[利用する]／[利用しない]を選択してください。

2 [⊕](新しい連絡先を作成)

- 新しい連絡先のデフォルトアカウント選択画面が表示された場合は、デフォルトで設定されるアカウントを選択してください。
- デフォルトで設定されるアカウントは[新しい連絡先のデフォルト アカウント]で変更することができます(※P.86「電話帳を設定」)。

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。



1 画像

- 発着信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

2 アカウント

- 連絡先を登録するアカウントです。
- タッチして登録するアカウントを選択してください。

3 名前

4 電話番号

5 メールアドレス

6 その他の項目

- 住所や誕生日などの情報を登録します。

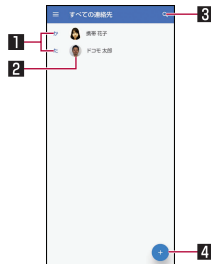
4 [保存]

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 ホーム画面で[〇〇] (アプリー覧)⇒[ドコモ電話帳]

2 名前を選ぶ



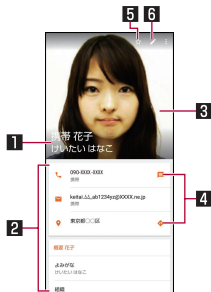
1 連絡先

2 画像

3 検索アイコン

4 新規作成アイコン

3 登録情報を確認／利用する



1 名前

2 登録内容

- 登録内容を確認／利用できます。

3 画像

4 アクションアイコン

- [メッセージ] (テキストメッセージを送信): 選択した電話番号を宛先としてSMS(+メッセージ)を作成します。
- [場所] (場所までの経路): 現在地から選択した住所までの経路情報を表示します。

5 お気に入り

- お気に入りに設定した連絡先は、電話帳の上部に表示されます。

6 編集

■ 表示するラベルやアカウントを選択

1 ホーム画面で[アプリ一覧]⇒[ドコモ電話帳]

2 [メニュー] (ナビゲーションドロワーを開く)

3 ラベルやアカウントを選ぶ

- ラベルの作成: [ラベルを作成]⇒アカウントを選ぶ⇒名前を入力⇒[OK]

■ 連絡先の設定

1 ホーム画面で[アプリ一覧]⇒[ドコモ電話帳]

2 連絡先を選ぶ⇒[その他] (その他のオプション)

3 項目を選ぶ

- **統合**: 複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめます。
 - ・ 統合済みの連絡先では、[統合された連絡先を表示]と表示されます。タッチすると、連絡先の分割や追加ができます。
- **削除**: 連絡先を削除します。
- **共有**: 連絡先のデータを別の端末に送信したり、クラウド上に保存したりできます。
- **ショートカットを作成**: ホーム画面に連絡先のショートカットを作成します。
- **着信音を設定**: 着信音を設定します。

電話帳を設定

- 1 ホーム画面で[☐☐] (アプリー覽)⇒[ドコモ電話帳]
- 2 [≡] (ナビゲーションドロワーを開く)⇒[設定]
- 3 項目を選ぶ

- **ユーザー情報**: ユーザー情報を入力します。
- **クラウドメニュー**: クラウドとの同期について、操作や設定を行います。
- **dアカウント設定**: ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。
- **海外利用設定**: クラウドとの同期や設定など、通信を伴う機能を海外でも利用するか設定します。
- **利用状況レポート設定**: ドコモ電話帳の機能向上のために、アプリ利用状況を収集して情報送信するか設定します。
 - ・クラウドの利用開始と連動して[ON]になります。情報送信しない場合は、[OFF]に設定してください。
- **アカウント**: アカウントについてはP.42「Googleなどのアカウントの設定を行う」
- **新しい連絡先のデフォルト アカウント**: 連絡先を登録する際に、デフォルトで設定されるアカウントを選択します。
- **表示する連絡先**: 電話帳に表示する連絡先について設定します。
- **フリガナ(名前)**: 連絡先を登録する際の、フリガナ欄の表示について設定します。
- **インポート**: 連絡先データを読み込みます。

- **エクスポート**: 連絡先データを書き出します。書き出したデータを共有することができます。
- **番号指定拒否**: 着信拒否について設定します。着信拒否の詳細についてはP.81「着信拒否の設定」

メール／ウェブブラウザ

ドコモメールや＋メッセージ、Gmailなどを利用して、メッセージを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

ドコモメール

ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。

送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、端末紛失時のデータ復旧が行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

https://www.docomo.ne.jp/service/docomo_mail/

1 ホーム画面で[✉](ドコモメール)

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

＋メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。

- ＋メッセージを利用していない相手とは、＋メッセージアプリでショートメッセージサービス(SMS)での送受信をすることができます。
また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。
- ＋メッセージの詳細については、ホーム画面で[＋メッセージ]⇒[マイページ]⇒[ヘルプ]⇒[使い方ガイド]を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/

1 ホーム画面で[＋メッセージ]

- 画面下部のメニューより[連絡先]をタッチすると連絡先一覧画面が、[メッセージ]をタッチするとメッセージ一覧画面が表示されます。



連絡先一覧画面



メッセージ一覧画面

1 切替タブ

- タッチすることで、すべての連絡先を表示するか、+メッセージの利用者([+]) (+メッセージステータス)のアイコンが表示されている連絡先のみを表示するか、切り替えることができます。

2 マイプロフィール

- お客様の連絡先が表示されています。タッチすることでマイプロフィールを表示・編集できます。

3 公式アカウントを探す

- タッチすると公式アカウントストアが表示されます。

4 お気に入りの連絡先

- お気に入り設定した連絡先が連絡先一覧の上段、[公式アカウントを探す]の下に表示されます。

5 (+メッセージステータス)

- +メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプ等をやったりしることができます。

6 連絡先

- タッチすることで、連絡先の詳細を確認することができます。

7 (+) (連絡先を追加)

- タッチすることで連絡先を追加できます。

8 プロフィール画像

- 相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。

9 メッセージ

- タッチするとメッセージ画面を表示することができます。

10 公式アカウント

- 企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角(□)で表示されます。

11 (✓) (認証済み)

- ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。

12 (その他のオプション)

- サブメニューを表示します。
 - ・ [すべて既読]: 未読メッセージをすべて既読にします。
 - ・ [メッセージの並べ替え]: メッセージの並べ替えを行います。

13 (+) (新しいメッセージを開始)

- 新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

メッセージを送信する

1 ホーム画面で[+メッセージ]

2 画面下部のメニューより[メッセージ]をタッチ ⇒[+] (新しいメッセージを開始)⇒[新しい メッセージ]/[新しいグループメッセージ]

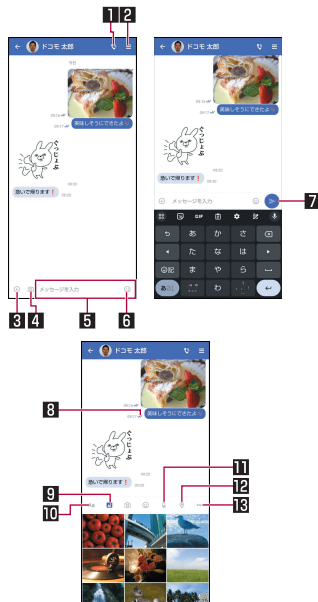
- グループメッセージとは、+メッセージサービス利用者(連絡先に[+] (+メッセージステータス)マークがついている人)複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

3 宛先を選ぶ

- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、[名前や電話番号を入力]をタッチし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、[OK]をタッチしてください。

4 メッセージ入力欄をタッチして文字を入力⇒ [➡](送信)

- 宛先が+メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。



1 (通話を開始)

- 電話アプリが起動し、発信できます。

2 (メッセージ詳細)

- サブメニューを表示します。
 - ・ 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。

3 (ファイルを添付)

- 写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。
 - ・ シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。

4 (写真を撮る)

- タッチするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。

5 メッセージ入力欄

- メッセージを入力することができます。

6 (スタンプ)

- スタンプ選択画面に切り替えます。

7 (送信)

- 入力したメッセージを送信します。

8 メッセージ配信状態

- メッセージの配信状態を表示します。
 - ・ [] (閲覧済み): 相手がメッセージを閲覧済み
送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。
 - ・ [] (受信済み): 相手が端末にメッセージを受信済み
 - ・ [(アイコン表示なし)]: サーバにメッセージを送信済み
 - ・ [] (送信失敗): メッセージ送信に失敗

9 (ギャラリー)

- 画像選択画面に切り替えます。

10 (テキスト)

- テキスト入力画面に切り替えます。

11 (ボイスメッセージ)

- 音声録音画面に切り替えます。

12 (位置情報)

- 地図画面に切り替えます。

13 (マイページ)

- 連絡先/スケッチ/ファイル共有が選択できます。

ショートメッセージサービス(SMS)についてのお知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。
ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に「#」または「★」がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に 184 / 186 を付与した場合はSMSを送信できません。

+メッセージについてのお知らせ

- 海外ローミングにより+メッセージアプリをご利用いただくには、+メッセージアプリにて海外ローミング時の+メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります(初期設定は「オフ」に設定されています)。また、端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- 機種変更前、またはMNPIによる転入前端末で+メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには+メッセージアプリを起動し、+メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。

メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先/送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ]をタッチ⇒**読みたいメッセージのスレッドを選ぶ**
 - メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」(P.89)に記載している画面の説明をご参照ください。

メッセージを転送する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ]をタッチ⇒**スレッドを選ぶ**
- 3 転送するメッセージをロングタッチ⇒[転送]
- 4 宛先を選び、メッセージを入力⇒[➡](送信)

メッセージを削除する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ]をタッチ⇒**スレッドを選ぶ**
- 3 削除するメッセージをロングタッチ⇒[削除]⇒[削除]
 - 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。
なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
 - 画像選択時等、[削除]が表示されない場合があります。その場合は、[ⓘ](その他のオプション)⇒[削除]⇒[削除]の順に操作ください。

スレッドを削除する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[メッセージ]をタッチ
⇒削除するスレッドをロングタッチ
- 3 [削除]⇒[削除]
 - グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

+メッセージの設定を変更する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[マイページ]をタッチ
⇒[設定]
- 3 項目を選ぶ
 - **メッセージ**:メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。
 - **公式アカウント**:公式アカウントの通知音設定ができます。
 - **写真や動画**:送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。
 - **テーマカラー・背景**:テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。
 - **通知**:通知に関する設定ができます。
 - **プライバシー**:パスコードやブロックなどが設定できます。
 - **その他**: [ユーザー情報引き継ぎ]や[+メッセージサービス]の初期化などができます。

公式アカウント機能を利用する

- 1 ホーム画面で[+メッセージ]
- 2 画面下部のメニューより[公式アカウント]をタッチ
- 3 「公式アカウント」画面にて利用したいアカウントをタッチ
- 4 [利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します]のチェックボックスをタッチ
- 5 [利用する]

Gmail™

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
- Gmailについて詳しくは、Gmail画面で[≡] (ナビゲーションドロワーを開く)⇒[ヘルプとフィードバック]と操作して、ヘルプを参照してください。

1 ホーム画面で[Google]⇒[Gmail]

2 [作成]

3 宛先を入力

- Cc/Bcc入力欄の追加:宛先入力欄の[♡] (Cc/Bccを追加)をタッチ

4 件名、本文を入力

- ファイルの添付:[📎] (ファイルを添付)⇒ファイルの添付方法を選ぶ⇒添付するファイルを選ぶ

5 [▶] (送信)

メールの表示

1 ホーム画面で[Google]⇒[Gmail]

2 メールを確認する

緊急速報「エリアメール」

エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
 - 電源オフ時
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - ソフトウェアアップデート中
 - PINコード入力画面表示中
 - 音声通話中 (VoLTE音声通話中を除く)

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

1 エリアメールを自動的に受信

2 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

■ 受信したエリアメールをあとで確認する

1 ホーム画面で[](アプリ一覧)⇒[ツール]⇒[災害用キット]

2 [緊急速報「エリアメール」]⇒[エリアメール]

3 メールを選ぶ

■ エリアメールを削除する

● 削除したエリアメールは元には戻せません。

1 ホーム画面で[](アプリ一覧)⇒[ツール]⇒[災害用キット]

2 [緊急速報「エリアメール」]⇒[エリアメール]

3 メールをロングタッチ

4 [削除]⇒[削除]

Chrome

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できません。

サイトの表示

1 ホーム画面で[](Chrome)

● サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ



2 キーワードを入力⇒キーワードを選ぶ

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して[→](実行)でも検索できます。
- ページの再読み込み:Chrome画面で[](Google Chromeの設定)⇒[C](更新)

■ 新しいタブを開く

1 Chrome画面で[](Google Chromeの設定)⇒[新しいタブ]

■ タブの切替

1 Chrome画面で[②](タブを切り替える、または閉じる)

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

2 タブを選ぶ

■ タブを閉じる

1 Chrome画面で[②](タブを切り替える、または閉じる)⇒[X](タブを閉じます)

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。
- タブを左右にフリックしてもタブを閉じることができます。

■ タブをグループ化

グループ化したタブを表示中は、Chrome画面下部にグループ内のタブが表示されます。タブの切り替えなどを簡単な操作で行うことができます。

- 複数のタブを開いている場合に利用できます。

1 Chrome画面で[②](タブを切り替える、または閉じる)

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

2 [⋮](Google Chromeの設定)⇒[タブを選択]

3 タブを選ぶ⇒[⋮](Google Chromeの設定)⇒[タブをグループ化する]

■ シークレット タブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で[⋮](Google Chromeの設定)⇒[新しいシークレット タブ]

- シークレット タブで表示中はURL入力欄に[🔒](シークレットモード)が表示されます。

2 URL入力欄をタッチ⇒キーワードを入力⇒[→](実行)

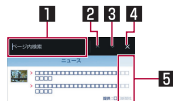
- シークレット タブを閉じる: Chrome画面で[①](タブを切り替える、または閉じる)⇒[X](タブを閉じます)

- シークレット タブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません(※P.97「履歴からのサイト表示」)。また、シークレットタブをすべて閉じると、Cookieなどの記録も削除されます。シークレットタブでもファイルのダウンロードやブックマークの登録は行えます。

■ ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[⋮] (Google Chromeの設定)⇒ [ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー

- タッチした検索結果に移動できます。

■ 文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更:[●] (始点カーソル) / [●] (終点カーソル) をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク／画像をロングタッチ⇒ 利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[⋮] (Google Chromeの設定)⇒ [設定]

2 項目を選ぶ

- **同期を ON にする**: GoogleアカウントでChromeにログインします。同じアカウントでChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- **Google のサービス**: Googleサービスを設定します。
- **検索エンジン**: URL入力欄から検索するときに利用する検索エンジンを設定します。
- **パスワードマネージャー**: パスワードの保存などについて設定します。
- **お支払い方法**: フォームに自動入力するお支払い方法について設定します。
- **住所やその他の情報**: フォームに自動入力する住所やその他の情報について設定します。
- **プライバシーとセキュリティ**: 利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- **安全チェック**: Chromeの保護機能の設定状況などを確認できます。
- **通知**: Chromeからの通知について設定します。

- **テーマ**: Chromeのテーマを設定します。
- **ホームページ**: ホームページについて設定します。
- **ツールバーショートカット**: URL入力欄の横に表示するショートカットについて設定します。
- **ユーザー補助機能**: 文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- **サイトの設定**: サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- **言語**: サイトを表示する言語を設定します。表示可能な場合、設定した言語で表示できます。
- **ダウンロード**: ファイルの保存先などについて設定します。
- **Chrome について**: Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

- 1 Chrome画面で[⋮] (Google Chromeの設定) ⇒ [☆] (ブックマーク)

■ ブックマークからのサイト表示

- 1 Chrome画面で[⋮] (Google Chromeの設定) ⇒ [ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

- 1 Chrome画面で[⋮] (Google Chromeの設定) ⇒ [履歴]

2 履歴を選ぶ

カメラについて

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

- カメラの有効画素数についてはP.209「主な仕様」

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、と、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうことがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、自動終了します。

- 電池残量が少ないときは、動画を撮影できません。また、動画の撮影中に電池残量が少なくなったときは、自動的に撮影を終了します。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できる場合があります。
- カメラの設定や撮影環境によっては、本端末の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- microSDカードへ保存中に他のアプリからmicroSDカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- 起動中に約3分間何も操作しないと自動的に終了します。
 - ・ [省エネファインダー]がONの場合、撮影画面で一定時間何も操作しないと自動的に待機画面になります。省エネファインダーについてはP.105「静止画撮影／動画撮影の共通設定」
- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影サイズ

設定できる撮影サイズは次のとおりです。

- 撮影モードによっては、設定できる撮影サイズが制限されます。

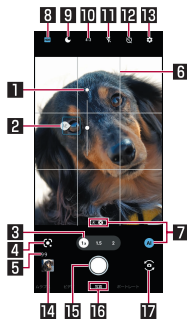
静止画撮影

標準カメラ	16:9	9.4M
	4:3	12.5M、50.1M
	1:1	9.4M
インカメラ	16:9	6.0M
	4:3	8.0M
	1:1	6.0M

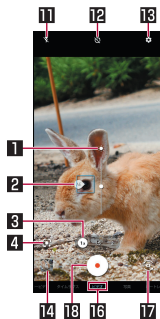
動画撮影

標準カメラ	16:9	フルHD
	4:3	1.6M
	1:1	1.2M
インカメラ	16:9	フルHD
	4:3	1.6M
	1:1	1.2M

撮影画面の見かた



写真(静止画)撮影画面



ビデオ(動画)撮影画面

1 明るさ調整バー

- 画面をタッチすると一定時間表示されます。調整バーを上下にスライドして、明るさを調整することができます。

2 フォーカスマーク

- 被写体をタッチすると一定時間表示されます。フォーカスが合っているときは、青色で表示されます。
 - ・ [AE]が表示されている場合は、[AE]をドラッグした箇所に合わせて露出を自動で調整できます。
- 被写体をロングタッチすると、フォーカスや露出をロックできます。フォーカスマーク以外をタッチすると、ロックは解除されます。
- 撮影モードによっては、認識した被写体の顔などに合わせて自動で表示されます。

3 ズーム倍率

- 数字をタッチすることで、ズーム倍率を切り替えることができます。
- 白丸をタッチすると、ズーム倍率の調整バーが表示されます。調整バーをタッチしたり左右にスライドしたりすることで、倍率を調整できます。
 - ・ 撮影画面をピンチアウト/ピンチインしても、ズーム倍率を調整できます。

4 Google レンズ

- タッチすると、Google レンズを起動します。詳しくは、初回起動時に表示される内容をご確認ください。

5 撮影可能枚数

- 撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。

6 ガイド線

- [ガイド線]を設定している場合に表示されます(設定P.104「静止画撮影の設定」)。

7 被写体認識機能

- 撮影モードを[写真]に設定している場合に表示されます。アイコンをタッチすると、機能の有効([AI])／無効([AI])を切り替えることができます。
- 機能が有効([AI])の場合、シーンや被写体の認識結果が表示され、最適な画質やシャッタースピードで撮影します。
 - ・[X]をタッチすると、認識結果を解除することができます。
 - ・黒板／白板を認識した状態で撮影した場合は、確認画面が表示されます。[補正する]をタッチすると、正面から見たような写真へ補正します。

8 HDR

- HDR機能が動作中に青色で表示されます。アイコンをタッチすると、[オートHDR]のON/OFFを切り替えることができます。

9 ナイト

- ナイト機能が動作中に青色で表示されます。アイコンをタッチすると、[オートナイト]のON/OFFを切り替えることができます。

10 写真サイズ

- タッチすると静止画の撮影サイズを切り替えることができます。

11 フラッシュ

- タッチするとモバイルライトが撮影時に点灯する設定を変更できます。静止画撮影時には撮影の瞬間に点灯するように設定することもできます。
インカメラで撮影時はフラッシュとして画面全体が発光します。

12 セルフタイマー

- [セルフタイマー表示]をONに設定していると表示されます(※P.105「静止画撮影／動画撮影の共通設定」)。タッチするたびにセルフタイマーが5秒／10秒／OFFに設定されます。インカメラで撮影時はタッチするたびにセルフタイマーが3秒／5秒／OFFに設定されます。

13 設定

- カメラの設定については※P.104「カメラの設定」

14 直前に撮影したデータ

- 直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タッチするとデータの確認などができます。直前に撮影したデータがない場合は、「フォト」アプリのショートカットを表示します。

15 写真(静止画)撮影

- 静止画を撮影します。

16 撮影モード

- 左右にスライドすると撮影モードを切り替えることができます(モードチェンジャー)。
 - ・撮影画面を左右にフリックしても、撮影モードを切り替えることができます。

17 インカメラ／アウトカメラ切替

- 撮影画面を上下にフリックしても、インカメラとアウトカメラを切り替えることができます。

18 ビデオ(動画)撮影開始

- 動画を撮影します。

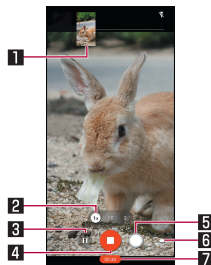
フォーカスマークについて

- カメラのフォーカスは、主に被写体の色をもとに対象を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

ズーム倍率について

- 撮影モードによっては、使用できるズーム倍率が制限されます。

■ ビデオ(動画)撮影中画面



1 撮影された静止画

- 動画撮影中に静止画を撮影すると表示されます。

2 ズーム倍率

- 数字をタッチすることで、ズーム倍率を切り替えることができます。
- 白丸をタッチすると、ズーム倍率の調整バーが表示されます。調整バーをタッチしたり左右にスライドしたりすることで、倍率を調整できます。
 - ・ 撮影中画面をピンチアウト／ピンチインしても、ズーム倍率を調整できます。

3 ビデオ(動画)撮影一時停止

4 ビデオ(動画)撮影停止

5 写真(静止画)撮影

6 電池残量

7 撮影時間

■ 撮影モードの切替

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを切り替える

- **スロービデオ**: スローモーションの動画を撮影します。
 - ・ 撮影した動画は、「フォト」アプリで確認することができます(※P.107「スロービデオ動画の再生」)。
- **タイムラプス**: 時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影します。
 - ・ [●]をタッチすると、録画の開始/終了時刻や撮影間隔を設定できます。
- **ビデオ**: 通常の動画を撮影します。撮影設定は自動で調整されます。
- **写真**: 通常の静止画を撮影します。撮影設定は自動で調整されます。
- **ポートレート**: 近くの被写体にピントを合わせ、背景をぼかした静止画を撮影します。また、[⬆]をタッチして表示される設定で、被写体の写りを補正することもできます。

静止画の撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 本端末のアウトカメラを被写体に向ける

- 撮影画面の操作については※P.100「撮影画面の見かた」
- [QRコード・バーコード認識]がONの場合は、標準カメラでQRコード・バーコードを検出できます。

3 [○]/[+]/[-]

- [○]を下にスライドすると、静止画を連写撮影することができます。
 - ・ 連写撮影した静止画は、[保存先設定]を[SDカード]に設定している場合でも本体メモリに保存されます。
- [○]をロングタッチ、または[+] / [-]を1秒以上押すと動画の撮影を開始し、指を離すと終了します。
 - ・ 動画の撮影中に[●]から[●]までスワイプすると、指を離しても動画の撮影が継続されます。撮影を終了するときは、[●]をタッチしてください。

動画の撮影

1 ホーム画面で[カメラ]

2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを[ビデオ]に切り替える

3 本端末のアウトカメラを被写体に向ける

- 撮影画面の操作についてはP.100「撮影画面の見かた」

4 [●] / [⏏(+)] / [⏏(-)]

- [⏏] をタッチすると、動画の撮影を一時停止できます。撮影を再開する場合は [●] をタッチします。
- [○] をタッチすると、静止画の撮影ができます。

5 [●] / [⏏(+)] / [⏏(-)]

カメラの設定

- 利用中の撮影モードなどによっては、機能が非表示またはグレーアウトされて利用できない場合があります。

■ 静止画撮影の設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [📷]

3 [写真]

4 項目を選ぶ

- **写真サイズ**: 静止画の撮影サイズを切り替えます。
- **セルフイー反転**: インカメラで撮影した静止画を左右反転せずに保存するか設定します。
- **フローティングシャッター**: 撮影画面に位置を変更できるフローティングシャッターボタンを追加するか設定します。
 - ・ フローティングシャッターボタンを [●] までドラッグすると非表示にできます。再表示する場合は、[○] を配置したい位置までドラッグします。
 - ・ フローティングシャッターボタンをロングタッチしても、連写撮影や動画撮影はできません。
- **オートHDR**: 逆光などコントラストが強いシーンで、白とびや黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能を自動で有効にするか設定します。
- **オートナイト**: 暗いシーンを自動的に認識して、静止画を明るく撮影するか設定します。
- **ガイド線**: 撮影画面にガイド線を表示できます。
- **顔フォーカス**: 人の顔を自動的に認識して、フォーカスを合わせる機能について設定します。
- **QRコード・バーコード認識**: QRコード・バーコードを検出し、対応したアプリを起動する通知を表示するか設定します。QRコード・バーコードの検出方法についてはP.103「静止画の撮影」

■ 動画撮影の設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [⚙]

3 [動画]

4 項目を選ぶ

- **動画サイズ**: 動画の撮影サイズを切り替えます。
- **画質とデータ量**: 動画圧縮規格を切り替えます。動画圧縮規格によって画質やデータ量が異なります。
- **手ブレ補正**: 手ぶれを補正するか設定します。
- **音声の録音**: 音声を録音するか設定します。
- **風切り音低減**: 風切り音を低減するか設定します。
- **顔フォーカス**: 人の顔を自動的に認識して、フォーカスを合わせる機能について設定します。

■ 静止画撮影／動画撮影の共通設定

1 ホーム画面で[カメラ]

2 [⚙]

3 [共通]

4 項目を選ぶ

- **フラッシュ表示**: フラッシュアイコンを撮影画面の上部に表示するか設定します。
- **セルフタイマー表示**: セルフタイマーアイコンを撮影画面の上部に表示するか設定します。
- **位置情報付加**: 位置情報を付加するか設定します。
- **保存先設定**: 保存先を設定します。
 - ・ microSDカード挿入時は、保存先を変更できます。
- **すばやく起動**:  (電源キー／指紋センサー) を2回押して「カメラ」アプリを起動するか設定します。
- **カメラスタンバイ**: 「カメラ」アプリの起動中に画面が消灯した場合、次に画面を点灯したときにロック画面ではなく「カメラ」アプリの画面を表示するか設定します。
- **省エネファインダー**: 撮影画面で一定時間何も操作しないと、自動的に待機画面になります。待機画面をタッチすると、再度撮影画面が表示されます。
- **カメラモード保持**: ONにすると、「カメラ」アプリを前回利用していた撮影モードで起動します。OFFのときは、「写真」で起動します。
- **撮影画面の明るさを上げる**: 「カメラ」アプリ起動中の画面の明るさをさらに明るくするか設定します。

- **ちらつき防止(縞模様を軽減)**:有効にすると、蛍光灯などによるちらつきを補正します。テレビやパソコンの画面などを撮影する際に有効な設定です。[OFF]に設定した場合は、被写体ぶれや手ぶれの補正を優先します。
 - ・ [オート]に設定してもちらつきが補正されない場合は、お使いの地域(東日本:50Hz、西日本:60Hz)に応じて周波数を設定してください。
- **設定リセット**:「カメラ」アプリの設定をリセットします。

フォト

静止画や動画を表示・編集したり、管理することができます。

1 ホーム画面で[フォト]

2 データを選ぶ

- データをゴミ箱に移動:データをロングタッチ⇒[削除]⇒[ゴミ箱に移動]

3 データを確認する

- 「フォト」アプリはPlay ストアより更新することができ、最新バージョンでは操作方法が変わることがあります。更新された場合は、フォト画面で画面右上のアカウントアイコンをタッチ⇒[ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。
- 不要な静止画や動画はゴミ箱に移動しても、本端末からは削除されていません。ゴミ箱を空にするか、またはゴミ箱に移動してから一定期間後に本端末から削除されます。

データの複数選択について

- データ一覧画面でデータをロングタッチするとデータ選択画面に切り替わります。他のデータをタッチして複数のデータを選択することができます。

■ ゴミ箱を空にする

1 フォト画面で[ライブラリ]⇒[ゴミ箱]

2 [:]⇒[ゴミ箱を空にする]⇒[完全に削除]

スロービデオ動画の再生

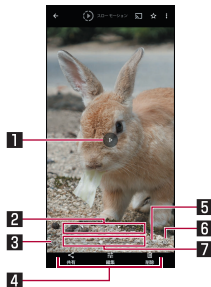
スロービデオで撮影した動画のサムネイルには[▶]が表示され、動画のスロー再生ができます。

- スロービデオで撮影した動画は、「フォト」アプリで再生してください。他のプレーヤーやパソコンなどでは、正しく再生できない場合があります。

1 フォト画面でスロービデオで撮影した動画を選ぶ

- 動画が再生されます。

2 再生中の動画をタッチ



1 再生／一時停止

2 スロー再生範囲設定

- [◀]／[▶]をドラッグしてスロー再生する範囲を設定します。

3 再生時間

4 フォトツール

- 「フォト」アプリでデータの共有、編集、削除をします。

5 総再生時間

6 音声ON/OFF

- [🔊]がON、[🔇]がOFFを表します。

7 シークバー

アプリ

dメニュー

dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスにアクセスすることができるポータルサイトです。

1 ホーム画面で[dメニュー]

- Chromeが起動し、「dメニュー」が表示されます。
- ご利用時には、「サイトご利用にあたって」をご確認ください。

<https://smt.docomo.ne.jp/portal/src/terms.html>

Play ストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください
(P.42「Googleなどのアカウントの設定を行う」)。

1 ホーム画面で[Play ストア]

- ヘルプの表示: 画面右上のアカウントアイコンをタッチ⇒
[ヘルプとフィードバック]
- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlay ストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ

2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき: [インストール]
- アプリの初回購入時は、画面の指示に従ってお支払い方法を設定してください。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時のお支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で画面右上のアカウントアイコンをタッチ⇒[ヘルプとフィードバック]をご覧ください。

- ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリに対するお支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroid™デバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■ アプリのアンインストール

1 Google Play画面で画面右上のアカウントアイコンをタッチ⇒[アプリとデバイスの管理]

2 [管理]

3 アンインストールするアプリを選ぶ⇒[アンインストール]⇒[アンインストール]

- アプリのチェックボックスにチェックを入れて、⇒[アンインストール]と操作しても、アプリをアンインストールできます。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に、おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
 - 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
 - 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。
- ※おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ アプリよりサービスを設定してください。なお、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面で[>]⇒[ツール]⇒[おサイフケータイ]

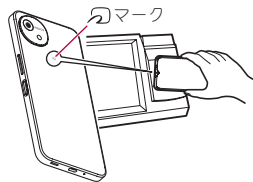
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選ぶ

3 サービスを設定する

- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

4 本端末の背面の上より左右中央にある マーク（モバイル非接触IC通信マーク）を読み取り機にかざす



- 読み取り機との通信は、電源を切っていても利用できます。ただし、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- データセーバー（P.129「ネットワークとインターネット」）の設定にかかわらず、おサイフケータイ対応アプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- 本端末の電源を入れたあと、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

対向機にかざす際の注意事項

- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことに注意してください。
 -  マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
 -  マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
 -  マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイの機能をロックする

画面消灯中やロック画面表示中に、NFC／おサイフケータイの機能を自動的にOFFすることができます。

- 1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[接続設定]⇒[接続の詳細設定]⇒[NFC／おサイフケータイ]⇒[NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF]

iDアプリ

「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざしてショッピングができます。

- iDをご利用の場合、iDアプリなどで設定を行う必要があります。発行の方法、ご利用にかかる費用などについては、各カード会社にお問い合わせください。
- iDに関する情報については、iDのホームページ(<https://id-credit.com/index.html>)をご覧ください。

GPS／ナビ

マップを利用して、ストリートビューを表示したり、ルートの検索をしたりできます。また、表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することもできます。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[位置情報を使用]をONに設定する必要があります(※P.159「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。

- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内
 - 大雨や雪などの悪天候
 - かばんや箱の中
 - 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
 - GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地の正確な位置測定のため、スマートフォンが自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得する機能(当該機能のサービス提供者にデータが送信されます)が搭載されており、アシストデータの取得にパケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。

マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報を使用]をONに設定する必要があります(※P.159「位置情報」)。
- マップについて詳しくは、マップ画面で画面右上のアカウントアイコンをタッチ⇒[ヘルプとフィードバック]⇒[ヘルプ]と操作し、内容をご確認ください。

1 ホーム画面で[Google]⇒[マップ]

2 マップを利用する

時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチなどを利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 ホーム画面で[時計]⇒[ツール]⇒[時計]⇒[アラーム]

2 登録先の時刻をタッチ

●登録先の追加:[+]

3 時刻を選ぶ⇒[OK]

4 各項目を設定



1 ラベルを追加

●ラベルを入力します。

2 繰り返し

●アラームを繰り返す曜日を設定します。曜日を設定していない場合は、次のアラーム設定時刻、または[アラームの設定]で設定した日付のアラーム設定時刻に一度だけ動作します。

3 アラームの一時停止

●アラームを一時的に停止する期間を設定します。
●アラームを繰り返す曜日を設定していない場合は、[アラームの設定]と表示されます。タッチすると、アラームを利用する日付を設定できます。

4 アラーム音

●アラーム音を設定します。

5 バイブレーション

●バイブレータを利用するか設定します。

6 Google アシスタントのルーティン

●アラームを解除したときにGoogle アシスタントが行う動作を設定します。

7 削除

●アラームを削除します。

8 表示切替

9 アラームON/OFF

●アラームの有効/無効を切り替えます。

●アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。

●通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に[]から[ストップ]まで右にスワイプ

- スヌーズの利用:[]から[スヌーズ]まで左にスワイプ

画面を表示中に止める

ロック画面以外の画面を表示中にアラーム設定時刻になると、アラーム通知が表示されます。通知を利用してアラームを止めることができます。

1 アラーム鳴動中に[ストップ]

- スヌーズの利用:[スヌーズ]

■ アラーム音量の設定

1 アラーム画面で[]⇒[設定]

2 アラームの音量欄で音量を調節

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

1 ホーム画面で[]⇒[ツール]⇒[時計]⇒[時計]

2 []

3 都市名を入力⇒都市を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面で[]⇒[ツール]⇒[時計]⇒[タイマー]

2 時間を入力⇒[]

- 時間を1分追加:[+1:00]
- カウントダウンの停止:[]
- カウントダウンの再開:[]
- カウントダウンのリセット:[]
- 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。
 - ・アラーム音の停止:[]
- ロック画面以外の画面を表示中にタイマー設定時刻になると、通知が表示されます。通知の[ストップ]をタッチして、アラームを止めることができます。また、[1分追加]をタッチすると、タッチしてから1分後にアラーム音でお知らせします。

■ 名称の変更

1 タイマー画面でタイマーの名称をタッチ

- 変更前の名称は[タイマー(設定時間)]に設定されています。

2 名称を入力⇒[OK]

■ タイマーの追加

1 タイマー画面で[●]

■ タイマーの削除

1 タイマー画面で[×]

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して時間を計測します。ラップタイム(経過時間)/スプリットタイム(合計経過時間)も計測できます。

1 ホーム画面で[⏸]⇒[ツール]⇒[時計]⇒[ストップウォッチ]

2 [●]

- ラップタイム/スプリットタイムの計測:[●]

3 [■]

- 計測結果のリセット:[○]

- ラップタイム/スプリットタイムを99件まで表示できます。

おやすみ時間

就寝時、起床時に最適な画面表示に自動で切り替えるなど、睡眠時に便利な機能を利用できます。

1 ホーム画面で[⏸]⇒[ツール]⇒[時計]⇒[おやすみ時間]

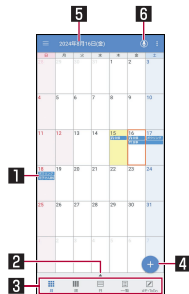
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

スケジュール

スケジュールを作成・管理できるアプリです。

1 ホーム画面で[⏸]⇒[ツール]⇒[スケジュール]

2 スケジュールを確認する



1 登録されているスケジュール

2 セパレータ

- タッチすると選択している日付のスケジュールを表示します。また、ToDoを設定したスケジュールやメモがある場合、未完了のToDoも表示されます。

3 表示切替

- 月表示、週表示などスケジュールの表示を切り替えます。

4 新規作成

5 選択している日付、祝日名

6 音声入力

- 音声入力でmy daizを利用できます。

■ スケジュールの設定

1 スケジュール画面で[≡]⇒[設定]

2 項目を選ぶ

- **起動画面**: スケジュールを起動したときの表示方法を設定します。
- **開始曜日**: カレンダーの開始曜日を設定します。
- **ラベル表示**: 登録されているスケジュールのラベルを月表示や週表示でも表示するか設定します。
- **誕生日表示設定**: 電話帳に登録されている誕生日をスケジュールに表示するか設定します。
- **誕生日色設定**: 誕生日の表示色を設定します。
- **週間天気表示設定**: 一週間の天気をスケジュールに表示するか設定します。
- **タイトル設定**: スケジュールを作成するとき、選択したラベルのアイコンに合わせて自動的に入力するタイトルを設定します。

- **終日設定**: スケジュールを作成するとき、デフォルトで終日がONになるように設定します。
- **アラーム**: アラームについて設定します。
- **アカウント設定**: スケジュールを作成するとき、登録するデフォルトのアカウントを設定します。
- **クラウド設定**: クラウドを利用するか設定します。
- **インポートとエクスポート**: 「スケジュール」アプリ/「メモ」アプリのデータをバックアップ、復元します。
- **海外利用設定**: 本端末が海外にあると判断された場合に通信を伴う機能を制限するか設定します。
- **祝日データ更新**: 最新の祝日データをスケジュールに反映します。
- **アプリ内データ全件削除**: 「スケジュール」アプリ/「メモ」アプリのデータをすべて削除します。[削除実行]をタッチして削除する前に表示される内容をご確認ください。

■ スケジュールの作成

1 スケジュール画面で[+]

2 各項目を設定



1 タイトル

2 ラベル

- ラベルのアイコンや色を変更します。

3 日時

- 開始、終了日時や繰り返しを設定します。

4 詳細編集

- 場所やアラーム、人などを設定します。

5 アカウント

- 登録するアカウントを設定します。

3 [保存]

■ スケジュールの削除

1 スケジュール画面で日を選ぶ

2 スケジュールをロングタッチ



3 [1件削除]⇒[削除する]

■ メモ

メモを作成・管理できるアプリです。

1 ホーム画面で[≡]⇒[ツール]⇒[メモ]

2 [+]

3 メモを入力⇒[保存]

- メモの作成方法は、スケジュールの作成方法と基本的な部分は同様です。スケジュールについてはP.116「スケジュール」

エモパー

あらかじめ登録したお客様の情報やお客様の日常の行動に基づき、ロック画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします。エモパーを使っていくほどに、お客様の本端末の使用状況を理解し、より適切なタイミングで情報をお伝えするようになります。

また、お客様の声※をエモパーが認識して応答することがあります。

さらに、エモパーを使ったメモ機能(エモパーメモ)や、健康応援機能(エモパーヘルスケア)、エモパー連携に対応した家電(AIoT機器)との連携機能などが利用できます。

※エモパーが話してから画面が消灯するまでの間に、エモパーが音声を確認するタイミングを[声でアクション]で設定できます。

- エモパーをご利用になる場合は、ポケット通信料がかかります。
- 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、現在地を測位する場合があります。現在地を測位するためには、[位置情報を使用]をONに設定する必要があります。[位置情報を使用]がOFFのときは、現在地測位が必要な情報をお伝えできません(※P.159「位置情報」)。

1 ホーム画面で[]⇒[エモパー]

- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定完了後に[]⇒[あなたについて]で職場・学校などを設定することをおすすめします。エモパーがお話する機会や内容のバリエーションが増えることがあります。

- 初期設定が完了している場合はエモパー画面が表示され、エモパーの状態やお客様についての情報、歩数や予定などの日常の記録(約1週間分)が確認できます。

エモパーの設定

1 エモパー画面で[]

- []/[]をタッチしてエモパーのON/OFFを切り替えることができます。

2 項目を選ぶ

- **COCORO ID**: アカウントを設定します。新規登録・ログインすると自動バックアップなど、より便利にご使用いただけます。
- **エモパー選択**: エモパーやエモパーの名前を設定します。また、サイトからエモパーを追加できます。
- **基本動作について**: エモパーの音量やマナーモード中の動作など、基本動作について設定します。
- **あなたについて**: ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
- **エモパーの話題**: エモパーがお伝えする情報を設定します。
- **エモパーメモ**: エモパーメモの利用について設定します。
- **声でアクション**: エモパーが話してから画面が消灯するまでの間に、エモパーが音声を認識するタイミングを設定できます。また、話しかけかたの例を確認できます。
- **エモパーヘルスケア**: エモパーヘルスケアの利用について設定します。
- **AIoT機器との連携**: エモパー連携に対応したシャープの家電(AIoT機器)との連携について設定します。
- **ホームにエモパーを貼り付け**: ホーム画面に貼り付けるエモパーのウィジェットについて設定します。

- **エモパーへの話しかけ方**:公式エモパー情報サイト EMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」・「エモパーへの話しかけ方」に接続します。
 - ・本端末では「声でエモパーを呼び出し」は非対応です。
- **おすすめ機能の紹介**:おすすめ機能の簡単な説明と使いかたのデモを確認できます。
- **エモパー使い方ガイド**:公式エモパー情報サイト EMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」に接続します。
- **よくある質問(FAQ)**:公式エモパー情報サイト EMOPARK(エモパーク)の「よくある質問(FAQ)」に接続します。
- **エモパーの記憶**:エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータのバックアップや復元、初期化ができます。
- **注意事項**:エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

エモパーがお話するタイミング

- あなたについての[自宅]や[自宅のほかにお話できる場所]に設定した場所で、ロック画面表示中や画面消灯中に端末を水平に置いたときなどに話します。
- 外出中では、職場や学校の出入りなど特定のタイミングでバイブレータが振動する場合があります。その際には、通話するように端末を耳に当てるとお話しします。また、イヤホンを接続中は、バイブレータが振動せずにイヤホンからお話しします。
- 選択したキャラクターによっては、ロック画面表示中に端末を数回(2秒程度)振ると話します。

エモパーの記憶の引き継ぎかた

エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータは、COCORO MEMBERSなどでバックアップすることで、機種変更の際に引き継ぐことができます。

- COCORO MEMBERSにバックアップする場合はエモパー画面で
[>[COCORO ID]からアカウントを登録し、[エモパーの記憶]>[COCORO ID(推奨)]欄の[自動バックアップ]をONに設定するか、[いますぐバックアップする]を実行してください。
- Google ドライブにバックアップする場合はエモパー画面で
[>[エモパーの記憶]>[Google ドライブ]欄の[]からアカウントを設定し、[Google ドライブ]欄の[自動バックアップ]をONに設定するか、[いますぐバックアップする]を実行してください。
- 機種変更後のエモパーの初期設定画面で[引き継ぎはコチラ]を選択し、バックアップした方法と同じ方法を選択することで、機種変更前のエモパーを復元することができます。また、エモパー画面で[>[エモパーの記憶]>[記憶を復元する]から、復元操作を行うことができます。

エモパーメモを利用

エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定に合わせてお伝えします。また、エモパーメモを利用してアラームやタイマーを設定したり、エモパーに質問することもできます。

- ロック画面を2回タッチしてから話しかけてください。
- ロック画面では、アイコンや情報などが表示されていないところをタッチしてください。
- 外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。外出先では、エモパーの応答は受話口から聞こえます。
- エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」、「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。
- アラームを設定する際は、「XX時XX分にアラーム」のように話しかけてください。アラームは、「時計」アプリに登録されます。
- タイマーを設定する際は、「XX分タイマー」や「タイマー起動し」のように話しかけてください。「時計」アプリのタイマーが起動します。
- エモパーに質問する際は、「明日の天気を教えて」のように話しかけてください。質問の情報をエモパーがお伝えします。

エモパーヘルスケアを利用

お客様の体重や歩数について、気にかけたり応援したりするお話しで、健康維持やダイエットをサポートします。

- 体重はエモパーメモと同じ手順で話しかけることで覚えます。
 - ・ エモパーに体重を話しかける際は、「今日の体重 XX.Xキロ」のように話しかけてください。
- 株式会社タニタの一部の体組成計と連携することで、体重を覚えることもできます。
 - ・ 体組成計との連携については、エモパー画面で[]⇒[エモパーヘルスケア]⇒[タニタ体組成計との連携]から設定することができます。画面の指示に従って操作してください。
 - ・ エモパーとの連携に対応する体組成計については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
- お客様の体重や歩数は、からだメイトで管理されます。

- エモパーの初期設定を行うと[歩数計]がONになります(※P.122「からだメイト」)。
- エモパーが話しているときに[(+)]/[(-)]を押すと音量を調節できます。
- 午前2:00～午前5:00の間は話しません。
- エモパーは日本語にのみ対応しています。
- エモパーがお伝えする情報は、お客様の端末使用状況と正確には合っていない場合があります。
- イヤホンを接続していない場合、ディスプレイを下向きにして端末を置いていないと、エモパーは話しません。
- 海外で利用するときは、エモパーのお伝えする情報が制限されます。

公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)について

- エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Play ストアからアップデートすることがあります。
- 本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する最新の情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
<https://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/>

電車の遅延情報について

- エモパーがお伝えする電車の遅延情報は、株式会社レスキューナウが提供する運行情報に基づいています。
- 各路線の運行情報が提供される基準は、次のとおりです。
 - 首都圏JR線は15分、その他の路線は30分以上の遅れ、運転見合わせ等が発生した場合の情報

AIoT機器との連携について

- AIoT機器との連携には、COCORO IDでログインの上、COCORO HOMEアプリなどで同じアカウントに対して機器の登録が必要です。
- エモパーとの連携ができる当社のAIoT機器は各種COCOROサービスに対応した特定の機種に限りです。詳しくは、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)などでご確認ください。

からだメイト

歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます。

1 ホーム画面で⇒[からだメイト]

2 ユーザー情報の各項目を設定⇒[歩数計]をONにする⇒[次へ]

- お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
 - ・ ユーザー情報の変更についてはP.124「からだメイトの設定」
- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、午前0:00にリセットされます。

3 [戻る]⇒[戻る]

- ヘルスコネクとデータを同期する場合は[設定]をタッチし、画面の指示に従って操作してください。

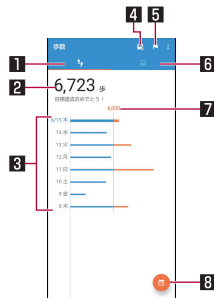
機種変更時のご注意

- からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。
 - ・ Googleアカウントの設定についてはP.42「Googleなどのアカウントの設定を行う」

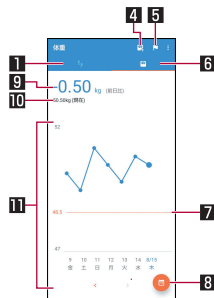
歩数測定時のご注意

- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
 - 端末が不規則に動く場合
 - ・ 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - ・ 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
 - 不規則な歩行をした場合
 - ・ すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - ・ 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
 - 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - ・ 立ったり座ったりしたとき
 - ・ スポーツを行ったとき
 - ・ 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
 - ・ 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき
 - ・ スピーカーから音が出ているとき
 - ・ バイブレータが振動しているとき
 - 極端にゆっくり歩いた場合
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。
- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

■ からだメイト画面の見かた



歩数モード画面



体重モード画面

1 歩数モード

2 今日の歩数

3 歩数の履歴

- 日々／月々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日／月の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。

4 体重入力

- タッチすると、日々の体重を入力することができます。
- エモパーを利用すると、音声で体重を入力することもできます。エモパーについてはP.119「エモパー」

5 目標設定

- タッチすると、歩数や体重の目標を設定することができます。
 - ・ からだメイト画面で[:]⇒[目標設定]でも目標を設定できます。
- 設定した目標の削除：目標の入力画面で[リセット]

6 体重モード

7 目標値

8 表示切替

- 日別／月別の表示を切り替えます。

9 前回との差

10 最新の体重

11 体重の履歴

- 日々／月々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日／月の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。
- 表示する月や週の移動：[<]／[>]

■ からだメイトの設定

1 からだメイト画面で[:]

2 項目を選ぶ

- **歩数計設定**：歩数計のON／OFFの切り替えやユーザー情報の設定、ヘルスコネクトとの同期について設定します。
 - ・ 歩数計をOFFにすると、からだメイトが停止します。
- **目標設定**：歩数や体重の目標を設定します。
- **データリセット**：本アプリ内の歩行データや体重と身長データをすべてリセットします。
- **用語の説明**：からだメイトやヘルスケアの用語について確認できます。
- **プライバシーポリシー**：からだメイトの利用規約・プライバシーポリシーを確認できます。

ドコモデータコピー

「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーしたり、バックアップ・復元をしたりするためのアプリです。

機種変更時のデータ移行や、大切なデータの定期的なバックアップにご利用ください。

- 機種やOS、ファイルの種類によっては、正しくコピー、バックアップ、復元ができない場合があります。
- コピー、バックアップ対象の電話帳は、docomoのアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電池残量が不足しているとコピー、バックアップ、復元が実行できない場合があります。
- ドコモデータコピーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。

コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

1 ホーム画面で[>[ツール]>[データコピー]>[データ移行]

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

バックアップ・復元

microSDカードを利用して、電話帳、画像などのデータの移行やバックアップ・復元ができます。

- バックアップまたは復元中にmicroSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。データが破損する場合があります。
- 名前が登録されていない電話帳はバックアップできません。
- 本端末やmicroSDカードの空き容量が不足していると、バックアップ・復元が実行できない場合があります。
- 本アプリでは静止画・動画などのデータのうち本端末に保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。
- 長エネスイッチの動作中などは、設定した時刻どおりには定期バックアップが実行されず、次回起動可能となったときに実行されます。

■ バックアップ

電話帳、メディアファイルなどのデータのバックアップを行います。

1 ホーム画面で[]⇒[ツール]⇒[データコピー]⇒[バックアップ&復元]

- 暗号化設定の画面が表示された場合は、バックアップデータにパスワード設定と暗号化を行うように設定できます。注意事項をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 [バックアップ]⇒[バックアップ開始]⇒[開始する]

- 選択したデータがmicroSDカードに保存されます。

3 [トップに戻る]

■ 復元

microSDカードにバックアップした電話帳、メディアファイルなどのデータを本端末に復元します。

1 ホーム画面で[]⇒[ツール]⇒[データコピー]⇒[バックアップ&復元]

- 暗号化設定の画面が表示された場合は、バックアップデータにパスワード設定と暗号化を行うように設定できます。注意事項をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 [復元]⇒[次へ]⇒[復元開始]⇒[開始する]

- 選択したデータが本端末に復元されます。

3 [トップに戻る]

- 定期バックアップスケジュールが未設定の場合は[定期バックアップをONにする]と表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

■ 電話帳をdocomoのアカウントにコピー

Googleアカウントに登録された連絡先をdocomoのアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で[]⇒[ツール]⇒[データコピー]⇒[バックアップ&復元]

- 暗号化設定の画面が表示された場合は、バックアップデータにパスワード設定と暗号化を行うように設定できます。注意事項をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 [電話帳アカウントコピー]⇒コピーする電話帳の[選択]⇒[上書き]／[追加]

- コピーした電話帳がdocomoのアカウントに保存されます。

3 [OK]

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で[設定]⇒[設定]と操作して表示されるメニューから、本端末の各種設定を行うことができます。

- 本体設定を表示中に「設定を検索」欄をタッチ⇒検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 使用状況などにより、表示される項目や配置が異なる場合があります。

電話番号	nanoSIMカード／eSIMに登録されているお客様の電話番号を確認できます。
ネットワークとインターネット	Wi-Fi機能やモバイルネットワークなどのネットワークについて設定します。
接続設定	Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。
音とバイブレーション	メディアの再生音や通話、通知など音についての設定やバイブレータの動作について設定します。
通知	通知について設定します。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
壁紙とスタイル	壁紙や色調、フォントなどロック画面、ホーム画面の表示について設定します。
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えます。
AQUOSロック	本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。

セキュリティとプライバシー	画面ロックやアプリに許可する権限などセキュリティとプライバシーについて設定します。
位置情報	位置情報の測位について設定します。
安全性と緊急情報	緊急情報や緊急 SOS、緊急速報「エリアメール」などについて設定します。
ドコモのサービス／クラウド	ドコモサービスの設定を行います。
パスワードとアカウント	アカウントの追加や設定、データの同期、アカウントに保存したパスワードなどについて設定します。
Digital Wellbeing と保護者による 使用制限	本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。また、本端末の使用制限について設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
バッテリー	電池の利用状況の確認や設定、長エネスイッチの起動などを行います。
ストレージ	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。
アプリ	アプリについて設定します。
デバイス情報	デバイス情報の確認ができます。
システム	画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。
お困りのときは	「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

ネットワークとインターネット

Wi-Fi機能やモバイルネットワークなどのネットワークについて設定します。

1 ホーム画面で[設定]⇒[ネットワークとインターネット]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi とモバイルネットワーク**: Wi-Fiとモバイルネットワークについて設定します。Wi-Fiの設定について詳しくは P.130「Wi-Fi」
 - SIMの名前の[設定]をタッチすると、モバイルネットワークについて設定できます。モバイルネットワークの設定について詳しくは P.132「SIM」
- **通話と SMS**: 通話の発信、SMSの送信に使用するSIMを設定します。
- **SIM**: SIMについては P.132「SIM」
- **機内モード**: 通信を利用する一部の機能(電話、データ通信、Wi-Fi機能、NFC/おサイフケータイの機能など)を使用できないようにします。
- **テザリング**: テザリングについては P.135「テザリング」
- **データセーバー**: 一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制することができます。
 - データセーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、[モバイルデータの無制限利用]から設定することができます。

- **VPN**: VPNについては P.186「VPNの追加」
- **プライベート DNS**: プライベート DNSの設定をします。
- **プロキシ設定**: プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。

【機内モード】について

- [SIM をロックする]が有効の場合は、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。[SIM をロックする]が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード]がOFFになり、発信を行います。
- [機内モード]がONの場合でも、[Wi-Fi]や[Bluetooth を使用]、[NFC/おサイフケータイ]をONにすることができます。
 - 前回[機内モード]をONにしていたときに[Wi-Fi]や[Bluetooth を使用]をONにした場合は、[機内モード]をONにしても[Wi-Fi]や[Bluetooth を使用]はOFFになりません。

Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用する、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。
- [Wi-Fi]をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にモバイルネットワークでの接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。
- Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用する場合は、あらかじめdアカウントを設定しておいてください。ホーム画面で[設定]⇒[ドコモのサービス／クラウド]⇒[dアカウント設定]から設定することができます。

1 ホーム画面で[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[Wi-Fi とモバイルネットワーク]

2 [Wi-Fi]をONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
- アクセスポイントを手動で登録:[ネットワークを追加]⇒ネットワーク名を入力⇒セキュリティを設定⇒[保存]
 - ・ 接続するアクセスポイントがQRコード読み取り接続に対応している場合は、[QRコード]をタッチし、QRコードを読み取って接続できます。
- [保存済みネットワーク]をタッチすると、本端末に保存されたアクセスポイントを表示します。
- [モバイルデータ以外の通信量]をタッチすると、Wi-Fiネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、Wi-Fiネットワークを使用したアプリも確認できます。

- Wi-Fiネットワークに接続すると、[接続済み]と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。
なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定として Enhanced Open、WEP、WPA/WPA2-Personal、WPA3-Personal、WPA/WPA2-Enterprise、WPA3-Enterpriseに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、が表示されます。

■ Wi-Fiの設定

1 ホーム画面で⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[Wi-Fi とモバイルネットワーク]⇒[ネットワーク設定]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi を自動的に ON にする**: 保存済みネットワークの検出時に[Wi-Fi]をONにするか設定します。
- **利用可能なパブリック ネットワークを通知する**: パブリックネットワーク(公衆無線LAN)を検出したときに通知するか設定します。
- **証明書をインストール**: 証明書をインストールします。
- **Wi-Fi Direct**: Wi-Fi Directについて設定します。
- **構内IP電話設定**: 法人向けの内線通話用Wi-Fiハンドオーバーを利用するか設定します。

■ アクセスポイントの設定の削除

1 ホーム画面で⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[Wi-Fi とモバイルネットワーク]⇒[保存済みネットワーク]

2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ⇒[削除]

■ アクセスポイントの自動接続の設定

設定済みのアクセスポイントのネットワーク圏内に入ったとき、自動的に接続するか設定します。

1 ホーム画面で⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[Wi-Fi とモバイルネットワーク]⇒[保存済みネットワーク]

2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ

3 [自動接続]をONにする

- [自動接続]をOFFにした場合は、SSIDが見つかっても自動的に接続されなくなります。

SIM

- nanoSIMカードとeSIMの同時利用については、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[SIM]

- [SIM の追加] をタッチすると、eSIMの設定ができます。eSIMの設定について詳しくはP.133「eSIMのSIM情報を設定する」

2 SIMを選ぶ

- モバイルネットワーク経由のデータ使用量などが表示されます。
- [] をタッチすると、SIMの名前や色(対応アプリで使用)を設定できます。

3 [SIM を使用]をONにする

4 項目を選ぶ

- **通話の設定**: 通話の発信に使用するSIMを設定できます。
- **SMS の設定**: SMSの送信に使用するSIMを設定できます。
- **モバイルデータ**: モバイルネットワーク経由でデータにアクセスするか設定します。
- **モバイルデータに一時的に切り替え**: [モバイルデータ]をONに設定しているSIMよりOFFに設定しているSIMのモバイルネットワークが安定している場合、一時的に利用するSIMを切り替える設定をします。
- **データローミング**: データローミングについてはP.188「データローミング」

- **アプリのデータ使用量**: モバイルネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示したり、モバイルネットワークを使用したアプリを確認したりできます。
- **データ使用量の警告と制限**: データ使用量の警告と制限についてはP.133「データ使用量の警告と制限」
- **MMS メッセージ**: [モバイルデータ]がOFFの場合にMMSを送受信するか設定します。
- **通話モード設定**: VoLTEを利用するか設定します。
- **優先ネットワークタイプ**: 優先ネットワークタイプについてはP.188「優先ネットワークタイプ」
- **ネットワークを自動的に選択**: ネットワークを自動的に選択についてはP.189「通信事業者の設定」
- **ネットワークを選択**: ネットワークを選択についてはP.189「通信事業者の設定」
- **アクセス ポイント名**: アクセスポイントの設定や確認をします。アクセス ポイントの設定について詳しくはP.134「アクセスポイントの設定」
- **2G の許可**: 本機能は利用できません。
- **SIM を削除**: eSIMの情報を削除します。

- [SIM を使用]をOFFにしても、モバイルネットワークを経由しない通信機能(Wi-Fi機能、Bluetooth機能、NFC/おサイフケータイの機能など)はOFFになりません。

[モバイルデータに一時的に切り替え]について

- nanoSIMカードとeSIMを同時に利用している場合、[モバイルデータ]をOFFに設定しているSIMを選択したときに表示されます。

[MMS メッセージ]について

- [モバイルデータ]をOFFに設定しているときに表示されます。

[通話モード設定]について

- 優先ネットワークタイプを[3G/GSM]/[GSM]に設定しているときに表示されます。

[SIM を消去]について

- eSIMを選択したときに表示されます。

■ eSIMのSIM情報を設定する

はじめてeSIMを利用するときは、通信に必要なSIM情報をダウンロードして設定する必要があります。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[SIM]

2 [SIM の追加]⇒[eSIM を設定]

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ データ使用量の警告と制限

モバイルネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量などを設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[SIM]⇒SIMを選ぶ

2 [データ使用量の警告と制限]

- [モバイルデータの使用サイクル]をタッチすると、月単位の測定開始日を設定できます。
- [データ使用量を警告]をONにすると、データ使用量が設定値に達した場合に通知することができます。値は[警告するデータ使用量]で設定できます。
- [データ使用量を制限]をONにすると、データ使用量が上限に達した場合にデータ通信を停止することができます。上限は[データ上限]で設定できます。
 - ・ データ使用量が上限に達すると、モバイルデータが一時的に停止中である旨の通知が表示されます。[OK]をタッチすると、次の測定開始日までデータ通信を停止します。[再開]をタッチすると、データ通信を再開します。

■ アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント (docomo)は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[SIM]⇒SIMを選ぶ

2 [アクセス ポイント名]

- 利用中のアクセスポイントを確認できます。

3 []

4 [名前]⇒作成するネットワークプロファイルの名前を入力⇒[OK]

5 [APN]⇒アクセスポイント名を入力⇒[OK]

6 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力⇒[]⇒[保存]

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントの設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[SIM]⇒SIMを選ぶ

2 [アクセス ポイント名]

3 []⇒[初期設定にリセット]

- 圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

テザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やUSBケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、USBケーブルで接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器4台の計15台です。
- Bluetooth テザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(※P.180「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- テザリングのご利用には、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[テザリング]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fiテザリング**: Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。また、ネットワーク名やセキュリティ、パスワードなどを設定したり、他のデバイスが本端末に接続されていないときにテザリングをOFFにするか設定できます。
- **USB テザリング**: USB テザリングを利用するか設定します。
- **Bluetooth テザリング**: Bluetooth テザリングを利用するか設定します。
- **イーサネット テザリング**: イーサネット テザリングを利用するか設定します。

- テザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<https://www.android.com/tether>

[Wi-Fiテザリング]について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。

[USB テザリング]について

- Windows 10／Windows 11以外のOSでの動作は、保証していません。
- USB テザリング中は、本端末のストレージ(本体メモリやmicroSDカード)をパソコンでマウントすることはできません。

接続設定

Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。

1 ホーム画面で[設定]⇒[接続設定]

- 接続中／接続解除中のBluetooth機器が表示されます。詳しくはP.181「Bluetooth機器の管理」

2 項目を選ぶ

- **USB**: パソコンなどと接続した際のUSB接続の用途について設定します。詳しくはP.183「パソコンなどとの接続」
- **新しいデバイスとペア設定**: 使用可能なBluetooth機器とのペア設定ができます。詳しくはP.180「Bluetooth機能の利用」
- **すべて表示**: 登録済みのBluetooth機器を一覧で表示します。
- **接続の詳細設定**: 接続の詳細設定についてはP.136「接続の詳細設定」

■ 接続の詳細設定

1 ホーム画面で[設定]⇒[接続設定]⇒[接続の詳細設定]

2 項目を選ぶ

- **Bluetooth**: Bluetooth機能についてはP.178「Bluetooth®機能」
- **NFC／おサイフケータイ**: NFC／おサイフケータイの機能のON／OFFや利用する決済アプリなどを設定します。
- **キャスト**: キャストについてはP.185「キャスト」

- **印刷**: 印刷用アプリ(プラグイン)をインストールして、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。印刷の詳細についてはP.136「印刷用アプリ(プラグイン)の利用」

- **Chromebook**: Chromebook™との接続について設定します。
- **Quick Share**: 付近のデバイスとファイルを共有する方法について設定します。
- **Android Auto**: カーナビなどと接続し、車の画面でアプリを使用するAndroid Auto™について設定します。

■ 印刷用アプリ(プラグイン)の利用

インストールした印刷用アプリ(プラグイン)を設定できます。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておいてください。

1 ホーム画面で[設定]⇒[接続設定]⇒[接続の詳細設定]⇒[印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

音とバイブレーション

メディアの再生音や通話、通知など音についての設定やバイブレータの動作について設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[音とバイブレーション]

2 項目を選ぶ

- **メディアの音量**:メディア音(音楽や動画など)の音量を設定します。
- **通話の音量**:通話中の音量を設定します。
- **着信音の音量**:着信音の音量を設定します。
- **通知の音量**:通知音の音量を設定します。
- **アラームの音量**:アラームの音量を設定します。
- **サイレントモード**:サイレントモードについてはP.138「サイレントモード」
- **着信音**:着信音を設定します。
- **自動字幕起こし**:字幕を表示する機能について設定します。
- **メディア**:メディアプレーヤーのコントローラーをステータスパネルに表示したままにするかなどメディアについて設定します。
- **バイブレーションとハプティクス**:着信時や通知時、タッチ操作時などのバイブレータの動作について設定します。

- **着信音ミュート用のショートカット**:[電源ボタンを長押し]で[電源ボタン メニュー]を選択したときに、 (電源キー/指紋センサー)と (+)を同時に押して、マナーモードを設定できるようにします。
 - ・ [バイブレーション]を選択するとマナーモード(バイブ)に、[ミュート]を選択するとマナーモード(ミュート)に設定されるようになります。
- **デフォルトの通知音**:通知音を設定します。
- **デフォルトのアラーム音**:アラーム音を設定します。
- **ダイヤルパッドの操作音**:ダイヤル音の有無を設定します。
- **画面ロックの音**:画面ロックの設定/解除時の操作音の有無を設定します。
- **充電時の音とバイブレーション**:充電を開始したときの音とバイブレーションの有無を設定します。
- **タッチ / クリック操作音**:メニューなどをタッチしたときの操作音の有無を設定します。
- **バイブレーションモードのときにアイコンを常に表示**:ステータスバーに「マナーモード(バイブ)」のステータスアイコンを表示するか設定します。

マナーモード

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

- マナーモードやサイレント モード設定中も、次の音は鳴ります。
 - 静止画撮影時のシャッター音
 - 動画撮影時の開始音／停止音
- 伝言メモ設定が[マナーモード連動]に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは伝言メモが有効になり、伝言メモの設定に従って動作します(※P.79「通話音声・伝言メモ」)。

1 (+)(-)⇒[バイブ]／[ミュート]／[マナーOFF]⇒設定項目を選ぶ

- 設定項目は次のとおりです。
 - バイブ: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。
 - ミュート: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。
 - マナーOFF: マナーモードをOFFに設定します。

■ サイレント モード

端末で鳴る音などについて、より詳細に設定します。

1 ホーム画面で⇒[設定]⇒[音とバイブレーション]⇒[サイレント モード]

- [今すぐ ON にする]／[今すぐ OFF にする]をタッチすると、[スケジュール]／[クイック設定の持続時間]で設定した内容にかかわらず、サイレント モードのON/OFFを切り替えます。

2 項目を選ぶ

- **人物**: 着信やメッセージを受信した場合に、通知を許可する連絡先を設定します。
- **アプリ**: 通知を許可するアプリを設定します。アプリの通知を許可していなくても、[人物]で設定した連絡先からの通知は届きます。
- **アラームとその他の割り込み**: 音を出す動作を設定します。
- **スケジュール**: サイレント モードのON/OFFが自動的に切り替わるルールを設定します。
- **クイック設定の持続時間**: [今すぐ ON にする]をタッチしてから、サイレント モードがOFFになるまでの時間を設定します。
- **通知の表示オプション**: サイレント モードがONになっている間の通知の動作について設定します。

通知

通知について設定します。

1 ホーム画面で[通知]⇒[設定]⇒[通知]

2 項目を選ぶ

- **アプリの通知**: アプリごとに通知を許可するか設定します。
- **通知履歴**: 通知を表示したアプリを確認できます。
- **会話**: 優先度の高い会話や設定を変更した会話を表示します。
- **バブル**: アプリにフローティングアイコンを表示するバブル機能の使用を許可するか設定します。
- **ロック画面の通知を整理**: ロック画面の通知を整理についてはP.141「ロック画面」
- **デバイスとアプリの通知**: 通知を読み取れるアプリとデバイスについて設定できます。
- **ロック画面上の通知**: ロック画面に表示する通知について設定します。
- **機密性の高い通知**: 画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているときに、ロック画面に表示する通知について、詳細を表示するか設定します。
- **サイレント モード**: サイレント モードについてはP.138「サイレント モード」
- **点滅による通知**: 通知を受信したときやアラームが鳴ったときに、モバイルライトや画面を点滅させる設定をします。
- **緊急速報メール**: 緊急速報「エリアメール」の設定を行います。緊急速報「エリアメール」についてはP.93「緊急速報「エリアメール」」

- **ステータスバーにサイレント通知を表示しない**: ステータスバーにサイレント通知のお知らせアイコンを表示しないように設定します。
- **通知のスヌーズを許可する**: 通知のスヌーズを許可するか設定します。
- **アプリアイコン上の通知ドット**: アプリの通知があるときに、アプリアイコンの右上に通知ドット(点)を表示するか設定します。
- **拡張通知**: 通知を表示したアプリの種類や利用状況などに応じて、通知を減らしたりサイレント通知にするか設定します。

バブル機能について

- バブル機能は対応したアプリのみ利用することができます。

[機密性の高い通知]について

- 画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているときに表示されます。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ディスプレイ]

2 項目を選ぶ

- **明るさのレベル**: 明るさ調整バーをドラッグして画面の明るさを手動で調整します。
- **明るさの自動調節**: 画面の明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
- **ロック画面**: ロック画面についてはP.141「ロック画面」
- **画面消灯(スリープ)**: 本端末の操作をしていないときに、画面が消灯するまでの時間を設定します。
- **ダークモード**: 黒基調の画面になるダークモードの利用について設定します。
- **表示サイズとテキスト**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズ、文字のサイズや太さなどを設定します。
- **文字フォント切替**: 画面に表示される文字のフォントを切り替えます。
- **AQUOS Homeのカスタマイズ**: AQUOS Homeについて設定します。詳しくはP.67「ホーム画面の設定」
- **基本設定**: 表示する基本の画質を設定します。
- **リラク্সビュー**: リラク্সビューについてはP.142「リラク্সビュー」
- **アウトドアビュー**: 明るい日差しの下で見やすい画質にするか設定します。
- **画面の色温度**: 画面の色合いを設定します。

- **なめらかハイスピード表示**: 動きの激しい動画やスクロール中の残像を抑え、なめらかな表示にするかアプリごとに設定します。
- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示を自動で回転させるか設定します。詳しくはP.48「縦／横表示」
- **スクリーンセーバー**: スクリーンセーバーの種類や起動するタイミングを設定します。

[明るさのレベル]について

- 画面の明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[画面消灯(スリープ)]について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[なめらかハイスピード表示]について

- アプリによっては効果が得られないことがあります。その場合は、設定をOFFにしてください。また、電池残量や端末温度によっても、効果が得られない場合があります。
- 一定以上の高い画質の動画や一部の著作権保護された動画は非対応です。
- アプリを起動したまま設定を変更すると、正常に動作しなくなることがあります。その場合は、一度アプリを終了してください。

ロック画面

ロック画面の表示や画面消灯中の動作について設定します。

- ロック画面は画面ロックを[なし]以外に設定しているときに利用できます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ディスプレイ]⇒[ロック画面]

2 項目を選ぶ

- **プライバシー**: ロック画面に表示する通知について設定します。
- **ロック画面の通知を整理**: ロック画面で一度見た通知を非表示にして、新しい通知を見やすくするか設定します。
- **通知のアイコンのみ表示**: ロック画面に表示する通知を最小化して、アイコンのみにするか設定します。
- **ロック画面にテキストを追加**: ロック画面に表示するメッセージを設定します。
- **デバイス コントロールを使用**: 画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているときに、ロックを解除しないでデバイス コントロールを操作できるようにするか設定します。
- **ショートカット**: ロック画面の下部に表示するショートカットを設定します。ショートカットの利用方法については P.40「ロック画面の操作」
- **大きな時計表示**: ロック画面に表示する通知がない場合に、時計を大きく表示するか設定します。
- **通知で画面を ON にする**: 画面消灯中に通知が届いたとき、画面を点灯させるか設定します。

[プライバシー]について

- [通知は表示するがプライベートな内容はロック解除後のみ表示する]を選択すると、ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。
 - ・ [通知は表示するがプライベートな内容はロック解除後のみ表示する]は、画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているときに表示されます。

[ロック画面の通知を整理]について

- 削除できない通知は非表示になりません。また、この機能によってステータスパネルの通知詳細情報が消去されることはありません。

リラックスビュー

目に優しい画質の利用について設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ディスプレイ]⇒[リラックスビュー]

- [リラックスビューを使用]をタッチするとリラックスビューのON/OFFを設定できます。

2 項目を選ぶ

- **黄味の強さ**: リラックスビューがONの場合の黄味の強さを調整します。
- **スケジュール**: 特定の時間帯にリラックスビューをONにするか設定します。[指定した時間に ON]に設定すると[開始時間]や[終了時間]を設定できます。

- リラックスビューをONにしても、カメラ利用時は画面が通常の画質で表示されます。
ただし、撮影画面からフォトの起動や直前に撮影した静止画/動画の表示を行った場合、画面はリラックスビューの画質で表示されます。

壁紙とスタイル

壁紙や色調、フォントなどロック画面、ホーム画面の表示について設定します。

■ ロック画面の設定

壁紙やロック画面に表示するショートカットなどを設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[壁紙とスタイル]

2 [ロック]

3 項目を選ぶ

- **時計の色とサイズ**: ロック画面に表示される時計の色とサイズを設定します。
 - ・ ロック画面のプレビューを左右にフリックすると、時計のフォントを切り替えることができます。
- **壁紙の変更**: ロック画面、ホーム画面の壁紙を設定します。表示された画像やアプリから、画面の指示に従って壁紙を設定してください。
 - ・ [壁紙の変更]の上には設定した壁紙に応じた色調の候補が表示され、アイコンや文字などの色調を選択できます。
[]をタッチすると、より詳細に色調を設定できます。
- **ショートカット**: ロック画面の下部に表示するショートカットを設定します。ショーカットの利用方法については  P.40「ロック画面の操作」
- **文字フォント切替**: 画面に表示される文字のフォントを切り替えます。
- **ロック画面表示**: ロック画面の表示や画面消灯中の動作について設定します。詳しくは  P.141「ロック画面」

■ ホーム画面の設定

壁紙やアイコンの表示などを設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[壁紙とスタイル]

2 [ホーム]

3 項目を選ぶ

- **壁紙の変更**: 壁紙の変更についてはP.142「ロック画面の設定」
- **テーマアイコン**: アプリアイコンを単色表示にするか設定します。
 - ・ [壁紙の変更] で設定した色調で表示されます。
- **アプリアイコンの形**: アプリアイコンの形状を設定します。
- **文字フォント切替**: 画面に表示される文字のフォントを切り替えます。
- **ロック・ホームフォトシャッフル**: ロック・ホームフォトシャッフルについてはP.144「ロック・ホームフォトシャッフル」
- **AQUOS Homeのカスタマイズ**: AQUOS Homeについて設定します。詳しくはP.67「ホーム画面の設定」

[テーマアイコン]について

- 対応したアプリのみ反映されます。

AQUOSトリック

本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]

2 項目を選ぶ

- **リッチカラーテクノロジーモバイル**: 用途に合わせた最適な表示や画質に設定する機能がまとめられています。各機能についてはP.140「ディスプレイ」
- **なめらかハイスピード表示**: なめらかハイスピード表示についてはP.140「ディスプレイ」
- **ロック・ホームフォトシャッフル**: ロック・ホームフォトシャッフルについてはP.144「ロック・ホームフォトシャッフル」
- **指紋センサーとPayトリガー**: 指紋センサーとPayトリガーについてはP.154「指紋認証」
- **スクロールオート**: スクロールオートについてはP.145「スクロールオート」
- **Clip Now**: Clip NowについてはP.146「Clip Now」
- **ゲーミングメニュー**: ゲーミングメニューについてはP.146「ゲーミングメニュー」
- **クイック操作**: クイック操作についてはP.148「クイック操作」
- **AQUOS Home**: 利用するホームアプリを「AQUOS Home」に切り替えたり、AQUOS Homeの設定を行ったりします。AQUOS Homeについて詳しくはP.64「AQUOS Home」

- **ジュニアモード**: 利用するホームアプリを「AQUOSジュニアホーム」に切り替えたり、目の負担軽減や端末の利用制限、緊急時の連絡設定など、お子さまが使用するとき便利な機能がまとめられています。
- **かんたんモード**: 利用するホームアプリを「AQUOSかんたんホーム」に切り替えたり、フォントサイズを特大に設定するなど、見やすい画面に設定する機能がまとめられています。
 - ・ [まとめてONにする] をタッチすると、個別設定を一括でONに設定することができます。
- **迷惑電話の対策**: 迷惑電話の対策については P.149「迷惑電話の対策」
- **Bright Keep**: Bright Keepについては P.151「Bright Keep」
- **テザリングオート**: テザリングオートについては P.151「テザリングオート」
- **インテリジェントチャージ**: インテリジェントチャージについては P.165「インテリジェントチャージ」

ロック・ホームフォトシャッフル

ロック画面／ホーム画面の壁紙がランダムに切り替わるよう設定できます。

1 ホーム画面で[>]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[ロック・ホームフォトシャッフル]

- **ロックフォトシャッフル**: ロック画面の壁紙をランダムに切り替えるか設定します。
- **ホームフォトシャッフル**: ホーム画面の壁紙をランダムに切り替えるか設定します。
- **シャッフル間隔の設定**: 壁紙が切り替わる間隔を設定します。
- **最近の写真からおすすめ**: 最近撮影した写真から魅力的な画面を自動的に選択して、壁紙に使用する機能について設定します。機能のON/OFFや、おすすめ写真の確認などできます。
- **選択した画像を確認**: 「画像を選択」欄で選択されている画像が一覧で表示され、壁紙に使用する画像を個別に設定できます。
- 「画像を選択」欄には、壁紙に使用できる画像が保存されたフォルダが表示されます。[最近の写真からおすすめ]がOFFの場合は、各フォルダからフォルダごと／画像ごと／壁紙として使用する画像を手動で選択できます。

スクロールオート

表示中のサイトなどの画面を上下方向に自動でスクロールできます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[スクロールオート]

2 項目を選ぶ

- **スクロールオート**:スクロールオートを利用するか設定します。
- **対象アプリ設定**:スクロールオートを動作させるアプリを設定します。
- **2本指でもスクロールオート**:2本の指で画面をスワイプすることで、スクロールオートを動作させるか設定します。

■ 画面の自動スクロール

1 スクロールする方向に画面をドラッグ⇒表示された矢印に指を合わせ、指を離す

- 指を離すとスクロールを開始します。
- [2本指でもスクロールオート]がONの場合、[] / []が表示されるまで2本の指でスクロールする方向に画面をドラッグしても、スクロールオートが動作します。
- 約5分間動作するとスクロールを停止します。
- スクロール速度の調整:[] / []
- スクロールの一時停止／再開:[] / []
- スクロールの停止:画面をタッチ
- スクロールオートの設定:[]

- 画面をドラッグする速度が速すぎると、矢印が表示されません。
- 画面の位置によっては、指を離しても自動スクロールしない場合があります。

Clip Now

画面右上／左上をロングタッチすることで表示中の画面を画像(スクリーンショット)として撮影できます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[Clip Now]

2 項目を選ぶ

- **Clip Now**: Clip Nowを使用するか設定します。
- **使い方ガイド**: Clip Nowについての説明を表示します。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

■ スクリーンショットの利用

1 保存したい画面を表示⇒画面右上／左上をロングタッチ

2 バイブレータが動作したら指を離す

- []まで指をスライドして離すと、スクリーンショットをキャンセルできます。

ゲーミングメニュー

ゲーミングメニューを利用すると、ゲームプレイ中の通知のブロックなど便利な機能を使用できたり、ゲームの操作にかかわる表示の設定を行えます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[ゲーミングメニュー]

2 項目を選ぶ

- **メニューを表示**: 登録したアプリの起動中、ゲーミングメニューのフローティングアイコンを表示するか設定します。フローティングアイコンをタッチして表示されるメニューについて詳しくはP.147「フローティングアイコンから表示するメニュー」
- **使い方ガイド**: フローティングアイコンから表示するメニューの使いかたを表示します。
- **検索設定**: フローティングアイコンから表示するメニューでゲームに関する情報を検索する際のキーワードや検索時の画面切り替えボタンについて設定します。
- **インテリジェントチャージ**: インテリジェントチャージについてはP.165「インテリジェントチャージ」
- **登録ゲーム設定**: インストールされている対象アプリを一覧表示します。アプリ利用時にゲーミングメニューの設定を反映するか設定します。登録(ON)したアプリは、「ゲーム個別設定」欄に表示されます。
- **インストール時に通知**: アプリをインストールしたときに「登録ゲーム設定」で登録(ON)する通知を表示するか設定します。
- **よくあるご質問**: シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。

■ 個別設定

[登録ゲーム設定]で登録(ON)したアプリは、「ゲーム個別設定」欄に表示されます。表示されているアプリをタッチすると、アプリごとの個別設定を行うことができます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[ゲーミングメニュー]

2 「ゲーム個別設定」欄のアプリを選ぶ

3 項目を選ぶ

- **動作ブロック**:登録したアプリの起動中に意図しない操作が行われないよう、無効化する動作を選択します。
- **通知ブロック**:登録したアプリの起動中に通知をブロックするか設定します。
- **着信ブロック**:登録したアプリの起動中に電話の着信通知をブロックするか設定します。
- **エッジコントロール**:タッチに反応しない範囲を画面の上下左右に設定します。
 - ・フローティングアイコンから表示するメニューでONに切り替えると、タッチに反応しない範囲を設定できます。
- **なめらかハイスピード表示**:登録したアプリの[なめらかハイスピード表示]のON/OFFを切り替えます。ゲーム起動時にフレームレートなどの表示モードを切り替えます。ゲームの起動時や終了時に画面の明るさが一時的に変化する場合があります。
- **ゲームモード設定**:選択したモードに合わせて、本機能に対応したアプリのフレームレートや消費電力などを最適化します。

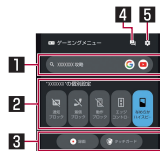
■ フローティングアイコンから表示するメニュー

[登録ゲーム設定]で登録(ON)したアプリを起動中に表示されるゲーミングメニューのフローティングアイコンをタッチすると、ゲーム画面の録画や攻略サイトの検索などができるメニューが表示されます。

1 登録したアプリの画面で[]が重なったアプリアイコンをタッチ

- メニューが表示されます。

2 メニューを利用する



1 検索

- アプリアイコンをタッチすると、選択したアプリを起動して表示されているキーワードを検索します。
- アプリアイコンがない部分をタッチすると、[検索設定]を変更できます。

2 個別設定切り替え

- 各項目をタッチすると、個別設定のON/OFFを切り替えることができます。個別設定について詳しくはP.147「個別設定」

3 ツール

- [録画]: ゲーム画面を録画します。
- [タッチガード]: タッチパネルで操作できないように設定します。
 - ・ タッチガードを解除する場合は、[

4 FAQ

- シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」内を「(アプリ名)+不具合」のキーワードで検索します。

5 個別設定

- アプリごとの個別設定ページへ遷移します。

クイック操作

 (電源キー／指紋センサー)を押したときの動作や端末の操作方法について設定します。

1 ホーム画面で[

2 項目を選ぶ

- **長押しでアプリ起動**:  (電源キー／指紋センサー)を長押しして起動するアプリを設定します。
 - ・ OFFにすると、電源メニューの表示方法が  (電源キー／指紋センサー)の長押しに変更されます。
- **2回押しでカメラの起動**:  (電源キー／指紋センサー)を2回押しで「カメラ」アプリを起動するか設定します。
- **システム ナビゲーション**: 本端末の操作方法を設定します。
ジェスチャー ナビゲーションについては  P.171「ナビゲーション モードを変更する」、3 ボタン ナビゲーションについては  P.46「ナビゲーションバー」

迷惑電話の対策

電話帳に登録されていない相手から着信したときに、注意喚起のメッセージを表示したり自動音声で応答したりするなどの迷惑電話の対策機能を利用することができます。

- 迷惑電話の対策機能を利用することで、電話帳に登録されていない相手から着信したときに、次のような対応をすることができます。
 - 通話中にお断り：通話中の画面で[お断り]をタッチすると、自動音声で電話を受けられない旨の応答をして通話を終了します。
 - 着信中にお断り：着信中の画面で[お断り]をタッチすると、自動音声で電話を受けられない旨の応答をして通話を終了します。
 - 自動でお断り：着信したときに、自動音声で応答をして相手の方の音声を録音します。自動音声の内容や応答までの時間は、[電話に出る前確認]で設定できます。

1 ホーム画面で[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[迷惑電話の対策]

2 項目を選ぶ

- **電話に出る前確認**：電話帳に登録されていない相手から着信したときに、自動音声で応答をして相手の方の音声を録音する機能について設定します。機能のON/OFFや自動音声の内容、応答までの時間を設定できます。
- **ご注意表示**：電話帳に登録されていない相手から着信したときに、着信中の画面や通話中の画面に注意喚起のメッセージと[お断り]を表示するか設定します。
- **通話録音**：通話中のすべての音声を録音するか設定します。

- **不審な会話のお知らせ**：通話中に特殊詐欺などが疑われる不審な会話があった場合、音やパイプレーションなどでお知らせするか設定します。
- **録音リスト**：録音リストについてはP.150「録音リスト」

- 通話中／着信中の画面に[お断り]が表示されていないときでも、[お断り]⇒[迷惑ストップ]と操作すると、自動音声で電話を受けられない旨の応答をして通話を終了します。この場合、電話帳に登録されている相手からの着信にも対応できます。
- 緊急通報受理機関からの着信時にも、迷惑電話の対策機能が動作することがあります。
- 着信拒否の設定を行っている場合に緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信すると、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否の設定は自動的に解除されますが、迷惑電話対策の設定は自動的に解除されません。
- 他の迷惑電話対策サービスなどをご利用の場合、複数の注意喚起が表示される場合があります。

【電話に出る前確認】について

- 新着の録音データがある場合は、通知が表示されます。タッチすると、[録音リスト]が表示されます(P.150「録音リスト」)。
- [通話音声・伝言メモ] (P.79「通話音声・伝言メモ」)を同時に設定している場合、電話帳に登録されていない相手から着信したときは、[電話に出る前確認]の設定を優先します。

【通話録音】について

- ONに設定している場合、[通話音声メモ] (P.77「通話音声メモ」)はご利用になれません。

【不審な会話のお知らせ】について

- [通話録音] をONに設定する必要があります。
- 日本語のオフライン音声認識機能を利用します。[不審な会話のお知らせ] をONに設定するとき日本語の言語パックをダウンロードする画面が表示された場合は、画面の指示に従ってデータをダウンロードしてください。

■ 録音リスト

[電話に出る前確認]、[通話録音] で録音した音声の再生や削除、エクスポートなどができます。

- 録音可能件数は[電話に出る前確認]のデータ、[通話録音]のデータを合算して最大100件、保護可能件数は合算して最大20件です。録音可能時間は[電話に出る前確認]で1件あたり最大30秒、[通話録音]で1件あたり最大60分です。

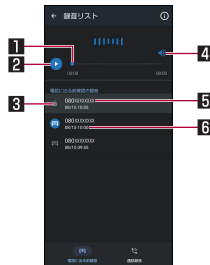
1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[迷惑電話の対策]⇒[録音リスト]

2 [電話に出る前確認]／[通話録音]

- [電話に出る前確認]／[通話録音]の録音リスト画面が表示されます。
 - ・ 録音データをロングタッチすると、件名の編集や保護／解除、音声ファイルのエクスポート、削除ができます。

3 録音データを選ぶ

- 録音データが再生されます。



録音リスト画面

1 シークバー

- ドラッグすると再生位置を変更できます。

2 再生／一時停止

3 録音データの状態を示すアイコン

- 未再生: []
- 再生済み: []
- 保護: []／[]

4 スピーカーON／OFF

5 相手の電話番号

6 録音された日時

- 録音データが録音可能件数を超えた場合は、保護されていない録音データが古い順に削除されます。

Bright Keep

画面点灯を自動で制御する設定をします。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[Bright Keep]

2 項目を選ぶ

- **持つと画面点灯**:画面消灯中に本端末を持ち上げて静止した場合、画面を点灯させるか設定します。
- **持っている間は表示をキープ**:本端末を手に持っているときは、画面が消灯しないようにするか設定します。
- **ホーム画面では早めに暗くする**:ホーム画面を表示したまま本端末を一定時間操作せず水平に置いていたとき、画面を微点灯にするか設定します。微点灯中に本端末を持ち上げると画面は点灯します。
- **ホーム画面以外では表示をキープ**:ホーム画面以外の画面を表示したまま本端末を水平に置いている間は、操作を行わなくても約15分間は画面が消灯しないようにするか設定します。

[持つと画面点灯]について

- お買い上げ時はONになっています。
- 次の場合などは、画面が点灯しないことがあります。
 - 本端末を持ったまま動いている場合(乗車中)
 - 持ち上げる前や持ち上げたあとに、本端末を動かして続けている場合
 - 垂直または水平に持ち上げた場合

[持っている間は表示をキープ]について

- [持っている間は表示をキープ]をONにして本端末を手に持っても、本端末の静止状態が続いた場合や、一定時間何も操作していない場合は画面が消灯する場合があります。

テザリングオート

設定した場所や電池残量をもとに、Wi-FiテザリングのON/OFFを自動で切り替える設定をします。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[テザリングオート]

2 項目を選ぶ

- **テザリングオート**:テザリングオートを利用するか設定します。
- **場所の設定**:Wi-FiテザリングのON/OFFを自動で切り替える場所を設定します。
 - ・ 場所は5件まで設定できます。
- **テザリングがONになる時**:設定した場所にいるときにWi-FiテザリングをONにするか、いないときにONにするか設定します。
- **充電中のみON**:テザリングオートによるWi-Fiテザリングの自動ONを、本端末の充電中のみ動作させるか設定します。
- **自動OFF**:テザリングオートによるWi-Fiテザリングの動作中、設定した電池残量以下になった場合に、Wi-Fiテザリングを自動でOFFにできます。
- **Wi-Fiテザリングの詳細設定**:Wi-Fiテザリングを手動でONにしたり、Wi-Fiテザリングの設定を行ったりします。Wi-Fiテザリングについて詳しくはP.135「テザリング」

セキュリティとプライバシー

画面ロックやアプリに許可する権限などセキュリティとプライバシーについて設定します。

- 使用状況などにより、表示される項目が異なる場合があります。その他の項目については、画面の指示に従って操作してください。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[セキュリティとプライバシー]

2 項目を選ぶ

- **アプリのセキュリティ**: アプリや本端末に不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
- **デバイスのロック解除**: 画面ロックを解除する方法を設定します。
 - ・ 画面ロック: 画面ロックの解除方法やロック動作などを設定します。
 - ・ 指紋: 指紋認証に使う指の指紋を登録します。指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。指紋認証についてはP.154「指紋認証」
 - ・ 顔認証: 顔認証に使う顔を登録します。顔を登録すると、画面ロックを顔認証でも解除できるようになります。顔認証についてはP.156「顔認証」
- **アカウントのセキュリティ**: 本端末やGoogleアカウントのセキュリティ診断やGoogleアカウントに保存されたパスワードのセキュリティ確認ができます。

- **デバイスを探す**: Googleアカウントによる遠隔操作で、本端末の位置情報を探出したり、画面ロックや[すべてのデータを消去(初期設定にリセット)]を実行できるようにするか設定します。
- **システムとアップデート**: 本端末のセキュリティ アップデート、Google Play システム アップデートの確認やバックアップの設定をします。セキュリティ アップデートについて詳しくはP.204「ソフトウェアアップデート」
- **プライバシー**: アプリに許可する権限の管理やプライバシーに関する機能の設定をします。
- **その他のセキュリティとプライバシー**: その他のセキュリティとプライバシーについてはP.158「その他のセキュリティとプライバシー」

[画面ロック]について

- 設定項目は次のとおりです。
 - なし: ロック画面を表示しません。
 - スワイプ: 画面を上からスワイプしてロックを解除するように設定します。
 - パターン: 4つ以上の点を結ぶパターンを設定します。
 - PIN: 4～16桁の数字を設定します。
 - パスワード: 4～16桁の英数字と半角記号を設定します。
 - ・ 一部の半角記号は利用できません。
- 画面ロックを[パターン]／[PIN]／[パスワード]に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。

- 画面ロックを[パターン]／[PIN]／[パスワード]に設定している場合、電源メニューに[ロックダウン]が表示されます。[ロックダウン]をタッチすると、一時的に[ロック解除延長]や指紋認証、顔認証によるロック解除を無効にし、ロック画面に通知が表示されなくなります。
- 指紋を登録している場合は指紋認証でも解除することができます。
 - ・ 指紋認証に5回連続して失敗すると、一定時間指紋によるロック解除ができなくなります。しばらくしてから再度操作するか、[画面ロック]の解除方法でロックを解除してください。
- 顔を登録している場合は顔認証でも解除することができます。
 - ・ 顔認証に3回連続して失敗すると、顔認証によるロック解除ができなくなります。[画面ロック]の解除方法でロックを解除してください。
- [パターン]／[PIN]／[パスワード]の入力を間違えると、間違えた回数に応じて一定時間ロック解除ができなくなります。
 - 5回連続:30秒間
 - 10回連続:30秒間10回連続して間違えた場合、それ以降に間違えるごとに30秒間入力できません。ロックを解除すると、カウントはリセットされます。

- 画面ロックのをタッチすると、次の項目を設定することができます。画面ロックの設定によって、表示される項目は異なります。
 - パターンを表示する: パターンの入力時の軌跡を線で表示します。
 - 画面が自動消灯してからロックまでの時間: タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
 - 電源ボタンですぐにロックする:  (電源キー／指紋センサー)を押して画面を消灯したときに、[画面が自動消灯してからロックまでの時間]で設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするか設定します。
- [パターン]／[PIN]／[パスワード]を忘れた場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

指紋認証

指紋認証は、指紋センサーを指でタッチして行う認証機能です。画面ロックの解除などを行うことができます。

■ 指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋認証は、指紋画像の特徴情報を利用して認証を行います。指紋画像の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能（指紋センサーを正しく指でタッチした際に指紋が認証される性能）はおお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけている
 - 指が乾燥している
 - 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
 - 指が泥や油で汚れている
 - 指が汗などで濡れている
 - 手荒れや、指に損傷（切傷やただれなど）がある
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本端末を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障、破損の原因となることがあります。また、センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなど先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指を離すのが早すぎると、正常に認識できないことがあります。指紋が認証されてから、指を離してください。
- 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

■ 指紋の登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。
- 読み取りに失敗する場合は、指を変えることで認証性能が改善されることがあります。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[セキュリティとプライバシー]⇒[デバイスのロック解除]⇒[指紋]

- ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOST リック]⇒[指紋センサーとPayトリガー]⇒[指紋登録]でも指紋を設定できます。

2 画面ロックの解除方法を選ぶ

- 選択した画面ロックの解除方法によって、操作は異なります。画面の指示に従って、予備の解除方法([画面ロック]の解除方法)とロック画面に表示する通知を設定してください。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定している場合は、設定した方法でロックを解除してください(※P.152「セキュリティとプライバシー」)。

3 [同意する]

4 [次へ]

5 指紋センサーを指の腹でタッチ

- 広い範囲の指紋を登録するため、指紋センサーに触れる部分を少しずつずらしながら、繰り返しタッチしてください。

6 [完了]

- 続けて別の指紋を登録する場合は、[別の指紋を登録]を選択してください。
- 画面ロックを[なし]か[スワイプ]に設定すると、登録した指紋が削除されますので、ご注意ください。

■ 指紋の管理

指紋の追加や削除、登録名の変更ができます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[セキュリティとプライバシー]⇒[デバイスのロック解除]⇒[指紋]

- ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[指紋センサーとPayトリガー]⇒[指紋登録]でも指紋を設定できます。
- [画面ロック]の解除方法でロックを解除してください。

2 指紋を管理する

- 指紋を追加: [指紋を追加]⇒画面の指示に従って操作
- 登録名の変更: 登録済みの指紋をタッチ⇒名前を入力⇒[OK]
- 登録した指紋の確認: 指紋センサーを指の腹でタッチ
 - ・ 登録した指紋がハイライト表示されます。
- 登録した指紋の削除: 登録済みの指紋の[]⇒[削除]

■ 指紋認証機能の利用

1 画面消灯中／ロック画面／指紋の認証画面で指紋センサーを指の腹でタッチ

- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、再度操作してください。
 - ・ 再度操作しても正しく認証されない場合は、[画面ロック]の解除方法でロックを解除してください。

■ Payトリガー

指紋認証で画面ロックを解除したあとも指紋センサーに触れ続けることで、設定したアプリを起動することができます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[指紋センサーとPayトリガー]

2 [Payトリガー]をONにする

- [Payトリガー]をタッチすると、起動するアプリの設定などができます。
 - 起動アプリ: 起動するアプリを設定します。
 - Payトリガーフォルダ: Payトリガーフォルダに表示するアプリを設定します。
 - 起動時にPayトリガーフォルダも開く: Payトリガーでアプリを起動したときに、Payトリガーフォルダを表示するか設定します。Payトリガーフォルダを利用すると、アプリを素早く切り替えることができます。
 - ホーム画面でいつでもPayトリガー: ホーム画面／アプリ一覧画面を表示している場合にも、指紋センサーをロングタッチすることでアプリを起動するか設定します。
-  (電源キー／指紋センサー)を長押しした場合は、[長押しでアプリ起動]で設定したアプリが起動します(※P.148「クイック操作」)。Payトリガーを利用する場合は、 (電源キー／指紋センサー)を押し込まないでください。

顔認証

顔認証は、所有者の顔を認識する認証機能です。
画面ロックの解除などを行うことができます。

■ 顔認証機能利用時のご注意

- 顔認証を最適な形で実現するために、顔の登録時に以下の点に注意してください。
 - 明るい場所で顔を登録してください。ただし逆光となる場所では顔を登録しないでください。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないでください。
 - 顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、頭を動かしたり、目を閉じたりしないようにしてください。
 - ロック画面で顔認証を行う際は、以下の点に注意してください。
 - 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスク※などで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がる場合があります。
 - 自分に似た人やモノでもロック解除されてしまう場合があります。
- ※ [マスクをしたままでも顔認証]が有効の場合、マスクを着用している顔で顔認証を行うことができます。

■ 顔の登録

顔認証に使う顔データを登録します。

- 顔は1件のみ登録できます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[セキュリティとプライバシー]⇒[デバイスのロック解除]⇒[顔認証]

2 画面ロックの解除方法を選ぶ

- 選択した画面ロックの解除方法によって、操作は異なります。画面の指示に従って、予備の解除方法([画面ロック]の解除方法)とロック画面に表示する通知を設定してください。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定している場合は、設定した方法でロックを解除してください(※P.152「セキュリティとプライバシー」)。

3 [次へ]

4 内容を確認⇒[OK]

- はじめて利用するときは、カメラのアクセス許可についての確認画面が表示されます。[アプリの使用時のみ]を設定してください。

5 登録する顔を画面に表示する

6 [有効にする]／[スキップ]

- 「マスクをしたままでも顔認証」を有効にすると、マスクを着用している顔でも認証することができます。

7 顔認証成功後の動作を選ぶ⇒[OK]

- 顔認証成功後の動作は次のとおりです。
 - ・ ロック画面のまま: ロック画面を表示します。画面を上へスワイプして画面ロックを解除してください。
 - ・ すぐにジャンプ: 自動で画面ロックを解除します。

- 画面ロックを[なし]か[スワイプ]に設定すると、登録した顔が削除されますので、ご注意ください。

■ 顔認証の管理

顔を登録済みの場合に顔データの削除などができます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[セキュリティとプライバシー]⇒[デバイスのロック解除]⇒[顔認証]

- [画面ロック]の解除方法でロックを解除してください。

2 顔認証を管理する

- 登録した顔データの削除: [顔データの削除]⇒[はい]
 - ・ 削除後、[顔データの登録]をタッチすると、顔データを登録することができます。
- マスクをしたままでも顔認証のON/OFF: [マスクをしたままでも顔認証]
- 顔認証成功後の動作の変更: [ロック画面のまま]／[すぐにジャンプ]
- 顔認証について確認: []⇒[顔認証とは]
- 注意事項の確認: []⇒[注意事項]

■ 顔認証機能の利用

1 ロック画面／顔の認証画面で本端末をインカメラに顔が映るように持つ

- 正しく認証されない場合は、[画面ロック]の解除方法でロックを解除してください。

その他のセキュリティとプライバシー

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[セキュリティとプライバシー]⇒[その他のセキュリティとプライバシー]

2 項目を選ぶ

- **ロック画面上の通知**: ロック画面に表示する通知について設定します。
- **ロック画面にメディアを表示**: メディア プレーヤーのコンローラーをロック画面に表示したままにするか設定します。
- **アプリのコンテンツ**: アプリがAndroid システムにコンテンツを送信することを許可するか設定します。
- **Android System Intelligence**: 本端末の使用状況を学習して、操作の補助や提案をする機能について設定します。
- **Google の自動入力サービス**: Google アカウントに登録した情報の確認や利用について設定します。
- **使用状況と診断情報**: 使用状況と診断情報をAndroid デバイスの利便性向上のためにGoogleに送信するか設定します。
- **ロック解除延長**: 画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているとき、信頼できる場所や信頼できるデバイスなどを確認した場合は、画面ロックをスワイプで解除するように設定します。

- **デバイス管理アプリ**: アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
- **SIM ロック**: SIM ロックについてはP.44「PINコードを設定する」
- **暗号化と認証情報**: スマートフォンの暗号化の状態を確認したり、認証情報について設定します。
- **信頼エージェント**: 画面ロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
- **アプリ固定**: 選択したアプリの画面以外が表示できないようにするアプリ固定機能について設定します。アプリの固定／解除の方法についてはP.55「アプリ使用履歴」
- **SIM の削除時に本人を確認**: eSIMの情報を消去する前に本人確認を行うか設定します。

[暗号化と認証情報]について

- 証明書を削除した場合、[信頼できる認証情報]からは証明書の参照ができなくなりますが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。
- [認証情報の消去]をタッチすると、VPNの設定も削除されます。

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[位置情報]

2 [位置情報を使用]をONにする

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[設定する]を選択してください。
- 「最近のアクセス」欄のアプリをタッチすると位置情報の権限などを確認できます。
 - ・ [すべて表示]をタッチすると一覧が表示されます。

3 項目を選ぶ

- **アプリへの位置情報の利用許可**: 位置情報の利用を許可するアプリを設定します。
- **位置情報サービス**: ロケーション履歴や現在地の共有機能などGoogleの位置情報サービスや、その他の位置情報サービスについて設定します。
 - ・ Googleの位置情報サービスの利用には、Googleアカウントの登録が必要です。

- 現在地を測位するためには、[位置情報を使用]をONに設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

安全性と緊急情報

緊急情報や緊急 SOS、緊急速報「エリアメール」などについて設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[安全性と緊急情報]

2 項目を選ぶ

- **緊急情報サービスを開く**: 「緊急情報」アプリが起動し、緊急情報サービスが利用できます。
- **医療に関する情報**: 名前や血液型など医療に関する情報を登録できます。
- **緊急連絡先**: 緊急時の連絡先を登録できます。
- **緊急 SOS**:  (電源キー／指紋センサー) をすばやく5回以上押すことで、設定した緊急通報先に自動で発信する緊急 SOS 機能について設定します。
- **災害情報アラート**: 周辺の自然災害や公衆衛生危機に関する通知を受けるか設定します。
- **緊急位置情報サービス**: 緊急位置情報サービスを利用するか設定します。
- **地震アラート**: 周辺で地震が検知されたときに、推定されるマグニチュードと現在地からの距離を知らせる警報を受け取るか設定します。
- **不明なトラッキングアラート**: 他人のBluetoothトラッカーを検出したときに通知を受け取る機能について設定します。
- **緊急速報メール**: 緊急速報「エリアメール」の設定を行います。緊急速報「エリアメール」については P.93「緊急速報「エリアメール」」

ドコモのサービス／クラウド

ドコモサービスの設定を行います。

1 ホーム画面で[☐☐]⇒[設定]⇒[ドコモのサービス／クラウド]

2 項目を選ぶ

- **dアカウント設定**: ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、端末に登録されている生体情報(指紋)を利用したdアカウント認証の設定もできます。
- **ドコモアプリデータバックアップ**: 各アプリのデータバックアップ／復元の設定やデータがバックアップされたアプリの一覧を確認します。
- **ドコモアプリ管理**: ドコモが提供するアプリのアップデートなどについて設定します。
- **おすすめアプリ**: おすすめアプリの設定や過去に受信した通知の確認ができます。
- **おすすめ使い方ヒント**: おすすめ使い方ヒントの設定や過去に表示されたヒントの確認ができます。
- **ドコモ位置情報**: イマドコサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。
- **端末情報送信**: 端末情報をドコモが管理するサーバへ送信するか設定します。
- **会員情報／プロフィール情報設定**: ドコモサービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を確認したり、変更したりできます。
- **ドコモ初期設定**: ドコモサービスの初期設定を行います。
- **USBデバッグ切替**: ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。

- **オープンソースライセンス**: オープンソースライセンスを表示します。

- ドコモのサービス／クラウドに表示されるアプリの中には無効にすることができるものがあり、無効にされたアプリは、ドコモのサービス／クラウドには表示されなくなる場合があります。
- ドコモ提供のアプリを新しくダウンロードすると、ドコモのサービス／クラウドに表示される場合があります。

パスワードとアカウント

アカウントの追加や設定、データの同期、アカウントに保存したパスワードなどについて設定します。

- Googleなどのアカウントの設定についてはP.42「Googleなどのアカウントの設定を行う」

データの同期

本端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、本端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

自動同期するとき

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[パスワードとアカウント]

2 [アプリデータを自動的に同期する]⇒[OK]

- 同期する項目の設定: アカウントを選ぶ⇒[アカウントの同期]⇒項目を選ぶ

- 本体メモリの電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

手動同期するとき

- [アプリデータを自動的に同期する]がOFFのときは、選択した項目を手動で同期できます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[パスワードとアカウント]

2 アカウントを選ぶ⇒[アカウントの同期]

3 同期する項目を選ぶ

Digital Wellbeing と保護者による使用制限

本端末の利用習慣を一目で確認し、オフラインで過ごす時間を作ります。また、本端末の使用制限について設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[Digital Wellbeing と保護者による使用制限]

- 端末の使用制限について設定する場合は、[保護者による使用制限を設定する]をタッチし、画面の指示に従って操作してください。

2 項目を選ぶ

- **ダッシュボード**: 端末の利用時間や受信した通知の数などを確認できます。また、アプリの利用時間に制限を設けることができます。
- **おやすみ時間モード**: 指定した時間に画面をグレースケールにしたり、サイレント モードを設定したりします。
- **フォーカス モード**: アプリを一時停止できます。
- **通知を管理**: アプリごとに通知を許可するか設定します。
- **サイレント モード**: サイレント モードについては  P.138「サイレント モード」
- **前方注意**: 歩きながらの本端末の使用をやめるよう促す機能について設定します。
- **アプリの一覧にアイコンを表示**: アプリ一覧画面に Digital Wellbeing と保護者による使用制限のアイコンを表示するか設定します。

Google™

Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[Google]

2 項目を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。

- 使用状況などにより、表示される項目が異なる場合があります。その他の項目については、画面の指示に従って操作してください。

1 ホーム画面で[] (アプリ一覧)⇒[設定]⇒[ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- **TalkBack**: TalkBackについてはP.164「TalkBack」
- **選択して読み上げ**: 端末に表示される文字を選択して読み上げる機能について設定します。
- **表示サイズとテキスト**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズ、文字のサイズや太さなどを設定します。
- **色と動き**: ダークモードなど画面の色味やアニメーションなどについて設定します。
- **さらに輝度を下げる**: 本端末で設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くする機能について設定します。
- **拡大**: 画面を拡大するショートカットと拡大の方法について設定します。
- **スイッチ アクセス**: Bluetoothや外部接続端子に接続した外部機器による本端末の操作について設定します。
- **ユーザー補助機能メニュー**: ユーザー補助機能へのショートカット機能について設定します。
- **タイミングの調節**: ロングタッチを検出する間隔やメッセージの表示時間など操作のタイミングについて設定します。

- **システム操作**: 本端末の操作方法や画面の回転方法など本端末の操作について設定します。
 - ・ [電源ボタンで通話を終了]をONにすると、[] (電源キー/指紋センサー)で通話を終了できます。
- **バイブレーションとハプティクス**: 着信時や通知時、タッチ時などのバイブレータの動作について設定します。
- **自動字幕起こし**: 字幕を表示する機能について設定します。
- **字幕の設定**: 字幕の表示について設定します。
- **音声による説明**: 対応するサービスを利用中に、画面の表示内容の説明を音声で読み上げるか設定します。
- **点滅による通知**: 通知を受信したときやアラームが鳴ったときに、モバイルライトや画面を点滅させる設定をします。
- **補聴器**: 市販の補聴器との接続について設定します。
- **音声の調整**: 音声再生時のチャンネルや左右の音量バランスについて設定します。
- **ユーザー補助機能のショートカット**: ユーザー補助機能にすばやくアクセスするショートカットについて設定します。
- **テキスト読み上げの設定**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

[電源ボタンで通話を終了]について

- [画面消灯(スリープ)] (P.140「ディスプレイ」)の設定に従って画面が消灯した場合は、[] (電源キー/指紋センサー)を押すと画面が点灯します。画面点灯中に[] (電源キー/指紋センサー)を押すと、通話が終了します。

[補聴器]について

- [Bluetooth を使用] (P.180「Bluetooth機能の利用」)がONのときに表示されます。

TalkBack

文字の読み上げ機能や音とバイブレーションで操作に反応する機能など、画面を見ずに端末を操作するためのユーザー補助機能について設定します。

- 「TalkBack」について詳しくは、ホーム画面で[⠠⠠⠠]（アプリー覽）⇒[設定]⇒[ユーザー補助]⇒[TalkBack]⇒[設定]⇒[チュートリアルとヘルプ]と操作し、内容をご確認ください。

1 ホーム画面で[⠠⠠⠠]（アプリー覽）⇒[設定]⇒[ユーザー補助]⇒[TalkBack]

2 [TalkBackを使用]をONにする

3 項目を選ぶ

- **TalkBackのショートカット**：「TalkBack」をON/OFFするショートカットについて設定します。
- **設定**：読み上げの音声や「TalkBack」の操作方法などを設定します。

バッテリー

電池の利用状況の確認や設定、長エネスイッチの起動などをを行います。

1 ホーム画面で[⠠⠠⠠]⇒[設定]⇒[バッテリー]

- 電池残量などが表示されます。

2 項目を選ぶ

- **健康度**：内蔵電池の充電能力がお買い上げ時に対してどのくらい残っているか、電池の状態（健康度）を確認できます。
- **バッテリー使用量**：電池使用量の確認やアプリごとの電池の使用状況を確認できます。
 - ・ アプリをタッチすると、アプリごとの電池使用量を設定できます。電池使用量の設定について詳しくはP.167「アプリ」
- **長エネスイッチ**：長エネスイッチについてはP.165「長エネスイッチ」
- **インテリジェントチャージ**：インテリジェントチャージについてはP.165「インテリジェントチャージ」
- **バッテリー残量**：ステータスバーに電池残量をパーセント表示するか設定します。

長エネスイッチ

本端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[バッテリー]⇒[長エネスイッチ]

- [長エネスイッチの使用]をタッチすると、電池残量にかかわらず長エネスイッチのON/OFFを設定できます。

2 項目を選ぶ

- **スケジュールの設定**: [残量に応じて自動で ON]に設定すると、設定した電池残量以下になった場合に、長エネスイッチを自動でONにできます。
- **90% 充電されたら OFF にする**: 充電中に電池残量が90%を超えた場合、充電を終了しても自動的に長エネスイッチがONに戻らないようにするか設定します。
- **画面の明るさを最小にする**: 長エネスイッチがONの場合に、画面の明るさを最小値にするか設定します。

- 充電を開始すると長エネスイッチは一時的にOFFになり、充電を終了すると自動的にONに戻ります。

インテリジェントチャージ

充電による電池の劣化を抑える設定をします。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[バッテリー]⇒[インテリジェントチャージ]

- ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[AQUOSトリック]⇒[インテリジェントチャージ]と操作しても、インテリジェントチャージを設定できます。

2 項目を選ぶ

- **最大充電量を変更**: 充電中に電池残量が90%付近に達したとき、充電を停止してダイレクト給電に切り替えるか設定します。
- **画面消灯中のみ充電**: 充電中に画面が点灯しているときは、充電を停止してダイレクト給電にするか設定します。
 - ・ 電池残量がかかなり減っている場合、画面点灯中でも一定量まで充電します。
- **電池の健康度**: 内蔵電池の充電能力がお買い上げ時に対してどのくらい残っているか、電池の状態(健康度)を確認できます。

- ダイレクト給電中は、充電を停止して充電器から直接電力を供給します。
- ダイレクト給電中も通常通り端末をご利用いただけます。

ストレージ

本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

●保存データの管理についてはP.176「ファイル操作」

1 ホーム画面で[>[設定]>[ストレージ]

- 本体メモリの使用容量／合計容量などが表示されます。
- microSDカードやUSBメモリを取り付けている場合は、[このデバイス]が表示されます。タッチすると、microSDカードやUSBメモリの使用容量／合計容量などを表示できます。
- microSDカードやUSBメモリのマウント解除:[このデバイス]>microSDカード／USBメモリを選ぶ>[>[取り出し]
- microSDカードやUSBメモリをマウント:[このデバイス]>microSDカード／USBメモリを選ぶ>[>[マウント]

microSDカード／USBメモリのフォーマット

microSDカードやUSBメモリを初期化します。

- 1 ホーム画面で[>[設定]>[ストレージ]
- 2 [このデバイス]>microSDカード／USBメモリを選ぶ
- 3 [>[フォーマット]>[フォーマット]>[フォーマット]
- 4 [完了]

●初期化を行うと、microSDカードやUSBメモリの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

アプリ

アプリについて設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[アプリ]

2 項目を選ぶ

- **デフォルトのアプリ**:デフォルトで起動するアプリを設定します。
- **利用時間**:アプリの利用時間を確認したり、アプリごとに使用できる1日の最大時間などを設定したりできます。
- **クラウドメディアアプリ**:「フォト」アプリでクラウドにバックアップした画像や動画を、他のアプリなどと共有する設定をします。
- **使用されていないアプリ**:数か月使用されていないアプリを表示します。
- **アプリのバッテリー使用量**:電池使用量の設定をアプリごとに行います。
- **特別なアプリアクセス**:システム設定の変更など、特別なアプリアクセスについて設定します。

[アプリのバッテリー使用量]について

- アプリの電池使用量を[制限]に設定すると、バックグラウンドで起動しているアプリの電池の使用が制限されます。アプリが正しく動作しない、通知が遅れるなどの意図しない現象が発生する場合があります。

アプリ情報

アプリの名前やメモリの使用状況、バージョンなどの確認、有効/無効の設定、アンインストールなどができます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[アプリ]

2 [XX 個のアプリをすべて表示]⇒アプリを選ぶ

- 「最近開いたアプリ」欄に利用するアプリが表示されている場合は、アプリを選択してアプリ情報を確認することもできます。

■ アプリの無効化

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにアプリ一覧画面に表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[アプリ]

2 [XX 個のアプリをすべて表示]⇒アプリを選ぶ

3 [無効にする]⇒[アプリを無効にする]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効化

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[アプリ]

2 [XX 個のアプリをすべて表示]⇒アプリを選ぶ

3 [有効にする]

デバイス情報

デバイス情報の確認ができます。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[デバイス情報]

2 項目を選ぶ

- **デバイス名**: デバイス名を変更できます。
- **電話番号 (SIM スロット 1) / 電話番号 (SIM スロット 2)**: 電話番号を確認できます。
- **法的情報**: 著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **規制ラベル**: 技術基準適合証明書などの情報を確認できます。
- **電池の状態**: 電池の状態を確認できます。
- **SIM ステータス (SIM スロット 1) / SIM ステータス (SIM スロット 2)**: SIM の情報を確認できます。
- **モデル**: モデル名やシリアル番号などを確認できます。
- **EID**: EID を確認できます。
 - ・ eSIM をご利用の場合は、[EID (SIM スロット 2)] と表示されます。
- **IMEI (SIM スロット 1) / IMEI (SIM スロット 2)**: IMEI 情報を確認できます。
- **Android バージョン**: Android バージョンなどを確認できます。
- **AQUOS UX バージョン**: AQUOS UX のバージョンを確認できます。
- **IP アドレス**: IP アドレスを確認できます。
- **Wi-Fi MAC アドレス**: Wi-Fi MAC アドレスを確認できます。
- **デバイスの Wi-Fi MAC アドレス**: デバイスの Wi-Fi MAC アドレスを確認できます。

- **Bluetooth アドレス**: Bluetooth アドレスを確認できます。
- **稼働時間**: 端末の稼働時間を確認できます。
- **ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。

システム

画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。

1 ホーム画面で[言語]⇒[設定]⇒[システム]

2 項目を選ぶ

- **言語**: 言語についてはP.169「言語」
- **キーボード**: キーボードについてはP.170「キーボード」
- **ジェスチャー**: ジェスチャーについてはP.170「ジェスチャー」
- **日付と時刻**: 日付と時刻についてはP.172「日付と時刻」
- **バックアップ**: Googleアカウントを利用して、アプリのデータや本端末の設定などを自動的にバックアップするか設定します。
- **システム アップデート**: ソフトウェアアップデートを行います。ソフトウェアアップデートについてはP.204「ソフトウェアアップデート」
- **データ引継**: データ引継についてはP.172「データ引継」
- **仮想メモリ**: ストレージの一部を仮想メモリとして使用するか設定します。
- **リセット オプション**: リセット オプションについてはP.174「リセット オプション」
- **電源メニュー**: 電源メニューを表示します。

言語

画面に表示される言語や、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面で[言語]⇒[設定]⇒[システム]⇒[言語]

2 項目を選ぶ

- **システムの言語**: 表示言語を選択します。
- **アプリの言語**: アプリごとに表示する言語を切り替えます。
- **地域別の設定**: デフォルトで使用する単位などを設定します。
- **音声入力**: 音声入力に使用するエンジンについて設定します。
- **デバイスによる認識**: 本端末で認識する音声について設定します。
- **テキスト読み上げの設定**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

[アプリの言語]について

- 対応したアプリのみ利用できます。

キーボード

文字入力について設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[システム]⇒[キーボード]

2 項目を選ぶ

- **画面キーボード**: 入力ソフトについて設定します。
- **物理キーボード**: Bluetoothなどで接続したキーボードについて設定します。
- **スペルチェック**: スペルチェックについて設定します。
- **単語リスト**: 任意の単語を単語リストに登録します。
- **ポインタの速度**: ポインタの速度を設定します。

[物理キーボード]について

- キーボードを接続しているときに表示されます。

[スペルチェック]について

- 日本語には対応していません。

ジェスチャー

 (電源キー／指紋センサー)を押したときの動作など、端末の操作について設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[システム]⇒[ジェスチャー]

2 項目を選ぶ

- **カメラをすばやく起動**:  (電源キー／指紋センサー)を2回押して「カメラ」アプリを起動するか設定します。
- **ナビゲーションモード**: 本端末の操作方法を設定します。
ジェスチャー ナビゲーションについてはP.171「ナビゲーション モードを変更する」、3 ボタン ナビゲーションについてはP.46「ナビゲーションバー」
- **片手モード**: ジェスチャー操作やユーザー補助ボタンを利用して画面を下方方向に縮小したり、通知を表示したりできます。
- **電源ボタンを長押し**:  (電源キー／指紋センサー)を長押ししたときの動作を設定します。
 - ・ [電源ボタン メニュー]を選択すると、電源メニューが  (電源キー／指紋センサー)の長押しで表示されるようになります。

- **着信音をミュート**:[電源ボタンを長押し]で[電源ボタン メニュー]を選択したときに、 (電源キー/指紋センサー)と (+)を同時に押して、マナーモードを設定できるようになります。

- ・ [バイブレーション]を選択するとマナーモード(バイブ)に、[ミュート]を選択するとマナーモード(ミュート)に設定されるようになります。

■ ナビゲーション モードを変更する

本端末の操作方法を変更できます。

1 ホーム画面で⇒[設定]⇒[システム]⇒[ジェスチャー]⇒[ナビゲーション モード]

2 [ジェスチャー ナビゲーション]

- ナビゲーションバーは非表示になります。

- お買い上げ時は[3 ボタン ナビゲーション]に設定されています。

ジェスチャー操作

ホーム画面の表示やアプリの切り替えなどの操作を画面のスイープで行うことができます。

動作	操作
ホーム画面の表示	画面下端から画面中央へ向けてスワイプ
1つ前の画面に戻る	画面右端/画面左端から画面中央へ向けてスワイプし、画面にが表示されたら指を離す
アプリ使用履歴画面の表示	画面下端から画面中央へ向けてスワイプし、指を止めたあと離す
アシスタントアプリの起動	画面右下/左下から画面中央へ向けてスワイプ ● 起動するアプリについては「P.47「アシスト機能の利用」」
1つ前に使用していたアプリを表示	画面下端から右にスワイプ

- ホーム画面で⇒[設定]⇒[システム]⇒[ジェスチャー]⇒[ナビゲーション モード]⇒[ジェスチャー ナビゲーション]のをタッチすると、アシスタントアプリを起動するジェスチャーのON/OFFを切り替えたり、1つ前の画面に戻るジェスチャーの感度を設定したりできます。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[システム]⇒[日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **日時を自動的に設定**: 日時を自動的に補正するか設定します。
- **日付**: 日付を手動で設定します。
- **時刻**: 時刻を手動で設定します。
- **自動設定**: ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- **位置情報を使用する**: 位置情報に基づいてタイムゾーンを自動で補正するか設定します。
- **タイムゾーン**: タイムゾーンを手動で設定します。
- **言語 / 地域で一般的な形式を使用する**: ユーザーの言語 / 地域の標準に合わせ、時刻の表示形式を自動的に切り替えるか設定します。
- **24時間表示**: 12時間制 / 24時間制を手動で切り替えます。

[日時を自動的に設定]をONにしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

データ引継

別のAndroid端末からBluetooth機能を利用して電話帳データを取り込んだり、従来の携帯電話からmicroSDカードを経由してデータを取り込んだりできます。

- 取り込むことができるデータは次のとおりです。

- 電話帳
- SMS※
- カレンダー※
- メモ帳※
- エモパー※

※microSDカード経由で取り込み可能です。

- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

■ Bluetooth経由で電話帳データを取り込み

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[システム]⇒[データ引継]

2 [データ取り込み]⇒[Bluetooth経由で電話帳データを取り込み]

3 [次へ]

4 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする⇒[次へ]

- 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。

5 取り込み元の端末を選ぶ

6 [開始]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。
- 連絡先へのアクセス許可を有効にするなど、取り込み元の端末で操作が必要な場合は行ってください。

7 [次へ]

8 [追加登録]／[削除して登録]⇒[OK]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

9 [OK]

■ SDカード経由でデータを取り込み

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[システム]⇒[データ引継]

2 [データ取り込み]⇒[SDカード経由でデータを取り込み]

3 [取り込む]

4 取り込むデータカテゴリを選ぶ⇒取り込むバックアップファイルを選ぶ⇒[追加登録]／[削除して登録]

- データの保存に関する確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

5 [完了]

- 電池残量が少ないときは取り込みできません。
- エモパーは追加登録できません。[追加登録]を選択しても、既存のデータが削除されますので、ご注意ください。

■ バックアップファイルの設定・管理

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[システム]⇒[データ引継]

2 [:]⇒[設定]

3 項目を選ぶ

- **バックアップファイルの整理**:保存されているバックアップデータを削除できます。
- **結果画面閲覧**:最新のバックアップファイルの取り込みの結果を表示します。

リセット オプション

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[システム]⇒[リセット オプション]

2 項目を選ぶ

- **モバイル ネットワークの設定をリセットする**: モバイルネットワークの設定をリセットします。
- **Bluetooth と Wi-Fi のリセット**: BluetoothとWi-Fiの設定をリセットします。
- **アプリの設定をリセット**: アプリに設定した内容をリセットします。
- **eSIM を消去**: eSIMの情報を削除します。
- **すべてのデータを消去(初期設定にリセット)**: 本体メモリ内のすべてのデータをリセットします。

[モバイル ネットワークの設定をリセットする]について

- [eSIM を消去]を有効にすると、eSIMの情報も同時に消去されます。

[すべてのデータを消去(初期設定にリセット)]について

- [SDカード内データを消去]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。
- [eSIM を消去]を有効にすると、eSIMの情報も同時に消去されます。

- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - システムやアプリのデータ、設定値
 - ダウンロードしたアプリ
 - プリインストールされているアプリのデータの一部
 - Googleアカウント

お困りのときは

「よくあるご質問」の確認や設定項目の検索など、お困りのときに利用できる機能がまとめられています。

1 ホーム画面で[>[設定]>[お困りのときは]

2 項目を選ぶ

- **よくあるご質問**: シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
- **設定項目を検索**: 検索入力欄にキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- **使いこなしガイド**: シャープのサイトに接続し、本端末を使いこなすための各種情報やコンテンツを確認できます。
- **セルフチェック**: 症状や機能を選択して、端末の診断を行います。セルフチェックの詳細についてはP.175「セルフチェック」
- **電源メニュー**: 電源メニューを表示します。

■ セルフチェック

1 ホーム画面で[>[設定]>[お困りのときは]>[セルフチェック]

- セーフモードで再起動:[>[セーフモードで再起動]>[OK]

2 [診断する]

3 [症状から選ぶ]/[診断したい箇所を選ぶ]

- [ストレージを確保する]をタッチすると、アプリが一時的に使用しているキャッシュを削除して、空き容量を確保します。
- [よくあるご質問]をタッチすると、シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。

4 項目を選ぶ

- [診断したい箇所を選ぶ]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[>をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止:[スキップ]>[診断中止]
- 診断項目のスキップ:[スキップ]>[スキップ]

7 [診断を終了する]

- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

ファイル管理

ストレージ構成

■ 本体メモリ(内部ストレージ)

本端末内にデータを保存できます。

- 本体メモリのストレージ名とパスは次のとおりです。
 - ・ ストレージ名: 内部ストレージ
 - ・ パス: /storage/emulated/0
- お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。
 - ・ 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
Audiobooks	オーディオブックなどが保存されます。
DCIM	カメラで撮影した静止画や動画が保存されます。
Documents	テキストデータなどが保存されます。
Download	Chromeなどでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。

Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。
Recordings	録音されたデータなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

■ microSDカード(外部ストレージ)

本端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- microSDカードについてはP.35「microSDカード」

ファイル操作

本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理（フォルダの作成やフォルダ／ファイルの名称変更、削除、移動、コピーなど）ができます。また、データを削除して本体メモリの空き容量を増やすことができます。

- ここでは、「Files」アプリでの操作について説明します。

1 ホーム画面で[Google]⇒[Files]

- 最近使用したファイル、カテゴリ、ストレージ デバイスなどが表示されます。
- microSDカードを取り付けている場合は、「ストレージ デバイス」欄に[SD カード]が表示されます。

2 「ストレージ デバイス」欄からストレージを選ぶ

- データ一覧画面が表示されます。

■ フォルダを作成

- 1 データ一覧画面で[⋮]⇒[新しいフォルダを追加]
- 2 フォルダ名を入力⇒[フォルダを作成]

■ フォルダ名／ファイル名を変更

- 1 データ一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [⋮]⇒[名前を変更]
- 3 フォルダ名／ファイル名を入力⇒[OK]

■ フォルダ／ファイルを削除

- 1 データ一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [⋮]⇒[完全に削除]⇒[削除]

■ フォルダ／ファイルを移動／コピー

- 1 データ一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [⋮]⇒[移動]／[コピー]
- 3 移動先／コピー先で[ここに移動]／[ここにコピー]

■ ファイルを検索

- 1 ホーム画面で[Google]⇒[Files]
- 2 [🔍]
- 3 検索するキーワードを入力⇒[🔍]

■ 本体メモリの空き容量を増やす

不要なデータや使用していないアプリなどを削除して、本体メモリの空き容量を増やすことができます。

- 1 ホーム画面で[Google]⇒[Files]
- 2 [≡]⇒[削除]
- 3 空き容量を増やす方法を選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

Bluetooth®機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- 対応バージョンについてはP.209「主な仕様」

■対応プロファイル(対応サービス)

- プロファイルとは、Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。本端末は次のプロファイルに対応しています。
 - HSP:Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)※1
 - HFP:Hands Free Profile(ハンズフリープロファイル)※2
 - A2DP:Advanced Audio Distribution Profile(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)※3
 - AVRCP:Audio/Video Remote Control Profile(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)※3
 - HID:Human Interface Device Profile(ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル)※4
 - OPP:Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)※5
 - SPP:Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)※6
 - PBAP:Phone Book Access Profile(フォンプブックアクセスプロファイル)※7
 - PAN:Personal Area Networking Profile(パーソナルエリアネットワークプロファイル)※8

- HOGP:HID Over GATT Profile(エイチアイディーオーバーガットプロファイル)※9

- ※1 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ※2 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※4 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※5 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※6 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※7 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※8 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetooth テザリングを行うこともできます。
- ※9 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。

- Bluetooth機器の取扱説明書もご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
 - 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
 - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。

Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetooth/パスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1～16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[接続設定]⇒[接続の詳細設定]⇒[Bluetooth]

2 [Bluetooth を使用]をONにする

3 [新しいデバイスとペア設定]

4 Bluetooth機器を選ぶ⇒[ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetooth/パスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- [Bluetooth を使用]をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、本体設定の[接続設定]を表示しておいてください。

- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求/接続要求

2 ペア設定画面で[ペア設定する]

- ステータスバーに[]が表示された場合はステータスバーを下にドラッグ⇒[ペアに設定して接続]⇒[ペア設定する]と操作してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetooth/パスキーを入力する場合があります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の管理

1 ホーム画面で[Bluetooth]⇒[設定]⇒[接続設定]

- 接続中／接続解除中のBluetooth機器が表示されます。
 - ・ [すべて表示]をタッチすると、登録済みのBluetooth機器を一覧で表示します。

2 Bluetooth機器を選ぶ

- [Bluetooth]が表示されている場合は、[Bluetooth]をタッチしてください。

3 Bluetooth機器を管理する

- 利用する機能をタッチして、ON／OFFを切り替えることができます。
- 名称変更: [編集]⇒名前を入力⇒[名前を変更]
- 接続／接続解除: [接続]／[接続を解除]
- 登録解除: [削除]⇒[このデバイスとのペア設定を解除]

■ 本端末の名称変更

相手のBluetooth機器に表示される本端末の名称を変更できます。

- [Bluetooth を使用]をONにしてから設定してください。

1 ホーム画面で[Bluetooth]⇒[設定]⇒[接続設定]⇒[接続の詳細設定]⇒[Bluetooth]

2 [デバイス名]

3 名前を入力⇒[名前を変更]

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例: 静止画のとき

1 ホーム画面で[フォト]

2 送信する静止画をロングタッチ

3 [共有]⇒[Bluetooth]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

4 受信側のBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

1 送信側のBluetooth機器からデータ送信

2 ステータスバーを下にドラッグ

3 データの着信通知をタッチ⇒[承諾]

4 ステータスバーを下にドラッグ

5 データの受信通知をタッチ⇒受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。

FeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能が本端末でご利用いただけます。

- [NFC／おサイフケータイ]でNFCを利用するときの設定ができます(☞P.136「接続の詳細設定」)。

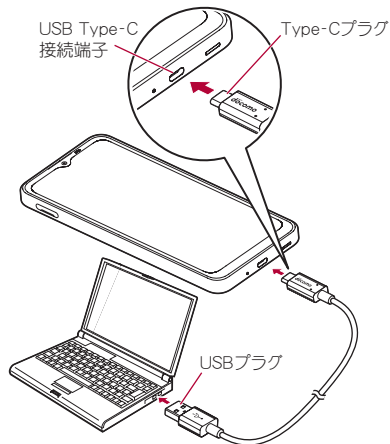
外部機器接続

パソコンなどとの接続

本端末とパソコンなどを接続することで、本端末または相手機を充電したり、本体メモリまたはmicroSDカードのデータを転送したりできます。

USBケーブル A to C 02(別売)を使って接続する場合は、次の操作を行います。

- 1 USBケーブル A to C 02のType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
 - 2 USBケーブル A to C 02のUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む
 - 画面下部に「USB の設定」が表示されたときは、USB接続の使用方法を選択してください。この場合、本端末はデバイスに設定されています。
 - 3 ステータスバーを下にドラッグ⇒[このデバイスを USB で充電中]／[USB で接続されたデバイスを充電しています]
- 「USB の設定」画面が表示されます。
 - ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[接続設定]⇒[USB]と操作しても、「USB の設定」画面を表示できます。



パソコンと接続する場合

4 「USB のコントロール」欄でデバイス側を選ぶ

- **接続済みのデバイス**: 接続済みの相手端末をデバイスに設定します。
- **このデバイス**: 本端末をデバイスに設定します。

- 接続する相手機によっては[このデバイス]から[接続済みのデバイス]に切り替えることができません。この場合、本端末はデバイスに設定されています。

- ・ Role Swap対応機器を市販の両プラグがType CのUSBケーブルで接続した場合は、[接続済みのデバイス]に切り替えることができます。この場合、相手機をホスト／本端末をデバイスにして相手機から本端末のストレージ(本体メモリまたはmicroSDカード)のデータを操作したり、本端末をホスト／相手機をデバイスにして本端末から相手機のストレージのデータを操作できます。

5 「USB の接続用途」欄でUSB接続の使用方法を選ぶ

- **ファイル転送**: MTP対応の相手機と本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。また、Android Auto対応機器と接続する場合に使用します。
- **USB テザリング**: USB テザリングについてはP.135「テザリング」
- **MIDI**: 端末をMIDI入力に使用します。
- **写真や動画の転送(PTP)**: PTP対応の相手機と本体メモリまたはmicroSDカードの間で静止画、動画を転送します。
- **充電のみ**: 端末の充電のみ利用できます。
- 「USB のコントロール」欄で[このデバイス] (本端末がデバイス)を選択した場合に設定できます。
[接続済みのデバイス]に設定している場合は、相手機(相手機側で[このデバイス]に設定)で操作してください。

6 利用が終わったら、USBケーブル A to C 02を取り外す

- 本端末に対応するUSBケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 一度に大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- データのやりとりをしているときは、USBケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- Windows 10／Windows 11以外のOSでの動作は、保証していません。

Role Swap対応機器を接続した場合の充電について

- USBの設定画面で[接続デバイスの充電]をONに設定すると相手機を充電することができます。

本端末に保存された動画の転送について

- USBの設定画面で[動画を AVC に変換]をONに設定すると、本端末に保存された動画を転送するときに、動画の形式を自動でH.264(AVC)形式に変換することができます。

プリントサービスによる印刷／保存

印刷用アプリ(プラグイン)を利用して画像を印刷したり、PDF形式で保存したりできます。

例: フォトを利用するとき

1 フォトの画像表示画面で[]⇒[印刷]

2 各項目を設定

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルをUSB Type-C接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。

- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください(P.166「ストレージ」)。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

キャスト

キャスト対応のテレビなどに端末の画面と音声を出力します。

- 接続機器側の操作については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[接続設定]⇒[接続の詳細設定]⇒[キャスト]

2 接続する機器を選ぶ

- キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン([])が表示される場合があります。
- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、出力ができない場合があります。
- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- 出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどを障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご覧ください。
- Miracast®機器との接続には対応していません。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- 1 ホーム画面で[☰]⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[VPN]⇒[+]
- 2 各項目を設定⇒[保存]

VPNの接続

- 1 ホーム画面で[☰]⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[VPN]
- 2 接続するVPNを選ぶ
- 3 VPNの接続情報を入力⇒[接続]

VPNの切断

- 1 ホーム画面で[☰]⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[VPN]⇒画面の指示に従って操作

海外利用

海外滞在中に本端末で電話をかけたり、国際ローミング時やネットワークサービスなどについて設定することができます。

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。国際ローミング(WORLD WING)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.docomo.ne.jp/service/world/roaming/>

- 国番号・国際電話アクセス番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

○:利用可能

主な通信サービス	5G	LTE	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○	○
パケット通信※	○	○	○	○	○

※ローミング時にパケット通信を利用するには、[データローミング]をONにしてください(※P.188「データローミング」)。

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用にならないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、ステータスパネルで確認できます(※P.54「ステータスパネルの利用」)。

海外でご利用になる前に

■ ご出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

ご契約・料金について

- 事前にWORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。ご利用いただいている料金プランによってはお申し込みが不要です。
- 海外でのご利用料金は日本国内とは異なります。
- 詳細については、ご利用いただいている料金プランのホームページをご確認ください。

充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

■ 事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、[遠隔操作設定]を開始にする必要があります。渡航先で[遠隔操作設定]を行うこともできます。日本国内から P.82「ネットワークサービス」、海外から P.193「ネットワークサービス(海外)」
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

■ 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者／ネットワークに接続されます。

接続について

[ネットワークを自動的に選択]をONに設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します(P.189「通信事業者の設定」)。

海外で利用するための設定

データローミング

海外でパケット通信を行うためには、[データローミング]をONにする必要があります。

1 ホーム画面で[>[設定]>[ネットワークとインターネット]>[SIM]>SIMを選ぶ

2 [データローミング]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

優先ネットワークタイプ

使用するネットワークを設定します。

1 ホーム画面で[>[設定]>[ネットワークとインターネット]>[SIM]>SIMを選ぶ

2 [優先ネットワークタイプ]

3 項目を選ぶ

- **5G/4G/3G/GSM**: 5G/4G(LTE)/3G/GSM/GPRSネットワークを利用します。
- **4G/3G/GSM**: 4G(LTE)/3G/GSM/GPRSネットワークを利用します。
- **3G/GSM**: 3G/GSM/GPRSネットワークを利用します。
- **GSM**: GSM/GPRSネットワークを利用します。

通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[ネットワークとインターネット]⇒[SIM]⇒SIMを選ぶ

2 [ネットワークを自動的に選択]をOFFにする

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。

3 通信事業者のネットワークを選ぶ

- 設定後、別の通信事業者のネットワークを選ぶ場合は[ネットワークを選択]をタッチし、通信事業者のネットワークを選びます。

[ネットワークを自動的に選択]について

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。
- ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、[モバイルデータ]をOFFにし(P.132「SIM」)、再度操作してください。
- 自動でネットワークを切り替える場合は、ONに設定してください。

日付と時刻

日付と時刻の[日時を自動的に設定]、[自動設定]をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイムゾーンは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻についてはP.172「日付と時刻」

お問い合わせ

- 本端末やnanoSIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国内に割り当てられている「国際電話アクセス番号」が必要です。

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外(日本含む)に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国内から他の国・地域へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国・地域へ国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で[🌐]⇒[📞]

2 「+」(「0」をロングタッチ)⇒国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」(日本)を入力してください。

3 [音声通話]

4 通話が終了したら[🔴]

国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国内から他の国・地域へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用して国際電話をかけることができます。

- あらかじめ[ダイヤル アシスト]をONに設定する必要があります(※P.193「ダイヤル アシスト」)。
- あらかじめ相手先の電話番号を電話帳に登録しておいてください(※P.83「電話帳の登録」)。
 - ・一般電話の場合は、地域番号(市外局番)も含めて登録する必要があります。
- 地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

1 ホーム画面で[📞]⇒[📞]

2 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力します。
- 入力した電話番号に一致する連絡先が候補として表示されます。

3 電話をかける連絡先の[📞]

- 画面下部の[音声電話]をタッチすると、国際ダイヤルアシストは機能しません。

4 通話が終了したら[🔴]

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 ホーム画面で[📞]⇒[📞]

2 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号(市外局番)、相手先電話番号の順に入力します。

3 [音声通話]

4 通話が終了したら[🔴]

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。
+ (「0」をロングタッチ)-81(日本の国番号)-先頭の「0」を除いた電話番号

滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国・地域からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[🌐]

2 [⋮]⇒[設定]⇒[通話アカウント]⇒SIMを選ぶ

3 [ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

4 [海外設定]

5 項目を選ぶ

- **ローミング時着信規制**: 国際ローミング中に着信を規制することができます。
- **ローミング着信通知**: 国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- **ローミングガイダンス**: 国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
- **ネットワークサービス**: 滞在国外で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。ネットワークサービスについてはP.193「ネットワークサービス(海外)」

ダイヤル アシスト

渡航先から発信する際、国番号の候補を自動的に追加する国際ダイヤルアシストについて設定します。

1 ホーム画面で[🌐]

2 [⋮]⇒[設定]

3 [ダイヤル アシスト]

4 項目を選ぶ

- **ダイヤル アシスト**：国際ダイヤルアシストを利用するか設定します。
- **デフォルトの居住国**：国際ダイヤルアシストで自動的に追加される国番号を選択します。

ネットワークサービス(海外)

滞在国内で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ、[遠隔操作設定]を開始にする必要があります(☎P.82「ネットワークサービス」)。
- 海外から操作した場合は、滞在国内から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[🌐]

2 [⋮]⇒[設定]⇒[通話アカウント]⇒SIMを選ぶ

3 [ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

4 [海外設定]

5 [ネットワークサービス]

6 目的のサービスを選ぶ

- **遠隔操作(有料)**：遠隔操作を開始するか設定します。
- **番号通知お願いサービス(有料)**：発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。
- **ローミング着信通知(有料)**：国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。
- **ローミングガイダンス(有料)**：国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。
- **留守番電話サービス(有料)**：電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします(お申し込み必要)。
- **転送でんわサービス(有料)**：かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます(お申し込み必要)。

7 画面の指示に従って操作

8 音声ガイダンスに従って操作

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

海外でパケット通信を利用した場合

- [データローミング]をOFFに設定してください(☞P.188「データローミング」)。

帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- 優先ネットワークタイプを[5G/4G/3G/GSM]に設定してください(☞P.188「優先ネットワークタイプ」)。
- [ネットワークを自動的に選択]をONに設定してください(☞P.189「通信事業者の設定」)。

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(※P.204「ソフトウェアアップデート」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

■ 電源

症状	チェック項目
本端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。(※P.37「充電」)
画面が動かない、電源が切れない	•  (電源キー/指紋センサー) +  (+) を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。 • 画面が消灯したあとに指を離すと、電源が切れます。 • 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。
ソフトウェアアップデートに失敗する(画面が動かない、再起動を繰り返す)	• アップデート実施後、ホーム画面まで起動できていない状態であれば、以前のソフトウェアに戻すことで、本端末を復旧できる場合があります。(※P.205「注意事項」)

■ 充電

症状	チェック項目
充電ができない	- アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリースocketに正しく差し込まれていますか。 - アダプタと本端末が正しくセットされていますか。P.38「ACアダプタで充電」 - ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。P.38「ACアダプタで充電」 - USBケーブル A to C 02(別売)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 - 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。P.37「充電時のご注意」 - インテリジェントチャージの「最大充電量を変更」や「画面消灯中のみ充電」をONに設定していませんか。P.165「インテリジェントチャージ」 - NTTドコモが指定したアダプタで充電していますか。指定したアダプタで充電しても充電ができない場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

■ 端末操作

症状	チェック項目
操作中・充電中に熱くなる	操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。P.37「充電時のご注意」

症状	チェック項目
電池の使用時間が短い	- 圏外の状態が長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。圏外が続く場所では電源を切るか、機内モードを設定してください。P.39「電源を切る」、P.129「ネットワークとインターネット」 - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。P.209「主な仕様」 - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」(P.207)をご確認ください。 - 使用していないアプリは終了してください。P.55「アプリ使用履歴」 - 使用していない無線機能はOFFにしてください。P.130「Wi-Fi」、P.180「Bluetooth機能の利用」 - 長エネスイッチを利用すると、電池の消費を抑えることができます。P.165「長エネスイッチ」

症状	チェック項目
タッチしたり、キーを押したりしても動作しない	端末の電源が切れていませんか。P.39「電源を入れる」
タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い	本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。P.166「ストレージ」
nanoSIMカードが認識しない	nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。P.33「nanoSIMカード」
時計がずれる	長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日時を自動的に設定]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。P.172「日付と時刻」
端末動作が不安定	お買い上げ後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード※で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。

症状	チェック項目
アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻発に起こるなど)	- 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。P.167「アプリの有効化」 - アプリの動作に必要な権限を設定していますか。P.49「アプリの権限を設定する」 - アプリの電池使用量を[制限]に設定していませんか。P.167「アプリ」

※セーフモードとはお買い上げ時に近い状態で起動させる機能です。

・セーフモードの起動方法

電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でロック画面が表示されるまで $\square$ (—)を押し続けてください。

※電源を入れた状態で $\square$ (電源キー/指紋センサー) + $\square$ (+) $\Rightarrow$ [電源を切る] / [再起動] をロングタッチ $\Rightarrow$ [OK] と操作しても、セーフモードで再起動ができます。

また、セルフチェックからも、セーフモードで再起動ができます。P.175「セルフチェック」

※セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。

※セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。

- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- ウィジェットによっては消去される場合があります。
- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■ 通話

症状	チェック項目
発信ができない	機内モードを設定していませんか。P.129「ネットワークとインターネット」
着信音が鳴らない	- 着信音の音量を最小に設定していませんか。P.137「音とバイブレーション」 - 機内モード、マナーモードを設定していませんか。P.129「ネットワークとインターネット」、P.138「マナーモード」 - 着信拒否を設定していませんか。P.81「着信拒否の設定」 - 通話音声・伝言メモの応答時間設定を「0秒」に設定していませんか。P.79「通話音声・伝言メモ」 - 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していませんか。P.82「ネットワークサービス」

症状	チェック項目
通話ができない (場所を移動しても[4]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)	• nanoSIMカードを入れ直すか、電源を入れ直してください。P.33「nanoSIMカード」、P.39「電源を入れる／切る」 • eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの設定についてはP.133「eSIMのSIM情報を設定する」 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[4]」を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 着信拒否など着信制限を設定していませんか。P.81「着信拒否の設定」 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

症状	チェック項目
ディスプレイが暗い	• 画面が消灯するまでの時間を短く設定していませんか。P.140「ディスプレイ」 • 画面の明るさを変更していませんか。P.140「ディスプレイ」 • 「明るさの自動調節」をONに設定していませんか。ONにしている場合は、周囲の明るさによって変わります。P.140「ディスプレイ」 • 「長エネスイッチの使用」をONに設定していませんか。P.165「長エネスイッチ」

■ 音声

症状	チェック項目
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 通話音量を変更していませんか。P.77「通話音量調節」

■ メール

症状	チェック項目
メールを自動で受信しない	• パスワードとアカウントの設定でGmailが自動的に同期しないように設定していませんか。P.161「データの同期」

■ カメラ

症状	チェック項目
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。P.98「カメラをご利用になる前に」
モバイルライト点灯時に撮影した静止画や動画が白っぽくなる	カメラのレンズ周辺にケースやカバー、指などがあると、モバイルライトの光が反射して撮影した静止画や動画に悪影響を与える場合があります。

■ おサイフケータイ

症状	チェック項目
おサイフケータイが使えない	- おまかせロックを設定すると、おサイフケータイの機能が利用できなくなります。 [NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF]を設定していませんか。P.111「NFC／おサイフケータイの機能をロックする」 - 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。P.31「各部の名称と機能」、P.111「対向機にかざす際の注意事項」

■ 海外利用

症状	チェック項目
海外で本端末が使えない(電波マークが表示されている場合)	「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込みをされていますか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込み状況をご確認ください。P.187「国際ローミング(WORLD WING)の概要」
海外で本端末が使えない([4]が表示されている場合)	- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。P.187「国際ローミング(WORLD WING)の概要」 - ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。優先ネットワークタイプを[5G／4G／3G／GSM]に設定してください。[ネットワークを自動的に選択]をONに設定してください。P.188「優先ネットワークタイプ」、P.189「通信事業者の設定」 - 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。P.39「電源を入れる／切る」
海外でデータ通信ができない	[データローミング]をONにしてください。P.188「データローミング」

症状	チェック項目
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス (WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症状	チェック項目
データ転送が行われない	- USB HUBや変換プラグを使用していませんか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。 P.183「パソコンなどとの接続」 「USB の接続用途」欄で正しく用途を選択していますか。P.183「パソコンなどとの接続」
microSDカードに保存したデータが表示されない	microSDカードを取り付け直してください。 P.35「microSDカード」
画像が正しく表示されない	画像データが壊れている場合は黒色の画面が表示されるなどして、画像が正しく表示されません。

Bluetooth機能

症状	チェック項目
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない	Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。P.180「Bluetooth機能の利用」
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。P.39「電源を入れる／切る」

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
xx通を受信しましたが全てのメールを受信できませんでした	何らかの原因ですべてのメールを受信できなかった場合に表示されます。
空き容量わずか	本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。
応答が無いため接続が中断されました	メールやSMSを利用するとき、回線設備が故障、または回線が非常に混み合っている場合に表示されます。しばらくたってから送信し直してください。
サーバーエラー 送信できませんでした	
接続エラー 送信できませんでした	
送信先サーバーが対応していません	
通信エラー しばらくたってから送り直してください	

エラーメッセージ	説明／対処方法
しばらくお待ちください(音声サービス)	音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。
しばらくお待ちください(データサービス)	パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。
指紋認証センサーの汚れを取り除いて、もう一度お試しください	指紋の読み取りに失敗した場合に表示されます。
指紋を認識できません	
センサーにしっかりと押し当ててください	
毎回、指を置く位置を少し変えてください	
指を離してから、もう一度センサーに触れてください。	
通信サービスはありません	- nanoSIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。P.33「nanoSIMカード」 - eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの設定についてはP.133「eSIMのSIM情報を設定する」

エラーメッセージ	説明／対処方法
モバイルネットワークが利用できません。	有効な優先ネットワークタイプに設定されているかご確認ください。P.188「優先ネットワークタイプ」

ソフトウェアアップデート

ソフトウェアアップデート※とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェアアップデートの種類としては以下の4つがあります。

※本端末ではシステム アップデートと表示されます。

- Android OSバージョンアップ
Android OSおよびプリインストールされているアプリや端末機能のバージョンアップを行うことで、機能・操作性・品質等が向上し、本端末をより快適に安心してご利用いただけます。
- 新機能追加
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- 品質改善
プリインストールされているアプリや端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- セキュリティパッチの更新
セキュリティパッチの更新を行うことで、脆弱性を対処するためのソフトウェアを適用することができます。適用することで本端末をより安心してご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェアアップデートの内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

ソフトウェアアップデートを行う

■ 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの操作を行います。

- 更新をお知らせする通知から
本端末のステータスバーから通知を選択し、更新を開始します。
- 定期的に表示される画面から
本端末が更新可能になると、確認画面が表示される場合があります。その確認画面にて動作を選択いただき、更新を進めてください。
- 本体設定から
ホーム画面で[]⇒[設定]⇒[システム]⇒[システム アップデート]と操作し、更新を開始します。
※ アップデートが不要な場合、[お使いのシステムは最新の状態です]と表示されます。

■ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- 更新ファイルのダウンロードとインストールの前に通知もしくは確認画面が表示される場合があります。いずれかが表示された場合は、表示されている手順に従いシステム アップデートを進めてください。

※ 通信料金が発生すると表示される場合がありますが、アクセスポイント (APN) を docomo に設定し、docomo をモバイルデータ通信の優先設定にした場合、本アップデートにおいて通信料金は発生しません。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、通知もしくは確認画面が表示されます。[今すぐ再起動] を選択すると、すぐに本端末が再起動します。[2:00以降に再起動] を選択すると、夜間に自動で再起動されます。

※ 再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内に[後で行う]をタッチしてください。

3 更新完了の通知

- 更新が完了すると、本端末に完了画面が表示されます。
- 更新の種類が Android OS バージョンアップの場合は、更新完了後にお客様自身でインストールされたアプリのアップデートを確認してください。アップデートを行わないと動作が不安定になることや、機能が正常に動作しなくなることがあります。

■ 注意事項

- ソフトウェアアップデート完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェアアップデート中、本端末固有の情報(機種や製造番号、ソフトウェアバージョン情報など)が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェアアップデート以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェアアップデートには再起動が伴い、その間は電話の発着信を含めすべて機能をご利用いただけません。
- ソフトウェアアップデートは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。各アプリの持つデータについて、バックアップ可能な範囲はアプリにより異なります。各アプリでのバックアップ方法は、各アプリの提供元にご確認ください。
- 国外でソフトウェアアップデートを行う場合は、Wi-Fi 接続が必要です。

- 以下の場合はソフトウェアアップデートができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 日付・時刻を正しく設定していないとき
 - 必要な電池残量がないとき
 - 内部ストレージに必要な空き容量がないとき
 - 国際ローミング中
- ソフトウェアアップデート中は電源を切ったりしないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- サポート期間中にソフトウェアアップデートに失敗し、画面が動かなくなったり、再起動を繰り返すなどで、ホーム画面まで起動できない場合は、以前のソフトウェアに戻すことで、本端末を復旧できる場合があります。
《復旧操作手順》
 - ① □(電源キー/指紋センサー) + □(+) を8秒程度同時に長押し
 - ② 画面消灯後、キーから指を離す(電源が切れて画面が消灯した状態になります)
 - ③ □(電源キー/指紋センサー) + □(+) + □(←) を同時に長押し(この後バイブレータが3回動作します)
 - ④ 1回目のバイブレータが動作(長押しから約3秒後)したら、□(電源キー/指紋センサー)から指を離す
 - ⑤ 2回目のバイブレータが動作(長押しから約8秒後)したら、□(+) + □(←) から指を離す
 - ⑥ 3回目のバイブレータが動作する※以前のソフトウェアで本端末が起動し、ホーム画面が表示されます。
※上記の操作を行っても復旧できない場合は、ご相談ください。
お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

- サポート期間終了後にソフトウェアアップデートが配信される場合がございますが、ソフトウェアアップデートについてはお客様の責任において実施してください。

保証とアフターサービス

保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 本端末の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください(付属品がある場合は対象に含みます)。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。

■ 無料修理規定

1. 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。(代替品と交換となる場合があります。)
2. 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
 - (1) 改造(ソフトウェアの改造も含む)による故障、損傷。
 - (2) 落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
 - (3) 火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
 - (4) 本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。

(5) 本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。

(6) ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。

3. 本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only on Japan.
4. 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
6. 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。
7. 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

＜販売元＞

株式会社NTTドコモ

東京都千代田区永田町2-11-1

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧ください。
なってお調べください。

■ 修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付けいたします。
なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

内蔵電池の交換は

内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくとつれて内蔵電池が膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換は、有料修理となります。

部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上で受け付けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただきます場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

主な仕様

■ 本体

サイズ		高さ:約167mm、幅:約76mm、厚さ:約8.8mm
重量		約190g
ディスプレイ	サイズ	約6.6インチ
	種類	TFT
	解像度 (ピクセル数 横×縦)	HD+(720×1612)
内蔵メモリ		RAM:4G/バイト ROM:64G/バイト※1
バッテリー容量	バッテリー容量	5000mAh
	ワット時定格値	18.81Wh
連続待受時間 (静止時) ※2※3※4	4G(LTE) 約610時間	
連続通話時間 ※4※5	4G (LTE)	LTE (VoLTE) 約2250分
		LTE (VoLTE (HD+)) 約2010分
充電時間※6		ACアダプタ 08:約130分
無線LAN	対応規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠 (IEEE802.11n対応周波数帯:2.4GHz/5GHz)
Bluetooth※7	バージョン	5.3

イヤホンマイク端子	端子径	3.5mmイヤホンジャック
	極数	4極
カメラ	有効画素数	標準カメラ:約5010万画素 インカメラ:約800万画素
伝言メモ/通話音声メモ	録音可能件数	最大50件
	1件あたりの最大録音可能時間	最大60分

- ※1 メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」(P.166)をご参照ください。
- ※2 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ※3 連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※4 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以上になることがあります。
- ※5 連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
- ※6 PPS(Programmable Power Supply)に対応しています。
- ※7 Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種SH-52Eの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.930W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.775W/kg(※3)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.docomo.ne.jp/product/sar/>

シャープ株式会社のホームページ

<https://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) Information of Mobile Phones

This model SH-52E mobile phone complies with the Japanese technical regulations and the international guidelines regarding human exposure to radio waves.

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves (※1) and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones is 2.0 W/kg.

The highest SAR value for this mobile phone when tested for use near the head is 0.930 W/kg (※2), and that when worn on the body is 0.775 W/kg (※3). There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit. The actual value of SAR of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations and the international guidelines.

The World Health Organization has stated that “a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.docomo.ne.jp/english/product/sar/>

SHARP Corporation Website:

<https://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/> (in Japanese only)

- ※1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
- ※2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
- ※3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.292 W/kg* and when worn on the body is 1.280 W/kg*.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Regulatory information

In some countries/regions including Europe*, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.

Please check the local laws and regulations beforehand.

* Belgium [BE], Bulgaria [BG], Czech Republic [CZ], Denmark [DK], Germany [DE], Estonia [EE], Ireland [IE], Greece [EL], Spain [ES], France [FR], Croatia [HR], Italy [IT], Cyprus [CY], Latvia [LV], Lithuania [LT], Luxembourg [LU], Hungary [HU], Malta [MT], Netherlands [NL], Austria [AT], Poland [PL], Portugal [PT], Romania [RO], Slovenia [SI], Slovakia [SK], Finland [FI], Sweden [SE] and United Kingdom (Northern Ireland) [UK (NI)], Switzerland [CH], Liechtenstein [LI], Iceland [IS], Norway [NO].

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

**Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-52E is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<https://jp.sharp/k-tai/>**

Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,
1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

● Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD VIII	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 7	Tx 2502.5 to 2567.5 MHz Rx 2622.5 to 2687.5 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz
LTE Band 28	Tx 704.5 to 746.5 MHz Rx 759.5 to 801.5 MHz
LTE Band 38	Tx 2572.5 to 2617.5 MHz Rx 2572.5 to 2617.5 MHz
LTE Band 40	Tx 2302.5 to 2397.5 MHz Rx 2302.5 to 2397.5 MHz
n28	Tx 703.0 to 748.0 MHz Rx 758.0 to 803.0 MHz
n78	Tx / Rx 3300 to 3800 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz

WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 2422 to 2462 MHz (BW: 40 MHz)
WLAN 5 GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW: 80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW: 80 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW: 20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW: 40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW: 80 MHz)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1 (1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1 (1561.098 MHz)

● Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD VIII	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 7	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 28	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 38	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 40	+23 dBm (Power Class3)
n28	+23 dBm (Power Class3)
n78	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+16 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+19 dBm
WLAN 5 GHz	+19 dBm
NFC	0 dB μ A/m at 10 m

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 1.18 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.76 W/kg.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> on FCC ID APYHRO00331.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & the Regulatory labels under the Settings menu.

CAUTION

Use only optional parts specified by NTT DOCOMO.

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use any other devices not specified or devices with unclear manufacturers, distributors, or specifications.

Do not throw the handset into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Do not dispose of the handset in ordinary garbage.

May cause fires, burns, bodily injury, etc. It may also cause damage to the environment. Take the unnecessary handset to a sales outlet such as a docomo Shop or follow the instructions by a local institution that handles used handsets.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 35% and 85%. (including charging)

Refer to the following for details on using it at a bathroom.

※P.24“SH-52Eが有する防水／防塵性能でできること”

Do not point the mobile light directly at someone's eyes.

Especially when you use it for young children, keep sufficient distance from them.

May cause eyesight damage. Accident may result from being dazzled or shocked.

■ Bluetooth function

- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc.

Inquiries

General Inquiries

● Contact Us⇒

NTT DOCOMO website

<https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/> (In Japanese only)



General Inquiries

<docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish.

From DOCOMO mobile phones

(No prefix) 15770 (toll free)

※Only from a DOCOMO mobile phone or Smartphone.

From land-line phones

0120-005-250 (toll free)

※May not be accessible from some IP phones.

From DOCOMO mobile phones

(No prefix) 151 (toll free, in Japanese only)

※Only from a DOCOMO mobile phone or Smartphone.

From land-line phones

0120-800-000 (toll free, in Japanese only)

※May not be accessible from some IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

 (No prefix) 113 (toll free, in Japanese only)

※ Only from a DOCOMO mobile phone or Smartphone.

From land-line phones

 0120-800-000 (toll free, in Japanese only)

※ May not be accessible from some IP phones.

- Please confirm the phone number before you dial.
- For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or check the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website and contact.
- For online repair acceptance service, refer to DOCOMO website.

NTT DOCOMO website

<https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/repair/> (In Japanese only)



Inquiries from overseas (In case of loss, theft, unconnected, etc.)

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

Display “+” on the screen

-81-3-6832-6600
(toll free)

(to enter “+”, touch and hold “0”.)

※ You can call using international call access code instead of “+”.

From land-line phones

International call access code
for the country you stay

-81-3-6832-6600
(charges apply)

※ You are charged a call fee to Japan.

※ For international call access codes, refer to DOCOMO website.

- Please confirm the phone number before you dial.
- If you lose your handset or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the handset.
- If the handset you purchased is damaged, bring your handset to a repair service specified by DOCOMO after returning to Japan.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国再輸出規制の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「WCDMA」、「FOMA」、「dメニュー」、「dマーケット」、「dアカウント」、「d払い」、「おサイフケータイ」、「LIVE UX」、「my daiz」、「WORLD WING」、「公共モード」、「WORLD CALL」、「おまかせロック」、「エリアメール」、「イマドコサーチ」、「マチキャラ」、「eトリセツ」、「dフォト」、「危険です、歩きスマホ。」、「オフィスリンク」、「おサイフケータイ」ロゴ、「ドコモ留守電」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「dmarket」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「iD」ロゴ、「dカード」ロゴ、「d払い」ロゴ、「スマホマナーマーク」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- +メッセージは、株式会社NTTドコモ、KDD株式会社、ソフトバンク株式会社の登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。

- Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, Wi-Fi Direct®, Miracast®, Wi-Fi Protected Access® (WPA) は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。WPA2™, WPA3™, Wi-Fi Enhanced Open™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。
- 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。利用条件は利用規約（ディズニー）をご覧ください。
- Facebook および Facebook ロゴ は Meta Platforms, Inc. の商標または登録商標です。
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<https://www.openssl.org>)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ M を搭載しています。
「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- LDAC および LDAC ロゴ は ソニー株式会社の商標です。

LDAC

- 本製品の音声合成ソフトウェアには、HOYA 株式会社 MD 部門 ReadSpeaker SBU の「ReadSpeaker」を使用しています。
「ReadSpeaker」は、ReadSpeaker B. V. の商標です。

- 本製品で使用しているクラウド音声認識技術は、フェアリーデバイズ株式会社の mimi® powered by NICT を使用しています。
- mimi® はフェアリーデバイズ株式会社の登録商標です。
- この製品は、Sasken communication Technologies Limited が開発したプロトコルスタックを使用して開発されました。
- Google, Google ロゴ, Android, Google Home, Google Home ロゴ, Google Play, Google Play ロゴ, Gmail, Gmail ロゴ, Google カレンダー™, Google カレンダー ロゴ, Google マップ™, Google マップ ロゴ, Google Chrome™, Google Chrome ロゴ, Chromebook, Google 音声検索™, Google 音声検索 ロゴ, YouTube, YouTube ロゴ, YouTube Music ロゴ, Google ドライブ, Google ドライブ ロゴ, Google 検索, Google 検索 ロゴ, Google レンズ, Google レンズ ロゴ, Google フォト™, Google フォト ロゴ, Google アシスタント, Google アシスタント ロゴ, Google TV™, Google TV ロゴ, Google One, Google One ロゴ, Google ニュース, Google ニュース ロゴ, Fitbit™, Fitbit ロゴ, Google Meet™, Google Meet ロゴ, Android Auto は、Google LLC の商標です。

- 「AQUOS／アクオス」、「AQUOS Home」、「AQUOSかんたんホーム」、「AQUOSジュニアホーム／AQUOS Junior Home」、「My AQUOS」、「AQUOSトリック」、「Bright Keep」、「オートナイト／Auto night」、「エモパー／emopa」、「エモパーメモ」、「エモパーヘルスケア」、「エモパーク／emopark」、「クリップナウ／Clip Now」、「ロックフォトシャッフル」、「長エネスイッチ」、「リッチカラーテクノロジーモバイル／Rich color technology Mobile」、「リラックスビュー／Relax View」、「なめらかハイスピード表示」、「アウトドアビュー」、「からだメイト」、「楽ともリンク」、「Payトリガー」、「インテリジェントチャージ」、「AQUOS」ロゴはシャープ株式会社の商標または登録商標です。



- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<https://www.mpegla.com>をご参照ください。
- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
 - Windows 11は、Microsoft® Windows® 11(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で
[製品]⇒[設定]⇒[デバイス情報]⇒[法的情報]⇒[サードパーティ ライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL) に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<https://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

索引

名前から探す

あ

アイコンの見かた	52
相手からの電話のかけかた	192
アウトドアビュー	140
アカウント設定	117
アカウントのセキュリティ	152
明るさの自動調節	140
明るさのレベル	140
空き容量確認	80
アクセス ポイント名	132
新しいデバイスとペア設定	136
新しい連絡先のデフォルト アカウント	86
あなたについて	119
アプリ	
サイレント モード	138
本体設定	167
アプリアイコン上の通知ドット	139
アプリアイコンの形	143
アプリ一覧	67
アプリ一覧画面	62
アプリ一覧画面の管理	62
アプリ固定	158
アプリ情報	167
アプリ使用履歴	55

アプリ内データ全件削除	117
アプリの一覧にアイコンを表示	162
アプリの権限を設定する	49
アプリの言語	169
アプリの購入	108
アプリのコンテンツ	158
アプリのセキュリティ	152
アプリの設定をリセット	174
アプリの通知	139
アプリのデータ使用量	132
アプリのバッテリー使用量	167
アプリへの位置情報の利用許可	159
アラーム	
スケジュールの設定	117
時計	114
アラームとその他の割り込み	138
アラームの音量	137
暗号化と認証情報	158
安全上のご注意(必ずお守りください)	7
安全性と緊急情報	159
安全チェック	96
イーサネット テザリング	135
位置情報	159
位置情報サービス	159
位置情報付加	105
位置情報を使用する	172
医療に関する情報	159
色と動き	163
印刷	136
インストール時に通知	146
インテリジェントチャージ	165
インポート	86

インポートとエクスポート	117
上スワイプ操作設定	61
英語ガイド	83
エクスポート	86
エッジコントロール	147
エモバー	119
エモバー選択	119
エモバー使い方ガイド	120
エモバーの記憶	120
エモバーの話題	119
エモバーへの話しかけ方	120
エモバーヘルスケア	119
エモバーメモ	119
遠隔操作設定	83
遠隔操作(有料)	193
応答時間設定	80
応答メッセージ確認	80
大きな時計表示	141
オートHDR	104
オートナイト	104
オープンソースライセンス	160
お困りのときは	175
おサイフケータイ	109
「おサイフケータイ対応サービス」の利用	110
おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって	110
お支払い方法	96
おすすめアプリ	160
おすすめ機能の紹介	120
おすすめ使い方ヒント	160
おすすめのアプリを表示	67
お問い合わせ	190
音とバイブレーション	

通話設定／その他	81
本体設定	137
オフィスリンク設定	83
主な仕様	209
おやすみ時間	116
おやすみ時間モード	162
音声入力	169
音声による説明	163
音声の調整	163
音声の録音	105

か

会員情報／プロフィール情報設定	160
海外でご利用になる前に	187
海外で利用可能なサービス	187
海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける	191
海外利用設定	
スケジュールの設定	117
電話帳を設定	86
開始曜日	117
ガイド線	104
会話	139
顔認証	156
顔フォーカス	
静止画撮影の設定	104
動画撮影の設定	105
拡大	163
拡張通知	139
各部の名称と機能	31
画質とデータ量	105

風切り音低減	105
仮想メモリ	169
片手モード	170
稼働時間	168
壁紙設定	61
壁紙とスタイル	142
壁紙の設定	66
壁紙の変更	142
カメラスタンバイ	105
カメラについて	98
カメラの設定	104
カメラモード保持	105
カメラをご利用になる前に	98
カメラをすばやく起動	170
画面キーボード	170
画面消灯(スリープ)	140
画面消灯中のみ充電	165
画面上のタップも記録する	49
画面の明るさを最小にする	165
画面の色温度	140
画面の自動回転	140
画面表示/アイコン	52
画面ロックの音	137
からだメイト	122
かんたんモード	144
キーボード	170
帰国後の確認	194
規制ラベル	168
起動画面	117
機内モード	129
機能のショートカットの利用	66
機能利用中の操作	46

基本設定	140
基本操作	45
基本動作について	119
機密性の高い通知	139
黄味の強さ	142
キャスト	185
キャッチホン	82
共有	85
緊急 SOS	159
緊急位置情報サービス	159
緊急情報サービスを開く	159
緊急速報「エリアメール」	93
緊急速報「エリアメール」を受信する	93
緊急速報メール	
安全性と緊急情報	159
通知	139
緊急通報	74
緊急連絡先	159
クイック設定の持続時間	138
クイック操作	148
クイック返信	81
クラウド設定	117
クラウドメディアアプリ	167
クラウドメニュー	86
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	210
ゲーミングメニュー	146
ゲームモード設定	147
結果画面閲覧	173
言語	
Chromeの設定	97
システム	169
健康度	164

言語 / 地域で一般的な形式を使用する	172
検索エンジン	96
検索設定	146
公共モード(電源OFF)設定	83
公式アカウント	92
公式アカウント機能を利用する	92
公衆電話着信拒否	81
構内IP電話設定	131
声でアクション	119
国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける	191
国際電話(WORLD CALL)	75
国際ローミング(WORLD WING)の概要	187
国際ローミングの設定	192
ご注意表示	149
このデバイス	183

さ

災害情報アラート	159
最近の写真からおすすり	144
最大充電量を変更	165
サイトの設定	97
サイトの表示	94
サイレント モード	138
削除	
通話履歴の利用	79
電話帳	85
撮影画面の明るさを上げる	105
撮影画面の見かた	100
さらに輝度を下げる	163
ジェスチャー	170

時刻	172
地震アラート	159
システム	169
システム アップデート	169
システム操作	163
システムとアップデート	152
システム ナビゲーション	148
システムの言語	169
自動OFF	151
自動字幕起こし	
音とバイブレーション	137
ユーザー補助	163
自動設定	172
字幕の設定	163
指紋認証	154
写真	103
写真サイズ	104
写真や動画	92
写真や動画の転送(PTP)	184
シャッフル間隔の設定	144
週間天気表示設定	117
終日設定	117
住所やその他の情報	96
充電	37
充電時の音とバイブレーション	137
充電中のみON	151
充電のみ	184
祝日データ更新	117
ジュニアモード	144
省エネファインダー	105
使用されていないアプリ	167
使用状況と診断情報	158

証明書をインストール	131
ショートカット	
ロック画面	141
ロック画面の設定	142
ショートカットを作成	85
初期設定	41
人物	138
信頼エージェント	158
スイッチ アクセス	163
スクリーンショットの撮影	48
スクリーン セーバー	140
スクリーン レコード	49
スクロールオート	145
スケジュール	
サイレント モード	138
スケジュール	116
リラククスビュー	142
スケジュールの設定	165
ステータスバーにサイレント 通知を表示しない	139
ステータスパネルの利用	54
ストップウォッチ	116
ストレージ	166
ストレージ構成	176
すばやく起動	105
すべてのデータを消去(初期設定にリセット)	174
すべて表示	136
スペルチェック	170
スレッドを削除する	92
スロービデオ	103
スロービデオ動画の再生	107
静止画の撮影	103
世界時計	115

セキュリティとプライバシー	152
接続済みのデバイス	183
接続設定	136
接続の詳細設定	136
設定	164
設定項目を検索	175
設定メニュー	128
設定リセット	106
セルフイー反転	104
セルフタイマー表示	105
セルフチェック	175
選択した画像を確認	144
選択して読み上げ	163
前方注意	162
その他のセキュリティとプライバシー	158
その他	92
ソフトウェアアップデート	204

た

ダークモード	140
対向機にかざす際の注意事項	111
滞在国外(日本含む)に電話をかける	190
滞在国内に電話をかける	191
滞在先で電話を受ける	192
対象アプリ設定	145
タイトル設定	117
タイマー	115
タイミングの調節	163
タイムゾーン	172
タイムラプス	103

ダイヤル アシスト	193	通知ドットに件数表示	67
ダイヤルパッドの操作音	137	通知のアイコンのみ表示	141
ダウンロード	97	通知の音量	137
タッチボード	162	通知のスヌーズを許可する	139
タッチ / クリック操作音	137	通知の表示オプション	138
タッチパネルの操作	45	通知不可能着信拒否	81
単語リスト	170	通知ブロック	147
誕生日色設定	117	通知履歴	139
誕生日表示設定	117	通知を管理	162
端末情報送信	160	ツールバーショートカット	97
地域別の設定	169	通話アカウント	82
知的財産権について	219	通話音声・伝言メモ	79
着信音	137	通話音声・伝言メモの設定	80
着信音の音量	137	通話設定／その他	81
着信音ミュート用のショートカット	137	通話中の操作	76
着信音を設定	85	通話と SMS	129
着信音をミュート	171	通話の音量	137
着信拒否の設定	81	通話の設定	132
着信通知	82	通話モード設定	132
着信ブロック	147	通話履歴	78
注意事項	120	通話履歴の利用	79
長エネスイッチ	165	通話録音	149
ちらつき防止(縞模様を軽減)	106	使い方ガイド	
通信事業者の設定	189	Clip Now	146
通知		ゲーミングメニュー	146
Chromeの設定	96	使いこなしガイド	175
+メッセージの設定を変更する	92	ディスプレイ	140
本体設定	139	データ移行	125
通知で画面を ON にする	141	データ使用量の警告と制限	133
通知ドット		データセーバー	129
AQUOS Home	67	データの同期	161
docomo LIVE UX	61	データ引継	172

データリセット	124	転送でんわサービス(有料)	193
データローミング	188	電池の健康度	165
テーマ	97	電池の状態	168
テーマアイコン	143	点滅による通知	139
テーマカラー・背景	92	通知	139
テキスト読み上げの設定		ユーザー補助	163
言語	169	電話帳	83
ユーザー補助	163	電話帳の確認／利用	84
テザリング	135	電話帳の登録	83
テザリングオート	151	電話帳を設定	86
テザリングがONになる時	151	電話について	72
デバイス管理アプリ	158	電話に出る前確認	149
デバイス コントロールを使用	141	電話番号	168
デバイス情報	168	電話番号をコピー	79
デバイスとアプリの通知	139	電話を受ける	75
デバイスによる認識	169	電話をかける	72
デバイスの Wi-Fi MAC アドレス	168	動画サイズ	105
デバイスのロック解除	152	動画の撮影	104
デバイス名	168	同期を ON にする	96
デバイスを探す	152	統合	85
デフォルトのアプリ	167	動作ブロック	147
デフォルトのアラーム音	137	登録外着信拒否	81
デフォルトの居住国	193	登録ゲーム設定	146
デフォルトの通知音	137	特別なアプリアクセス	167
手ブレ補正	105	時計	114
電源ボタンを長押し	170	時計の色とサイズ	142
電源メニュー		ドコモアプリ管理	160
お困りのときは	175	ドコモアプリデータバックアップ	160
システム	169	ドコモ位置情報	160
電源を入れる／切る	39	ドコモ初期設定	160
伝言メモ設定	80	ドコモデータコピー	125
転送でんわサービス	82	ドコモのサービス／クラウド	160

ドコモメール	87
トラブルシューティング(FAQ)	195
取り扱い上のご注意	17

な

長押しでアプリ起動	148
ナビゲーション モード	170
なめらかハイスピード表示	
個別設定	147
ディスプレイ	140
日時を自動的に設定	172
ネットワークサービス	
国際ローミングの設定	192
通話設定/その他	82
ネットワークサービス(海外)	193
ネットワークとインターネット	129

は

バイブレーションとハプティクス	
音とバイブレーション	137
ユーザー補助	163
バイブレーション モードのときにアイコンを常に表示 ..	137
場所の設定	151
パスワードとアカウント	161
パスワードマネージャー	96
パソコンなどとの接続	183
バックアップ	169
バックアップファイルの整理	173
バックアップ・復元	126

発信先	82
発信者番号通知	82
発信者番号の通知	81
発信前に電話番号を編集	79
発信情報 / 迷惑電話	81
バッテリー	164
バッテリー残量	164
バッテリー使用量	164
バブル	139
番号指定拒否	86
番号通知お願いサービス	82
番号通知お願いサービス(有料)	193
番号を追加	81
非通知着信拒否	81
日付	172
日付と時刻	
海外で利用するための設定	189
システム	172
ビデオ	103
表示オプション	81
表示サイズとテキスト	
ディスプレイ	140
ユーザー補助	163
表示する連絡先	86
ビルド番号	168
ファイル操作	176
ファイル転送	184
フォーカス モード	162
フォト	106
不審な会話のお知らせ	149
ひせるだけでサイレント モード	81
ブックマーク	97

ブッシュ信号の入力	73
物理キーボード	170
不明なトラッキングアラート	159
プライバシー	
セキュリティとプライバシー	152
+メッセージの設定を変更する	92
ロック画面	141
プライバシーとセキュリティ	96
プライバシーポリシー	
からだメイト	124
通話音声・伝言メモ	80
プライベート DNS	129
+メッセージ	87
+メッセージの設定を変更する	92
フラッシュ表示	105
フリガナ(名前)	86
プリントサービスによる印刷/保存	185
フローティングシャッター	104
プロキシ設定	129
ブロックして迷惑電話として報告	79
ブロック中の電話番号	81
ヘルプ	61
ポインタの速度	170
防水/防塵/耐衝撃性能	23
法的情報	168
ポートレート	103
ホームアプリの情報	64
ホーム画面以外では表示をキープ	151
ホーム画面グリッド	67
ホーム画面では早めに暗くする	151
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	
AQUOS Home	67

docomo LIVE UX	61
ホーム画面の回転を許可	67
ホーム画面の管理	
AQUOS Home	65
docomo LIVE UX	60
ホーム画面の設定	67
ホーム画面の見かた	59
ホーム切替	58
ホーム設定アイコン	61
ホームにエモパーを貼り付け	119
ホームの使い方	61
ホームフォトシャッフル	144
ホームページ	97
保証とアフターサービス	207
歩数計設定	124
保存先設定	105
補聴器	163
保留	77
本端末で利用する暗証番号について	43
本端末のご利用について	5

ま

マチキャラ設定	61
マップ	113
マナーモード	138
マルチウィンドウ	56
迷惑電話ストップサービス	82
迷惑電話の対策	149
メールの表示	93
メッセージ	92

メッセージを削除する	91
メッセージを送信する	89
メッセージを転送する	91
メッセージを読む	91
メディア	137
メディアの音量	137
メニューを表示	146
メモ	118
目次	2
目標設定	124
文字入力	51
文字フォント切替	
ディスプレイ	140
ホーム画面の設定	143
ロック画面の設定	142
持っている間は表示をキープ	151
持つと画面点灯	151
モデル	168
モバイルデータ	132
モバイルデータに一時的に切り替え	132
モバイル ネットワークの設定をリセットする	174

や

ユーザー情報	86
ユーザー補助	163
ユーザー補助機能	97
ユーザー補助機能のショートカット	163
ユーザー補助機能メニュー	163
優先ネットワークタイプ	188
輸出管理規制	219

用語の説明	124
よくあるご質問	
お困りのときは	175
ゲーミングメニュー	146
よくある質問(FAQ)	120

ら

ラベル表示	117
リセット オプション	174
リッチカラーテクノロジーモバイル	143
利用可能なパブリック ネットワークを通知する	131
利用時間	167
利用状況レポート設定	86
リラックスビュー	142
履歴	97
留守番電話	81
留守番電話サービス	82
留守番電話サービス(有料)	193
ローミングガイドランス	192
ローミングガイドランス(有料)	193
ローミング時着信規制	192
ローミング着信通知	192
ローミング着信通知(有料)	193
録音	49
録音リスト	150
ロック解除延長	158
ロック画面	141
ロック画面上の通知	
その他のセキュリティとプライバシー	158
通知	139

□ック画面にテキストを追加	141
□ック画面にメディアを表示	158
□ック画面の通知を整理	141
□ック画面表示	142
□ックフォトシャッフル	144
□ック・ホームフォトシャッフル	144

英数字

ACアダプタで充電	38
AIoT機器との連携	119
Android Auto	136
Android System Intelligence	158
Android バージョン	168
AQUOS Home	
AQUOSトリック	143
ホーム画面	64
AQUOS Homeのカスタマイズ	
ディスプレイ	140
ホーム画面の設定	143
AQUOS Homeの見かた	64
AQUOS UX バージョン	168
AQUOSトリック	143
Bluetoothアドレス	168
Bluetooth機能	178
Bluetooth機能の利用	180
Bluetooth通信送受信	181
Bluetooth テザリング	135
Bluetooth と Wi-Fi のリセット	174
Bright Keep	151
Chrome	94

Chromebook	136
Chrome について	97
Chromeの設定	96
Clip Now	146
COCORO ID	119
DCアダプタで充電	39
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	162
docomo LIVE UX	59
dアカウント設定	
電話帳を設定	86
ドコモのサービス/クラウド	160
dアカウントの設定を行う	42
dメニュー	108
EID	168
eSIM	35
eSIMのSIM情報を設定する	133
eSIM を消去	174
Gboard	51
Gmail	93
Google	162
Google アプリの表示	67
Google検索の表示	67
Googleなどのアカウントの設定を行う	42
Google のサービス	96
Google の自動入力サービス	158
GPS機能の利用	112
GPS/ナビ	112
GSM	189
iDアプリ	112
IMEI	168
IP アドレス	168
microSDカード	35

microSDカード／USBメモリのフォーマット	166
MIDI	184
MMS メッセージ	132
my daiz NOW	63
my daiz NOW表示設定	61
nanoSIMカード	33
NFC／おサイフケータイ	136
NFC／おサイフケータイの機能をロックする	111
NFC通信	182
Payトリガー	156
PINコードを設定する	44
PINコードを変更する	44
PINロックの解除	44
Play ストア	108
QRコード・バーコード認識	104
Quick Share	136
SIM	132
SIM ステータス	168
SIMについて	33
SIM の削除時に本人を確認	158
SIM ロック	44
SIM を消去	132
SmartNews for docomo	63
SMS の設定	132
TalkBack	164
TalkBackのショートカット	164
USB	136
USBケーブルで充電	39
USB テザリング	135
USBデバッグ切替	160
USBホスト機能	185
VPNの接続	186

VPNの切断	186
VPNの追加	186
Wi-Fi	130
Wi-Fi Direct	131
Wi-Fi MAC アドレス	168
Wi-Fiテザリング	135
Wi-Fiテザリングの詳細設定	151
Wi-Fi とモバイルネットワーク	129
Wi-Fi を自動的に ON にする	131
WORLD CALL	75
WORLD WING	187
2G の許可	132
2回押しでカメラの起動	148
2本指でもスクロールオート	145
3G／GSM	189
4G／3G／GSM	189
5G／4G／3G／GSM	189
24時間表示	172
90% 充電されたら OFF にする	165

目的から探す

基本操作

電源を入れる	39
画面ロックを解除する	40
マナーモードにする	138
ホーム画面の見かた	59
ホーム画面にショートカットやウィジェットを追加する	60
文字を入力する	51
nanoSIMカードを取り付ける／取り外す	33
microSDカードを取り付ける／取り外す	35
電池の消耗を抑える	164

電話

電話をかける	72
電話を受ける	75
相手の音声を大きくする	77
電話帳に登録する	83
電話帳に登録した相手に電話をかける	84
電話の履歴を確認する	78
留守番電話(伝言メモ)を設定する／聞く	79
着信音、通知音の種類や音量を設定する	137
着信を拒否する	81

メール

SMS(+メッセージ)を使う	87
Gmailを使う	93

ドコモメールを使う	87
緊急速報エリアメールを使う	93

インターネット

ホームページを見る	94
ブックマーク(お気に入り)に登録する	97

Wi-Fi

自宅や公共のWi-Fiに接続する	130
Wi-Fiのみで利用する(モバイルネットワークのデータ通信を利用しない)	132

カメラ

写真を撮影する	103
動画を撮影する	104
撮影した写真／動画を見る	106
撮影した写真／動画の保存先を設定する	105
バーコード(QRコード)を読み取る	103

便利な機能

便利な機能が知りたい	143
Googleマップで目的地までの道のりを調べる	113
スケジュールに登録／確認する	116
おサイフケータイで買い物をする	109
おサイフケータイをロックする	111
歩数計を使う	122
エモパーを使う	119

スクリーンショットを撮影する	48
画面が暗くなるまでの時間を変更する	140
目覚まし(アラーム)をセットする	114
本体やmicroSDカードのデータを確認する	166
テザリングを設定する	135
ディスプレイの照明を明るくする	140

バックアップ

連絡先やメールのバックアップをする	125
データを引き継ぐ	172

故障

故障かな?と思ったら	195
お問い合わせ先	H4
端末を初期化する	174

その他

スペックを確認する	209
アプリをアンインストールする	61
USBケーブルを利用してパソコンからデータを送る	183

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

- スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。
- スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に回答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● マナーモード(☎ P.138「マナーモード」)

本端末から鳴る音を消します。

※ただし、カメラのシャッター音は消せません。

● 公共モード(電源OFF)(☎ P.82「ネットワークサービス」)

電話をかけた相手にも、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

● バイブ(☎ P.137「音とバイブレーション」)

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

● 伝言メモ(☎ P.79「通話音声・伝言メモ」)

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス(☎ P.82「ネットワークサービス」)、転送でんわサービス(☎ P.82「ネットワークサービス」)などのオプションサービスが利用できます。



モバイルリサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ(自社・他社製品を問わず回収)

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種手続きなど

本端末から dメニュー⇒My docomo

パソコンから My docomo (<https://www.docomo.ne.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントの認証」が必要です。

海外からのお問い合わせ先(紛失・盗難・つながらない場合など)

■ ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示 **-81-3-6832-6600(無料)**

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■ 一般電話などからの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号 **-81-3-6832-6600(有料)**

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱拠点へご持参ください。

総合お問い合わせ

- お問い合わせはこちら⇒

ドコモのホームページ

[https://www.docomo.ne.jp/
support/inquiry/](https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/)



総合お問い合わせ先 ＜ドコモ インフォメーションセンター＞

ドコモの携帯電話専用窓口(無料)

☎ 151

※ 一般電話などからはご利用になれません。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
- オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモのホームページ

[https://www.docomo.ne.jp/
support/inquiry/repair/](https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/repair/)



故障お問い合わせ・修理お申込み先

ドコモの携帯電話専用窓口(無料)

☎ 113

※ 一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などから

☎ 0120-800-000

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)



危険です、
歩きスマホ。



キケン！
水ぬれ充電



あぶない！
電池への衝撃



Li-ion00

販売元 株式会社NTTドコモ
製造元 シャープ株式会社

’24.6(1.1版)